学校法人立命館

災害復興支援室

+ Ror FUTURE

東

日 本 大 震災 復 興支 援 に 関 わ る 2 0 1 1 年 度 活 動 報 告 書

学校法人立命館 災害復興支援室 東日本大震災復興支援に関わる2011年度活動報告書

目次

はじ	はじめに〜総長挨拶1		
1.	東日本大	震災をうけた立命館のとりくみ2	
		緊急対策連絡調整会議 東日本大震災特別検討プロジェクト 災害復興支援室設置	
2.	2011年月	度活動報告5	
	2-1 2-2 2-3 2-4 2-5 2-6 2-7 2-8 2-9 2-1 0	災害復興支援基金の創設(復興+R基金) 連携拠点の整備 学校、学部・研究科等の主な取り組み 東日本大震災に関る研究推進プログラム 東日本大震災復興のための『私たちの提案』 学生たちの取り組み 「後方支援スタッフ」派遣活動について 放射線教育、測定器の設置 東日本大震災に関わる各種フォーラム、シンポジウム、学習会等の実施 災害復興支援に関わる情報発信	
3.	今後の活	動(中長期的支援)32	
		基本目標の策定 中長期的な復興支援方針 2012年度に計画している主な取り組み	
4.	初年度の	活動を終えて〜事務局による総括33	
おれ	っりに〜災	善復興支援室長挨拶34	
巻末	ミ資料: 立	こ命館による東日本大震災 災害復興支援の取り組み一覧	

※本編とは別に資料編がございます(立命館災害復興支援室のウェブサイトにて公開)

はじめに〜総長挨拶

東日本大震災発生から1年有余となりましたが、あらためて犠牲となられた皆さまのご冥福と被害を受けられた方々の一日も早い復興を心から祈念いたします。

立命館としましても、教育、研究機関として日本社会の復興を担う人材を育成する場として、また若者に存分に勉学を深めてもらう場として、可能な限りの貢献を継続して行って参る所存です。

東日本大震災とそれに端を発した福島第一原子力発電所事故がもたらした惨禍は、私たちの想像をはるかに超えるものでした。そしてこの未曾有の事態により、被災地の復旧・復興という切実な課題のみならず、私たちに現代の社会システムのあり方、あるいは近代文明そのもののとらえ方など、大きな課題を惹起することになりました。また、教育・研究機関に対しても、その「使命と役割とは」、「何のために何を学び、教え、研究するのか」という根源的課題を突きつけることになりました。

立命館は、震災直後から、すべての学校、校友・父母組織をあげて、被災学生・校友の支援に取り組むとともに、災害復興支援室を設置し、学生・教職員によるさまざまな自発的取り組みをサポートしてきました。

立命館大学をはじめ、立命館アジア太平洋大学(APU)、各附属校の生徒・児童の300名以上が被災地での活動に参加してきました。彼らは、被災地の実相に向き合い、現地の人々とのふれあいを通して多くのことを学び、自分自身の生き方をも見つめ直し、たくましく成長しています。この貴重な経験を活かし、これからの日本の復興を担う人材として、未来により大きな貢献をしてくれるものと確信しています。

研究面では復興支援をテーマとしたさまざまな研究推進プロジェクトが取り組まれました。また、「未来プロジェクト」としてフォーラムを開催し、学外の有識者をお招きするなど、教職員が、教育・研究機関の役割、今後の社会のあり方についての検討をする場を築いています。

ささやかではありますが、立命館で取り組んだ災害復興支援について 1 年間の活動をここにご報告いたします。

今、私たちは鎮魂と復旧・復興への取り組みを進めると同時に、科学技術の発展に支えられながら も、自然と持続的に共生し、個々人の個性を活かしながらも人々とつながり、手を携えていく生き方 を模索し始めています。

立命館は21世紀文明を創造する若者の人材育成と科学技術の発展を担う大学の役割を改めて見つめ直し、地域と日本社会の希望に満ちた未来を生み出す教育と研究の実践を一層進めて参ります。

「Creating a Future Beyond Borders 自分を超える、未来をつくる」

2012年3月11日の日に



立命館総長 川口清史



1. 東日本大震災をうけた立命館のとりくみ

立命館では、東日本大震災直後から関連部課による「緊急対策連絡調整会議」(総務部が主管)を 設定し、3月14日(月)には第1回会議を開催、在籍者や卒業生・学園関係者の安否確認、被害を受け た学生への支援内容の検討といった緊急時対応を進めた。

さらに災害時対応と並行して、今回の震災と原子力発電所事故が引き起こした未曾有の事態を教育・研究機関としていかに受け止め、震災の教訓を教育・研究にどう反映させるかという課題を、2012年度から2020年を見据えた立命館の中期計画に反映させるため「未来をつくるR2020 東日本大震災特別検討プロジェクト」(2011年3月30日常任理事会)を設置し検討を行った。

こうした学園内での取り組みを進める一方、震災の被害からの復旧・復興にむけて立命館として可能な限りの支援を具体化するため「災害復興支援室」(2011年4月20日常任理事会)を設置。緊急対策連絡調整会議や東日本大震災特別検討プロジェクト、APU、附属校も含め学内の諸機関、さらには学外の諸機関との連携・調整をはかりながら、意思決定を行い速やかに本学としての復興支援に取り組むこととした。

1-1 緊急対策連絡調整会議

上田寛副総長(当時)を責任者として、学内の総務部、教学部、学生部、国際部、入学センター、 キャリアセンター、社会連携部、一貫教育部、財務部、APUをはじめ関連部課が参加し東日本大震災 発生直後から災害時対応を実施した。主要な取り組みは以下の通りである。

- ①在籍している学生・生徒・児童、教職員、さらには校友・父母をはじめとした学園関係者の安否確認
- ②被害をうけた学生および入学予定者への経済支援(学費減免、見舞金等)の検討・周知
- ③被害をうけた学生の受講登録や休学上の取り扱い等の配慮
- ④被災地への緊急物資の提供・募金等の集約
- ⑤震災後の支援活動を考えている学生への対応・窓口の設定・周知
- ⑥震災をうけた情報提供(留学生対応、就職活動関連、東京キャンパスの開室状況等)
- ⑦各大学、省庁、自治体、各国大使館の対応等の情報収集

学生・生徒・児童や教職員の安否確認が進み、本人もしくは家計支持者などが被害を受けた在籍者に対する支援の具体的な実施といった取り組みの進展をうけ、5月以降、緊急対策連絡調整会議の活動は東日本大震災特別検討プロジェクト、災害復興支援室の取り組みに移行していった。なお、今回の震災の被害状況やとその後の災害時対応も踏まえ教育・研究機関としての災害時対応や危機管理の課題について再検討するため、7月に危機管理対策検討委員会が設置され検討を進めている。

緊急対策連絡調整会議が提起した義援金について、立命館大学を始めとした教職員への呼びかけとともに、学生の自主的な募金活動(学友会、新入生歓迎実行委員会、立命館大学国際部国際協力学生実行委員会、院生協議会連合会、言語教育情報研究科クラス会、産業社会学部有志、卒業生有志、ボランティアスタッフ等々)が取り組まれた。立命館小学校の教職員からも多額の義援金が寄せられ、最終額は4,540,472円となり、日本赤十字社を通じて被災地支援として送られた。

1-2 東日本大震災特別検討プロジェクト

被災地の復興と日本社会の再建、将来起こりえる災害への備えに対し、立命館が教育・研究機関としてなすべきことを中・長期的視点から議論し、その結果をR2020基本計画要綱に反映させていくためにこの特別検討プロジェクトが設置された。

4月15日に開催した第1回特別検討プロジェクトでは、本来の役割である、今回の震災をうけた教育・研究機関としての立命館のあり様についての議論とともに、立命館としての復旧・復興にむけた



取り組みの具体化の必要性が指摘され、後述する災害復興支援室の設置にむけた議論も行われた。その後、災害復興支援室を中心とした教育・研究を通した支援の検討やそのための財源確保といった基盤整備の進捗や、今回の震災に関わって学園内の教職員から寄せられた意見・提言の受け付け、現地調査報告会(5月25日)、学園内の新中期計画検討委員会の各種委員長との懇談(6月1日)といった取り組みを進め、6月3日に第2回特別検討プロジェクトを開催。R2020基本計画要綱に、①教育・研究、②地域との関係、③安心・安全・防災の視点からのキャンパス整備の視点から反映すべき課題の整理を行った。

6月24日に開催した第3回特別検討プロジェクトにおいて、計画に反映すべき項目・内容を取りまとめ、6月29日の事業計画委員会を経てR2020基本計画要綱(補正版)が常任理事会に提起された。あわせて7月1日には「災害時の大学の危機管理ー東日本大震災をうけてー」をテーマとしたフォーラムも開催している。

【参考】

<東日本大震災特別検討プロジェクトの検討も反映されたR2020基本計画> http://www.ritsumei.ac.jp/rs/r2020/outline/

1-3 災害復興支援室設置

災害復興支援室は4月20日の設置以降、学外からの震災に関わる立命館への要請への対応、立命館としての復旧・復興にむけた支援の具体化にむけた取り組みを行った。

その際、短期的には①今回の震災により影響を受けた立命館で学ぶ学生が、引き続き立命館で学ぶことができるよう最大限の支援を行う、②今回の震災に関係し、災害地の支援、復興、将来起こりえる災害時の被害軽減等に資する学内研究を奨励し、その成果をもって社会に貢献していく、③学生ボランティアは、学生の成長に資する活動であることを認め、その活動を妨げない、④被災地に対する様々な支援活動は基本的にボランティアとして位置づけ、教育・研究機関としての役割と照らし合わせて学園としての支援を判断する、ことを基本的な視点とした。さらに中・長期的には、①被災地の復興と日本社会の再建、ならびに将来起こりえる災害への備えに対し、教育・研究機関としてのあるべき姿をR2020計画に反映させる、②将来、立命館の周辺で同レベルの災害が起こった際、立命館の学生、生徒、児童、教職員、関係者への被害を最小限に抑えると共に、周辺地域の支援・復興の拠点としての機能を果たすことを目指す、ことを基本方針とした。5月以降の主要な取り組みは以下の通り。

①被災地支援のための条件・制度の整備

- ・立命館の研究を通した復旧・復興への貢献のための「研究推進プログラム」の募集
- ・教職員をはじめとした学園関係者からの寄附に基づく被災した学生への支援や学生の復興支援活動を 支援する「復興+R基金」の確立
- ・教職員の主体的・集団的な復興支援への支援「私たちの提案」の募集
- ・学生のボランティア活動への支援
- ②被災地支援活動における連携拠点 (パートナー) との関係構築
 - ・東北地方の大学との連携の模索
 - ・校友・父母のネットワークを通じた支援の検討
 - ・自治体との連携の模索
- ③復興に関する情報収集・情報提供・情報交流活動の充実
 - ・インターネットを通した情報発信「東日本大震災 私たちにできること」HPの開設
- ④各キャンパスにおける教職員等のフォーラムの開始
 - ・現地報告会、危機管理をテーマとしたフォーラムの開催
 - ・未来プロジェクトの立ち上げと各種フォーラムの開催
- ⑤学内外からの要請・提案等に対する窓口機能の安定化と積極的な対応



2011年7月以降、「+R for FUTURE」をメインロゴとして、学生・生徒、教職員を対象とした復興支援にむけたプロジェクトを展開した。「FUTURE」の部分を学生・生徒、教職員それぞれが復興支援にむけたメッセージを記入するロゴも作成。上記ロゴを活用し、学生・生徒、教職員メッセージによるポスター展開、RSwebでのメッセージ募集といったサイト展開、グッズ(缶バッチ、リストバンド、うちわ)を作成・販売し、その売り上げを復興+R基金に寄付する、等の取り組みを実施した。グッズ販売は生活協同組合との連携により実施し、売上382,660円、うち116,346円を災害復興支援基金に組み入れた。

2011年度の到達点としては、①学生・生徒・児童や教職員による多様な復興にむけた支援活動の展開、②「復興+R基金」の確立による復興支援活動を支援する財源の確立、③夏季休暇中のボランティアバスや12月から2012年3月の「後方支援スタッフ」派遣といった継続的な被災地での学生ボランティア活動の実施、④岩手県の遠野市、宮古市、大船渡市といった連携拠点の形成、といった点が上げられる。こうした到達点を踏まえ、災害復興支援室として2012年度以降も中・長期的な取り組みを継続していくことを確認している。



学生等が活動時に着用するビブス



災害復興支援基金への関心を促すグッズ



2. 2011年度活動報告

2-1 災害復興支援基金の創設(復興+R基金)

地震発生直後から学生・生徒・児童・教職員の安否ならびに被災状況を確認し、学費減免・奨学金・災害見舞金など既存の制度を通じた支援を進めていたが、被災による家屋喪失や家族の収入途絶といった理由から、既存の奨学金制度の枠内の支援だけでは学業を継続することができなくなる学生が2011年5月27日時点で約40名在籍していることが明らかになった。またその一方で、学生たちは自主的にボランティア組織を立ち上げ、学内外で義援金を集める活動や被災地と連携しながらボランティア活動に携わっているという状況を受け、本学では教職員とともに、校友・父母をはじめ立命館教職員組合連合など、学園関係者から広く寄付を募り、東日本大震災に関わる立命館の支援に取り組む「復興+R基金」を設置した。

「復興+R基金」は、学費減免や既存の奨学金制度等でカバーしきれない被災学生の生活を経済的に支援し、立命館で学ぶ学生の継続的な学業保証を目的とした「被災学生支援金」と、学生ボランティアなどの活動を支援する「復興活動支援金」、どちらの支援も目的とする「災害復興支援基金」で構成。被災学生支援金は、雇用形態を問わず、学校法人立命館で勤務する教職員有志からの給与引き去り(月額本俸の0.5%、最大2年:2011年7月分~2013年6月分)による寄付を主な原資としている。

(1)被災学生支援金

被災学生の生活を経済的に支援することを目的とした被災学生支援金は、立命館大学・APUにおいてそれぞれ2011年7月から募集・選考(書類・面接)を行い、19名の採用を決定した。2011年4月にさかのぼって2011年11月から給付を開始した。

また、震災後半年が経過してやっと罹災証明が交付されている例や、被災の混乱の中でこれまで相談に来ていない学生がいること、風評被害や原発事故による家計の急変等が見受けられることから、立命館大学では学生部と調整し、2011年11月から第2次募集も行った。APUについてもステューデント・オフィスで第2次募集を検討し、募集を実施。それぞれ第1次募集同様、選考(書類・面接)を行い、計4名の採用を決定し、2011年4月にさかのぼって給付を開始した。

【概要】

目的	立命館の学部・大学院に在籍する正規生で、修学の熱意を有しながら東日本大震災によって経済的困難が生じ、学生生活の継続が 困難な者の生活費を援助する。
給付期間	2011年4月~修業年限まで
給付金額 月額5万円	
採用決定者 (計23名)	第1次募集:全体で19名(学部生16名、院生3名) 【衣笠】7名(法学部1名、産業社会学部2名、国際関係学部1名、文学部2名、社会学研究科1名) 【BKC】11名(経済学部4名、理工学部1名、情報理工学部2名、生命科学部1名、薬学部1名、理工学研究科1名、テクノロジー・マネジメント研究科1名) 【APU】1名 (アジア太平洋学部1名) 第2次募集:全体で4名(学部生3名、院生1名) 【衣笠】1名(先端総合学術研究科1名) 【BKC】2名(経済学部1名、理工学部1名) 【APU】1名(国際経営学部1名)



なお、年度が変わる段階で、採用決定者に対し継続審査を行う予定。23名の卒業・終了時までの被災 学生支援金給付総額は32,700,000円を見込んでいる。

(2)復興活動支援金および災害復興支援基金

東日本大震災に関って、主に学生・生徒の主体的な復興・再建に向けた取り組みやボランティア活動などの支援を目的とし、2011年度は夏季休暇中に課外プログラムとしてのボランティアバス運行や、現地の大学や支援組織等と連携したプログラムへの参加、そして12月から災害復興支援室「後方支援スタッフ」派遣として計6便のバス運行を行った。詳細は2-7「後方支援スタッフ」派遣活動についてにおいて後述する。

2-2 連携拠点の整備

被災地域から物理的に離れている立命館が中長期的に復興支援を進める上で、現地に連携拠点を形成することは災害復興支援室開設当初からの課題であった。他大学では、筑波大学が茨城県内の各市(北茨城市、高萩市など)と、法政大学が陸前高田市議会と協定を結ぶ等、地域と連携・協働する中で震災復興の取り組みを進めている。

本学は2011年度の取り組みを通じて、山形大学や岩手県の遠野市、大船渡市、宮古市との関係を築くことができた。特に、大船渡市との間では、スポーツ健康科学部による中学校での運動・健康支援が文部科学省「復興教育支援事業」に採択され進められていることや、昨年12月のプロ野球選手会と連携したベースボール・キャラバンといった様々な取り組みを協働して進めるなかで、強いつながりを築きつつある。

(1)大船渡市との連携

【復興支援に関わる経緯と経過】

2011年7月7日	本学校友で大船渡市立博物館長の金野良一氏を通じ、服部副理事長、上田総長特別補佐、今村総合企画部長などの災害復興支援室メンバーをはじめとした教職員9名が戸田公明大船渡市長、教育委員会を訪問。今後の復興に向けたヒアリングを実施。
2011年8月18日	7月のヒアリングを受け、立命館としての取り組みを検討。田畑スポーツ健康科学部長、山口サービスラーニングセンター副センター長はじめ3名が大船渡市教育委員会を訪問し、今野洋二教育委員会教育長に、被災した子どもや家族への支援、スポーツを通じた運動・健康支援について相談。校庭に仮設住宅が設置され運動が制限される小中学校への支援についての示唆をいただく。
2011年10月24日	8月の訪問をうけて、スポーツ健康科学部としての取り組みを検討。教育委員会を通じて大船渡市立赤崎中学校を紹介いただき、家光スポーツ健康科学部准教授、今村総合企画部長をはじめ3名が訪問して実態把握と支援に向けたヒアリングを実施。
2011年11月7日	プロ野球選手会と立命館大学の協定と関わって、プロ野球選手会が主催する「ベースボール・クリスマス2011 inいわき・ベースボール・キャラバン in岩手」に学生スタッフを派遣することとなり、大船渡市で実施するベースボール・キャラバンにむけて、本学職員2名が大船渡市教育委員会生涯学習課、地域の団体等を訪問。当日の運営等の調整を実施。



2011年12月4日	大船渡市でのベースボール・キャラバン in岩手のスタッフとしてス
	ポーツ健康科学部の学生6名が参加。
2011年12月12日	10月の赤崎中学校への訪問に続き、大友スポーツ健康科学部教
	授、家光スポーツ健康科学部准教授をはじめ4名が大船渡市立第一
	中学校、大船渡中学校を訪問し、実態把握と支援に向けたヒアリ
	ングを実施。
2011年11月~	11月21日の文部科学省による「復興教育支援事業についての(公
2012年1月	募)」の公表を受けて、スポーツ健康科学部による大船渡市立中学
	校を対象とした運動・健康支援を事業申請。文部科学省から、12
	月27日に事業採択の内定が通知され、2012年1月31日付けで事業採
	択の通知を受理。
2012年1月27日	この間の大船渡市との連携の到達点をふまえ、災害復興支援室定
	例会議で協定の締結に向けた取り組みを進めることを確認。
2012年2月3日	本学校友で大船渡市立博物館長の金野良一氏を通して大船渡市役
	所に連携協定の締結に向けて打診。
2012年2月11日~	復興教育支援事業採択を受け、スポーツ健康科学の教員4名、学
12日	生・大学院生6名が、大船渡市第一中学校を訪れ、11日に部活動参
	加生徒を、12日には1年生・2年生の生徒を対象に体力測定とト
	レーニングプログラムのレクチャーを実施。午後には大船渡中学
	校の教員を対象に体力測定・トレーニングプログラムの説明も
	行った。
2012年2月15日	連携協定にむけた大船渡市の窓口(企画政策部企画調整課)が設
	定され、協定にむけた進め方、協定内容についての相談を開始。
2012年3月6日	大船渡市企画調整課から協定締結にむけ、市長宛の依頼状、協定
	案の送付依頼があり、災害復興支援室定例会議で依頼状、協定案
	を検討。災害復興支援室長名の依頼状を送付。

なお、上記の経過を経て、今後、以下の内容をふまえ、連携協定の締結を検討する予定である。

【連携協定によって想定される取り組み】

取り組みの柱	取り組みの例
教育・研究、文化・スポーツを通した復興	中学生を対象とした運動・健康支援(文部
支援に関すること	科学省 復興教育支援事業)、仮設住宅の
	中高齢者を対象とした運動・健康支援など
復興支援を通した両者の学生・市民の連携	本学学生の「後方支援スタッフ」の派遣な
および交流に関すること	ど
災害復興を担う人材育成に関すること	本学の各種教育プログラムの活用、提供な
	ど
災害復興に関する施策への助言に関するこ	地域の要望を受けた専門的見地からの研究
ح ا	者による助言・支援など
その他、前条に規定する目的を達成するた	
めに必要な事項に関すること	



(2)山形大学との連携

【復興支援に関わる経緯と経過】

2011年4月25日	立命館大学(教職員3名)が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問 し、今後の連携について懇談を実施した。
2011年5月28日、 6月4日	ボランティアバス「スマイルエンジン山形」プロジェクトに職員1 名(5月28日)、職員2名(6月4日)がトライアル参加。
2011年6月24日	311+Rnetがボランティアバス運行キックオフイベント「スマイルエンジン山形の取り組みとこれからの復興支援について」開催。山形大学エンロールメントマネジメント平尾清教授、山形大学研究生熊谷周三氏が報告。
2011年7月2日	ボランティアバス「スマイルエンジン山形」へ立命館大学学生2 名・職員1名、APU学生2名・職員1名を派遣。
2011年8月19日~ 23日	ボランティアバス 「スマイルエンジン山形」プロジェクトに学生 25名(RU19、APU6)、RU職員1名、APU職員1名、クレオテック2 名が参加、宮城県石巻市での清掃等の活動、仮設住宅住民の方へ のワークショップ手伝い等を実施。

(3)岩手県遠野市との連携

【復興支援に関わる経緯】

2011年9月21日	被災地に関わる中長期的な情報収集や活動を行なう上での拠点形成を見据えて、立命館大学(職員1名)が岩手県遠野市に連携拠点を設ける東京大学救援・復興支援室にヒアリングを実施し、連携拠点に求められる機能を整理。遠野市役所後方支援連絡室、NPO法人まごころネット、遠野山・里・暮らしネットワーク、遠野市立博物館、遠野市子育て総合センター子育て総合支援室を訪問し、今後の連携のあり方を相談。
2011年10月12日	立命館大学(職員2名)が第6回遠野市後方支援連携調整会議に参加し、立命館学園の復興支援活動を紹介。遠野市長、岩手県職員、支援自治体職員(東京都、大阪府、静岡県等)、NPO法人(まごころネット)、東京大学職員等の会議参加者に対して今後の連携についてのヒアリングを実施。
2011年10月26日	立命館大学(職員1名)が岩手県校友会長、事務局長を訪問し、岩手県校友会の状況や今後の復興支援に関する連携について懇談を実施。復興支援にご協力頂けそうな岩手県内の校友をご紹介頂いた。遠野市後方支援連携調整会議に参加。
2011年11月1日~	遠野市蔵の道ギャラリー、遠野市立図書館にて、立命館大学大学
6日	院応用人間科学研究科による「東日本・家族応援プロジェクト」 を実施。家族漫画展、遊びのワークショップ、支援者支援セミナー、家族応援セミナーを実施。
2011年11月4日	応用人間科学研究科、総合企画課(教職員4名)が遠野市健康福祉 部子育て総合支援室を訪問し、応用人間科学研究科が11/1~6実施 の「東日本家族応援プロジェクト」と関連して、今後の連携に向 けた懇談を実施。



2011年11月9日、11	立命館大学(職員1名)が遠野市後方支援連携調整会議に参加。
月22日	
2011年12月21日~	復興支援スタッフ派遣第1便の運行。学生5名、引率2名が参加し、
27日	遠野市の仮設住宅入居者へのサンタ訪問、プレゼントの配布など
2011年12月28日~	を実施。第2便は学生13名、引率2名が参加し、大槌町の仮設住宅
2012年1月2日	入居者への年越しの支援、餅つき等の催し支援を実施。
2012年2月5日~	復興支援スタッフ派遣第3便の運行。学生15名、引率2名が参加
2月10日	し、遠野市三陸文化復興プロジェクトの献本登録、公文書の修復
	等を行うボランティアへの参加。陸前高田市教育委員会が実施す
	る学習支援ボランティア「学びの部屋」に参加。
2012年2月8日、3月	立命館大学(職員1名)が遠野市後方支援連携調整会議に参加。
14日	(3月14日をもって会議の開催は終了。)

【今後想定される取り組み】

取り組みの柱	取り組みの例
沿岸部支援ネットワークへの継続参画	遠野市後方支援連携調整会議の後継会議体
	への参加による連携。
復興支援スタッフ派遣の実施	NPO法人まごころネットとの連携、三陸文
	化復興プロジェクトへの参加など
災害復興を担う人材育成に関すること	本学の各種教育プログラムの活用、提供な
	ك
災害復興に関する施策への助言に関するこ	地域の要望を受けた専門的見地からの研究
ح ا	者による助言・支援など
その他、前条に規定する目的を達成するた	
めに必要な事項に関すること	

(3)岩手県宮古市との連携

東日本大震災の津波によって宮古市重茂石浜地区介護予防拠点施設が流出したことを受けて、宮古市社会福祉協議会が代替施設を検討していたところ、現地を視察していた理工学部建築都市デザイン学科宗本晋作准教授が岩手県でボランティア活動を行なっている石井布紀子氏(有限会社コラボネット)の仲介で支援を申し出た。

【復興支援に関わる経緯と経過】

2011年8月	仮設住居の住人に建物への要求に関するヒアリングを実施。	
2011年9月	現地ニーズのヒアリング、現地作業、立命館大学でのパーツの試	
	作。	
2011年10月~11月	宗本准教授、学生31名が企業や現地の方々の協力を得て、簡易集	
	会所建設の現地作業を実施。11月26日竣工。	



2012年1月9日	簡易集会所竣工式および新春ライブを実施。しもぐち☆雅充氏、
	橋本健志氏、地元の方々、立命館職員が参加。木村民茂・重茂漁
	業協同組合理事、葛浩史・宮古市社会福祉協議会宮古市生活復興
	支援センター長、大工 佐々木氏、宗本准教授、学生等関係者によ
	る挨拶と音楽ライブを実施。
2012年2月19日~24日	復興支援スタッフ派遣第4便(学生12名、引率2名)、第5便(学生
3月1日~6日	15名、引率2名)、第6便(学生12名、引率3名)の実施。仮設住宅
3月22日~27日	への支援物資配布、高齢者を中心とした交流スペースでの傾聴ボ
	ランティア等を実施。

【今後想定される取り組み】

取り組みの柱	取り組みの例
継続的な後方支援スタッフの派遣	宮古市社会福祉協議会と連携を強化し、物
	資配給、写真洗浄、傾聴、学習支援、提案
	型支援。
専門家の派遣	産業相関図、対人援助、ダークツーリズ
	ム、健康、建築都市デザイン等
地域コミュニティでの活動への参加、協力	「災憶の伝承」プロジェクトへの参加、コ
	ミュニティFMへの参加、
特定地域に重点化した復興支援プロジェク	重茂漁業組合との連携により、重茂地区の
トの企画推進	学習支援、漁業資源の高付加価値化、漁業
	体験、植林活動。



山形大学との連携による復興支援活動の様子



大船渡での体力測定の様子



2-3 学校、学部・研究科等の主な取り組み

(1)立命館アジア太平洋大学の取り組み

APUの学生有志支援団体、ボランティアサークルなどにより、被災者支援の募金活動、チャリティーイベントの開催など、様々な災害支援活動を実施している。

- 学生団体「APU Nest」、賛同するAPU生100名以上が別府駅で街頭募金活動を実施。(2011.3.16-31)
- ■学生団体「APU Nest」が募金活動への感謝の気持ちをこめてチャリティーイベントを開催。
 (2011.4.1-2)
- チャリティコンサート"Quake Relief Concert(地震救済コンサート)"を開催(2011.4.9)
- 🍒 イベント団体「Heart for Japan」がチャリティーイベントを開催(2011.5.2-6)
- APUサークル18団体が募金活動「がんばれ東北のみんな-APU Joint Student Organizations Donation」 を実施(2011.5.11-22)
- 💶 社会連携セミナー「震災とソーシャル・エンタープライズ」を開催。(2015.6.15)
- 「For Our Children∼今私たちがなすべきことは?~@復興支援メディア隊活動報告」講演会、写真展の 開催(2011.7.4)
- 🏿 ボランティアサークル「ハビタットAPU」が関西学生支部9団体と一斉募金を実施。(2011.7.9)
- 🏿 東北地方物産品・授産品販売会(2011.7.10)の実施
- 東日本大震災支援学生団体「APU Nest」・NPOみんつな「被災者として、フォトジャーナリストとして、支援者として~ふるさと 陸前高田をみつめる~」佐藤 慧氏講演会を開催(2011.7.11)
- 東日本大震災支援学生団体「APU Nest」他が「届けたい希望があるから」ひろめ隊 三本菅 通次氏講演会を開催(2011.7.22)
- ボランティアサークル「IVUSA APU」が宮城県気仙沼市でボランティア活動に参加(2011.9.6-13)
- ☑ボランティアサークル「ハビタットAPU」がボランティアサークル9団体と合同募金を実施。 (2011.10.15-16)

(2)立命館小学校の取り組み

被災した宮城県石巻市立住吉小学校との支援交流を実施。児童会の子どもたちが励ましのメッセージポスターを作成するなど、児童間の交流も進めている。

- 不足する国語辞書を住吉小学校の212名の生徒に送るために、55万円を目標に児童・保護者への募金の呼びかけを実施。 (2011.6.28-29) 最終的に636,441円の募金が寄せられた。
- **■プライマリーデーにむけ、保護者が1枚につき1,000円の募金が含まれているポロシャツを作成。**保護者を対象に呼びかけを行い、400枚程の申し込みがあった。
- 住吉小学校運動会に立命館小学校6年生が家庭科の授業で紅白の応援旗を作成し送付(2011.10.1)
- ■国際協力事業課と協力し、インドネシアの伝統的布地「バティック」を使ったプレゼントを作成し、住 吉小学校に送る。

(3)立命館中学校・高等学校の取り組み

- ■「国語表現」震災と報道をテーマに授業参観を実施。(2011.6.6)
- ■文化祭古本市の収益金を京都新聞社社会福祉事業団に義援金として寄付。(2011.11.21)
- ■震災復興プロジェクト「Warm Heart」開催(2012.3.13)

第1部:講演会 宮城県石巻市雄勝町で震災復興支援活動、立花貴氏講演

第2部:立命館中高の1年間の取り組み報告。保護者による現地支援活動の報告。



第3部:ハート型のメッセージボードに、震災地の小中高の生徒さんに向けた思いを書き、 花びらに貼り、春休みに震災地へ届ける。

(4)立命館宇治中学校・高等学校の取り組み

- 生徒会、SELコース生徒・卒業生が東日本大震災とニュージーランド地震の被災者支援募金活動を、近 鉄大久保駅と京阪宇治駅で実施。(2011.3.23)
- ☑ Rits-LABOが国府多賀城駅南地区仮設住宅を訪問し秀光中等教育学校と交流。(2011.8.25)
- ☑ 高校3年生が宮城県気仙沼市でのボランティア活動報告会を実施。(2011.10.4)
- ■第10回鳳凰杯全国中学生英語スピーチコンテストを開催。東日本大震災被災地である東北3県より3名の 生徒を招待。(2011.12.12)
- 中高生25名 宮城県多賀城市仮設住宅訪問(2012.1.27-29)
- ■3.11東日本大震災祈念集会を開催。(2012.3.9-10)

(5)立命館守山中学校・高等学校の取り組み

- ■高校3年生有志40名が宮城県南三陸町の仮設住宅を訪問し、瓦礫撤去、年末大掃除、クリスマスカード 配布などのボランティア活動を実施(2011.12.24-27)
- SSH&アカデミックプレゼンテーションにおいて生徒有志による「東日本大震災復興ボランティア活動 報告」を実施。(2012.2.20)

(6)立命館慶祥中学校・高等学校の取り組み

- 🖫 中学、高校卒業式後の「囲む会」にて募金活動を実施(2011.3.16、3.18)
- 北海道私立中学高等学校協会を通じて、被災生徒の受け入れを表明
- ☑ 高3 東日本大震災を考える~マスコミ特別講座~を実施。(2011.6.2)
- 🖫 中1 ボランティア講演会にて東日本ボランティア報告を実施。(2011.10.6)
- 🏿 保護者会文化委員会主催の講演会「いま、私たちにできること」を開催。(2011.10.22)

(7)立命館大学の取り組み

【政策科学部・研究科】

- ■立命館自治研究プロジェクトが、「分散型被災者支援システムへ向けた提言」
- ■立命館アスベスト研究会が、政府・各自治体・報道機関に向けて「震災アスベスト緊急対応について」 の提言を実施。復興活動の中で、アスベスト防災の必要性を提起。
- ⑤ 「南信州における東日本大震災の被災者への対応−地域分散型震災支援システムの提言−」を実施。
 (2011.6.23)
- 立命館土曜講座「特集 日本のアスベスト災害-震災問題との関連で-」を開催。(2011.8.6、27)
- ■被災地から京都に避難している子ども達への学習支援キャンプ、学生8名が実施。(2011.8.18-19)
- 政策科学特別実習が岩手県立大、ユースビジョン、「いわてGINGA-NET」と連携し、宮城県気仙郡住田町を拠点に釜石市、大船渡市、陸前高田市、大槌町でのボランティアを実施。(2011.8.24-30)
- 🖫 連続オープン・リサーチ「東日本大震災における住まい・まちの復興」を開催。(2011.11.16)
- ■オープン・リサーチ・セミナー「被災地復興と官民学協働〜仙台市・多賀城市を例に〜」の開催 (2011.11.24)
- 🧧 オープン・リサーチ・セミナー「放射能汚染と"希望"」を開催。(2011.12.2)
- ■日中シンポジウム「複合型災害の救援と復興」を開催。(2011.12.8)
- 周ゼミナールの学生が気仙沼被災地で現地調査を実施。(2012.1.16)



- ■震災復興に関する立命館大学政策科学部・政策科学研究科の取り組みの一環としてシンポジウム「地域 分散型被災者支援を考える」を開催(2012.2.12)
- ☑ 政策科学部生と教員が多賀城市で調査・支援活動を実施。(2012.3.23)

【産業社会学部】

- 松田ゼミが 「チャリティーフリマ」を開催(2011.7.5)
- ■産業社会学会 東日本大震災連続フォーラム第一弾 『震災から何を学ぶかー3.11から見えた日本社会 ー』開催(2012.2.1)

【経済学部】

■経済学部研究推進施策プロジェクトが公開講演会「震災と現代経済、その復興と未来社会の展望」を開催(2011.10.8)

【映像学部】

■映像学部共催「東日本大震災復興支援上映プロジェクト in 京都」開催(2012.2.13-16)

【スポーツ健康科学部】

- ■スポーツ健康科学部教員と災害復興支援室が岩手県大船渡市赤崎中学校を訪問、部活動への支援につき 視察と意見交換。(2011.10.24)
- 文部科学省 復興教育支援事業にスポーツ健康科学部の取り組みが採択(2012.1.31)
- ■教員4名、院生2名、学生4名、職員2名が岩手県大船渡市立第一中学校、大船渡中学校訪問(簡易体力測定および教員へのトレーニングレクチャー等の実施)(2012.2.12-13)

【応用人間科学研究科】

- ■開設10周年記念シンポジウム「東日本大震災と大学の役割−応用人間科学研究科に期待されること」開催(2011.7.2)
- ■応用人間科学研究科教員、学生が青森県むつ市の被災地の保育所、幼稚園、学校にて対人援助に関わる ボランティア活動を実施。(2011.8.25)
- 「震災復興支援プロジェクト第1回報告会」の開催(2011.10.17)
- □岩手県遠野市にて「東日本・家族応援プロジェクトin遠野2011」実施。遊びのワークショップ (2011.11.5)、支援者支援セミナー(11.6)、団士郎の漫画トークー木陰の物語の物語(11.6)
- 🖫 東日本大震災復興支援シンポジウム-対人援助者がコミュニティに入るとき-開催(2011.11.13)
- 👊「東日本・家族応援プロジェクトinふくしま2011」の開催(2011.11.29-12.4)
- 🍹「東日本・家族応援プロジェクトin二本松」の開催(2012.1.23-29)
- ☑ 「震災復興支援プロジェクト第2回報告会」の開催(2012.2.3)
- ☑ 「特別支援教育の再生と創造に向けて」の開催(2012.2.22-24)

【生存学研究センター】

- シンポジウム「震災と停電をどう生き延びたか」を開催(2011.9.18)
- ■障害学会第8回大会・特別企画トークセッション「災厄に向かうー阪神淡路の時、そして福島から白石 清春氏を招いて」を開催。(2011.10.1)
- ☑「被災地の現状から学ぶ 今、私たちが備えなければならないこと 絆・術・策」を開催。 (2011.10.15)
- 📮『生存学』vol.5 特別公開企画 栗原彬インタビュー企画 「『3.11』論」を開催。(2011.11.17)
- 福祉社会学会第36回研究会を開催。(2012.3.11)
- **■生存学における原子力研究会・特別企画「震災・大学・放射能~福島大学教員をお招きして」を開催。**(2012.3.29)



【歴史都市防災研究センター】

- ■様々な企業・団体に協力いただき、「i BOUSAI」(避難生活支援キット)3,000個を発送(第1回)。京都府危機管理防災課のネットワークを通じて福島県内避難所に1,600個、岩手県・宮城県内避難所に1,200個、福島大学避難所に200個を送付。(2011.4.1)
- ■東日本大震災による東北地方の文化財被災地図を公開(2011.4.1)
- ■防災缶(避難生活支援キット)2,000個を発送(第2回)。宮城県石巻市へ 1,500個、宮城県女川市へ 500個を配送。(2011.4.21)
- 🏿 防災缶(避難生活支援キット)50個を発送(第3回)。宮城県仙台市に 50個配送。(2011.5.3)
- 特別講義(都市防災工学)「東日本大震災による仙台周辺での被害調査・報告会」開催(2011.5.31)

【国際 也域研究所】

□ 立命館大学国際地域研究所・東京大学産学連携プロジェクト 21世紀の日本の進路を考える会合同ワークショップ「災後社会の長期的条件:資本主義システムの変容と日本」を開催。(2012.3.10)

【社会システム研究所】

- ■学術公開シンポジウム 「3.11後の東北地域と日本の再生-グローバル化の新段階における地域社会システム再構築-」の開催(社会システム研究所)(2011.12.2)
- ■「震災からの復興とまちづくりー陸前高田の現状をふまえ、何ができるか、必要かー東日本大震災復興のための『私たちの提案』採択プロジェクトを開催。(2012.3.22)

【防災フロンティア研究センター】

■第3回防災情報シンポジウム「巨大災害におけるリスク緩和」を開催。(2012.1.27)

【教育開発支援機構】

■岡本行夫客員教授連続講演会「大震災後の日本が直面する5つの危機」開催(2011.10.25)

【サービスラーニングセンター】

- ■震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催(2011.4.27)
- 聴覚障害学生支援PC テイクボランティアを募集(2011.5.10)
- 🏿 ボランティアバス「いわてGINGA-NET」学生25名、職員1名を派遣。(2011.9.14-20)
- ☑ 災害復興支援報告会「ボランティアバスに参加して」を開催、学生、教職員約100名が参加。 (2011.10.1)
- ■和歌山県新宮市熊野川エリアへボランティアバス第1便を運行、学生14名、職員2名を派遣。 (2011.10.15-16)
- 和歌山県新宮市熊野川エリアへボランティアバス第2便を運行。学生15名、職員2名を派遣。和歌山大学 学生と交流。(2011.10.22-23)
- 🖕 連続ワークショップ【減災社会のための地域デザイン】開催
 - 第1回「ネットを活かし場を設計する」(2012.2.4)
 - 第2回「人がつながるしくみを考える」(2012.2.11)
 - 第3回「防災訓練を「+arts」で再発明する」(2012.2.18)

特別シンポジウム「震災・ボランティア・コミュニティデザイン」(2012.2.25)

トークセッション「大学と災害とボランティアセンター」開催(2012.2.26)

【国際平和ミュージアム】

- ■東日本大震災写真展「東日本大震災の現場から」第1弾を開催。「安斎育郎名誉館長、福島原発被災地 を行く」を同時開催(2011.5.17-6.19)
- ■東日本大震災写真展「地球が教室 平和にピント!世界の教え子」・「ワレラ地球人」を開催 (2011.6.10-6.30)
- ■東日本大震災写真展「東日本大震災の現場から」第2弾を開催(2011.6.21-7.30)



- 特別講演第2弾「福島原発から何を学ぶか?-二度の現地調査をふまえて-」開催(2011.6.29)
- ■東日本大震災写真展「つながる支援の輪」開催(2011.11.1-30)

(8)立命館生活協同組合の取り組み

- ■「東北地方太平洋沖地震」緊急支援募金を開始。(2011.3.12)
- 🥃 「被災学生の学業継続支援募金」の実施。(2011.4.4)
- ■「東北地方太平洋沖地震支援募金メニュー」の提供開始。(2011.4.4)
- 📱「震災によって父母を亡くされた学生へのお見舞金」を実施。(2011.4.12)
- 📱 「震災の津波被害にあわれた高校生に辞書を送ろうプロジェクト」を実施。(2011.4.28)
- 🥛 「震災によって自宅・実家が全壊した学生組合員の皆さんへのお見舞金」を実施。(2011.5.17)
- ☑京都災害ボランティア支援センター報告会「現地学生が語る福島の現在(いま)」を開催。 (2011.7.8)
- ☑ 震災復興支援グッズ販売開始。(2011.7.25)
- 東日本大震災大学生協夏季ボランティアを実施。全5ターム、180名が参加し宮城県七ヶ浜町での海浜清掃や中高生への学習支援を実施。 (2011.8.29-9.18)
- 🏿 シンポジウム「東日本大震災にどう立ち向かうか~人・絆・協同~」を開催。(2011.12.3)
- 🥃 「復興支援と防災を考える3.9の集い」を実施。(2012.3.9)

(9)校友会、父母教育後援会の取り組み

【立命館大学校友会】

- ■立命館大学陸上競技部OB・OG会から宮城県校友会下村泰雄会長へ義援金並びに色紙を伝達。(2011.7.4)
- ■「平成23年度立命館大学岩手県校友会総会・懇親会」を開催。(2011.7.5)
- ☑ 立命館大学校友会に寄せられた義援金のうち190万円を第一次配分として、岩手、宮城、福島の3県校友 会に送金。(2011.7.12)
- ☑「平成23年度立命館大学福島県校友会総会・懇親会」を開催。(2011.9.23)
- 囁「2011年度宮城県校友会総会・懇親会・女子駅伝祝勝会」を開催(2011.10.23)
- 📮「オール立命館校友大会2011in京都」にて募金を実施。(2011.10.29)
- ■岩手県校友会による『沿岸地区校友会』を開催。(2011.11.23)
- ■広島県東部校友会総会を開催、東日本大震災被災地を支援する団体「てごうし隊」の状況や活動内容を 紹介(2011.11.20)
- ☑ 立命館大学校友会に寄せられた義援金のうち440万円を第二次義援金として岩手、宮城、福島の3県校友 会会長に縄本敏事務局長より手渡し。(2011.12.6)
- 兵庫県校友会が「東日本大震災被災地校友と兵庫県校友会員の交流事業」を開催。(2011.12.10)
- 岩手県校友会が「宮古地区沿岸校友会」を開催。(2012.1.9)
- 「社会的使命に思いを馳せつつ熱く交流を重ねる−建立会(建設会大阪支部)第40回総会」を開催し募金を実施。(2012.1.21)

【立命館大学父母教育後援会】

- ■東北3県「父母説明会・相談会」を開催。大学院の父母も迎え大震災後の大学の支援体制の説明や、今後の大学生活、進路就職の説明、相談を実施。 (2011.7.23、24、30)
- ☑「立命館大学父母教育後援会会員災害見舞金」を設置。(2012.4.1)

【APU校友会】

- ■「東北地方太平洋沖地震に係る義援金」の募集を開始。(2011.4.15)
- 📮「東日本大震災に係る義援金」をAPU卒業生3名、日本赤十字に送付。(2011.10.21)





APU学生による募金活動



立命館小学校の児童の作品制作



立命館中学校・高等学校の復興支援プロジェクト



立命館宇治中学校・高等学校の仮設住宅訪問



立命館守山中学校・高等学校の仮設住宅訪問



立命館慶祥中学校・高等学校での講座





草津市役所と連携した減災ワークショップ



和歌山大学と連携した台風12号支援活動



歴史都市防災センターの「防災缶」



宮古市に建てられた簡易集会所

2-4 東日本大震災に関る研究推進プログラム

東日本大震災の発生を受けて、2011年3月以降、東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室は、事態の深刻さを踏まえ、また全学から寄せられた様々な提言にもとづき、立命館の教育・研究を通じた被災地の復興と日本社会の再建への貢献・支援を具体化する検討を進めた。

こうした中、常任理事会(2011.6.1)において2011年度の学部・研究科における研究強化推進施策と関わって研究費予算のうち1億円を震災復興・災害防止等をテーマとした各種プロジェクトの支援に充てる方向性が承認され、研究部と調整のうえ、上記予算のうちさしあたり5,000万円を活用した「東日本大震災に関る研究推進プログラム」を設置した。また、残る5,000万円の執行については、その具体案を災害復興支援室であらためて提起することとした。

(1)「東日本大震災に関る研究推進プログラム」

東日本大震災の被災地の復興支援、災害時の被害軽減などをテーマとしたプロジェクト研究、被災 した大学・研究機関との共同研究プロジェクト等の研究活動をサポートする。



【立命館大学採択分一覧】

研究課題	研究代表者 (50音順)	所属	
土地台帳を用いた近代の津波による被災地の復原と災害復旧 に関する研究	赤石(河角) 直美	衣笠総合研究機構	PD
震災復興における企業家の「役割」と「需給コーディネー ション能力」に関する実証研究	石川 伊吹	政策科学部	准教授
地域の交通を支える橋の津波による流出防止対策に関する研 究	伊津野 和行	理工学部	教授
災害復興のための金融・法技術・税務に関する研究	大垣 尚司	金融・法・税務研究センター 法学研究科	センター長 教授
ねじりを含む組み合わせ断面力を受けるRC部材の耐震機構と 合理的な補修・設計の提案	岡本 享久	理工学部	教授
災害時対応情報収集および多目的支援ICTカー	小川均	情報理工学部	教授
平時のリスク認知を通じた緊急時のリスク緩和のためのコ ミュニティ防災の高度化に関する研究	鐘ヶ江 秀彦	政策科学部	教授
被災後の安全かつ快適な生活環境確保を目的とした衛生環境 実態調査	神子直之	理工学部	教授
津波災害およびその復旧・復興過程に関する災害考古学的研 究	河角 龍典	文学部 京都学プログラム	准教授
長期再起確率を考慮した高潮および津波によるアジア太平洋 沿岸域の脆弱性評価〜東日本大震災による沿岸水害の実態解 明と低地が広がる島嶼国の将来リスク		理工学部	講師
複合型災害の救援・復興のための「政策特区」構想と未来型 エネルギー最適化システムのエコデザイン	周 瑋生	政策科学部	教授
被災デジタルデータ復旧と歴史資料解読データベース構築の 支援プロジェクト	高木 正朗	産業社会学部	教授
東日本大震災後の日本経済の課題と展望―成長から適応へ―	高橋 伸彰	国際関係学部	教授
災害復興計画の実施に伴う経済的被害軽減シミュレーション	谷口仁士	グローバルイノベーション研究機構	教授
多次元における離散確率解析とその応用	土屋 貴裕	理工学部	助教
岩手県宮古市を対象とする生活域と産業域における浸水被害 からの復興と創造的地域づくりの研究	中島淳	理工学研究科	教授
GISを用いた文化財保護の意思決定を支援するデータベースの 構築と活用に関する研究	中谷 友樹	文学部 歴史都市防災研究センター	准教授
思い出の品を失った被災者の思い出想起支援	仲谷 善雄	情報理工学部	教授
避難所における音環境の快音化	西浦 敬信	情報理工学部	准教授
教育と福祉との連携に基づく子どものトラウマケアのあり方	野田正人	産業社会学部	教授
地域分散型震災被災者支援システムの構築に関する研究	平岡 和久	政策科学部	教授
東北地方太平洋沖地震による青葉城跡城壁崩落に関する地盤 調査および崩壊メカニズムの解明	深川 良一	理工学部	教授
放射性物資・ヘドロ等 環境汚染物資の微生物による除去	福田 青郎	生命科学部	助教
被災地のまちづくりに観光が果たす役割とダーク・ツーリズムに関する研究— 宮城県石巻市を事例として —	藤巻正己	文学部	教授
大震災と税制・財政の諸問題に関する研究	宮本 十至子	経済学部	教授
震災による倒壊建築物・瓦礫等によるアスベスト災害防止の 政策研究	森裕之	政策科学部	教授
様々な品種のイネ種子エンドファイト及び津波による塩害が イネ種子エンドファイトに及ぼす影響	森崎 久雄	生命科学部	教授
Geo Designを用いた津波被災地域における復興計画の策定の ためのフレームワークの構築	矢野 桂司	文学部	教授
水中ロボットを利用した滋賀県葛籠尾崎湖底遺跡地震成因説 の検証	矢野 健一	文学部	教授
機動配置型のマイクロバブル式小型水処理装置による緊急水 処理支援システムの研究	吉岡 修哉	理工学部	准教授



申請資格	立命館大学の教授、准教授、専任講師、特別契約教員(教授・准教授)、特別招聘教員(本務教員のみ)、任期制教員(教授・准教授・講師)、助教、ポストドクトラルフェロー、またはそれらで構成されるグループ(APUの教員がグループに加わることも可)
研究費	予算総額5千万円、1研究課題につき最大3百万円を上限に研究経費
	を助成
実施期間	2011年7月~2012年3月末日
審査方法	プロジェクト・支援室と研究部で審査体制を確立し、「申請調
	書」に基づき書類審査を実施
募集期間	2011年6月6日~6月24日締切、7月15日審査決定
申請数	69件(人文社会科学系40件、自然科学系29件)
採択結果	30件

(3)APU「東日本大震災に関る研究推進プログラム」

立命館大学での「東日本大震災に関る研究推進プログラム」の設置と同様の趣旨・目的で、「東日本大震災復興支援活動費」より、APU「東日本大震災に関る研究推進プログラム」を設置した。

【APU採択分一覧】

研究課題	研究代表者 (50音順)	所属	
排出権取引制度を活用した電力節減策	塚田 俊三	アジア太平洋学部	教授
原子力再生と太陽電池活用による震災復興のためのエネル ギー政策の研究	中田 行彦	国際経営学部	教授
Contamination Prevention Integrated in Disaster Recovery Plan for Chemical Industries. Lessons from the Great East Japan Earthquake, March 2011	MAHICHI Faezeh	アジア太平洋学部	助教

申請資格	立命館アジア太平洋大学の教授、准教授、専任講師、特別招聘教
	員、任期制教員(教授・准教授・助教)、またはそれらで構成さ
	れるグループ。立命館大学の教員がグループに加わることも可。
研究費	1研究課題につき、最大1,000,000円を上限に研究経費を助成する
	(予算総額3,000,000円)。
実施期間	2011年7月~2012年3月末日
審査方法	「東日本大震災に関る研究推進プログラム申請調書」に基づき、
	審査委員会を経て大学評議会で決定する。
募集期間	2011年6月28日~7月15日締切。2011年7月27日審査決定。
申請数	5件(人文社会科学系5件)
採択結果	3件



2-5 東日本大震災復興のための『私たちの提案』

(1)概要

東日本大震災の発生以降、東日本大震災特別検討プロジェクト・災害復興支援室には教職員からの 復興支援活動の取り組み提案が複数寄せられたため、学校、部課単位、あるいは有志等、教職員が主 体となり集団的に取り組まれる復興支援活動に対する事業・企画への予算措置を「東日本大震災復興 のための『私たちの提案』」の名称で実施することを提起した(2011.6.29常任理事会)。

なお、本事業は災害復興支援基金(予算総額1,500万円)に基づいて、第1次(6/29~7/13)、第2次 (9/21~10/7) にわたって実施し11件、10件の提案が採択された。

(2)募集内容

募集対象については被災地復興支援をはじめ多様な取り組みを想定した。正課・正課外等の枠組みを問わず、本学園の専任教職員が主体となり集団的に取り組まれる活動を対象とした。また、取り組み責任者が専任教職員であれば学生等の参加も可とした。

本事業の予算は、東日本大震災復興支援活動費から15,000,000円を年間の予算総額とした。1企画の予算額の上限額は設定していない。ただし、取り組みに必要な経費全ての予算措置を行うものではなく、内容・趣旨に鑑み、適宜予算措置額を決定した。一定の財政負担を前提とした提案を募集した。経費の使途は、旅費(国内)、図書資料費、機器備品費、講師謝礼等、消耗品費、印刷・製本費など、計画の遂行に必要となる経費および成果の取りまとめに必要な経費を対象とした。

実施期間は、第一次募集は2011年7月~2012年3月末日、第二次募集は2011年10月~2012年3月末日 とし、実施期間終了後に報告書の提出を求めた。

(3)応募および審査方法

応募方法は、取り組みの概要および必要経費を記載した企画書(第1次募集は自由書式、第2次募集は規定書式)を提出することとした。必要に応じてヒアリング等を実施し、企画書に基づいて東日本大震災特別検討プロジェクト・災害復興支援室にて書類審査を実施、①取り組みの具体性(実現可能性)、②学園として支援が必要な取り組みか、③財政の担保により実行可能となる取り組みか、を中心に審査を行い、総合的に協議・判断した。

(4)採択結果

第一次募集は応募件数17件に対し、採択件数11件、総予算措置額は9,791,000円、第二次募集は応募件数13件に対し、採択件数10件、総予算措置額は4,916,000円であった。(総予算措置額14,707,000円)

【第一次提案採択分】

企画名	提案部署		代表者
被災学校との交流支援―鳳凰杯を通じて―	立命館宇治中学校・ 高等学校	谷口 充子	副校長
対人援助に関わる震災復興支援企画	応用人間科学研究科	村本 邦子	教授
まさか!に備える情報通信技術と立命館大学	立命館グローバル・イノ ベーション研究機構/リ サーチオフィス (BKC)		リサーチオフィス (BKC)課長



インド洋大津波で被災したインドネシアの小学生と東日本大震災 で被災した小学生を両国の伝統文化で絆をつなぐ	国際協力事業課	石野 貴史	国際協力事業課長
東日本大震災・復興支援ボランティアをテーマとする『地域活性	サービスラーニングセン	山口学曲	共通教育推進機構
化ボランティア』	ター/共通教育課	山口 洋典	准教授
被災地デジタルフェニックスプロジェクト	生命科学部	長野 正道	教授
宮城県石巻市住吉小学校との支援交流	立命館小学校	児玉 健太郎	教諭
簡易集会所の建設プロジェクトー仮設住居の入居率向上のための	理工学部	≐ + ₩ <i>/</i> -	\# ±\#+\\\\\\\
試みー	建築都市デザイン学科	宗本 晋作	准教授
「办签科学性叫字羽」、川、に関わて活動	办签约类型	政策科学部	
「政策科学特別実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」に関わる活動	政策科学部	執行部	
震災避難児童の学習プロジェクト「ほんの少しのちから」	政策科学部	桜井 政成	准教授
「漢字遊び大会~漢字で元気に」	社会連携課	久保裕之	課員

【第二次提案採択分】

企画名	提案部署		代表者
鳳凰杯を通じた被災地の中学校・高等学校との交流	立命館宇治中学校・ 高等学校	谷口 充子	副校長
被災地の人たちの現状を知り、被災地の人たちから学び、学んだ成果を被災地の人たちに返し、被災地の人たちと共に励まし合え る関係を築くための教材作り	立命館宇治中学校・高等	本庄 豊	教諭
人のつながりを大切にした支援	立命館守山中学校・ 高等学校	八反和之	教諭
学術シンポジウム『「3.11」後の東北地域と日本の再生:グロー バル化の新段階の中での地域社会システム再構築』	経済学部	松野 周治	教授
「くらしやすいまち」多賀城創造プロジェクト	政策科学部	桜井 政成	准教授
ホワイトスペース特区を活用したエリアワンセグ放送によるキャンパス防災の実証的取組	映像学部	細井浩一	教授
震災弱者にされてしまわないために―調査・連携・提言	先端総合学術研究科	立岩 真也	教授
京都からできること〜地域とつながるFM番組を通じた被災地支援	広報課	川口隆一	課長補佐
連続ワークショップ「減災社会のための地域デザイン」(仮)	共通教育推進機構	山口洋典	准教授
東日本大震災後の福祉労働者の新しい役割にかんする実態調査と それを支える課題についての提言	産業社会学部	石倉 康次	教授

2-6 学生たちの取り組み

ボランティア元年と呼ばれた1995年、その契機となる阪神・淡路大震災に対するボランティア活動においては、学生たちがその主な担い手となった。それから16年を経て、今次の大震災では、とりわけ大規模災害に対する学生たちのボランティア活動に期待が高まった。しかしながら、被害の広域性、さらには複合性(例えば、地震に起因する津波災害や原子力災害など)、加えて国や地方自治体によるマニュアルの整備等によって、阪神・淡路大震災当時のように被災地以外から主体的、積極的に駆けつけていく個人の集団化の動きが逆に見えにくいものとなっていった。そうしたことも反映してか、立命館大学では3月15日に「東北地方太平洋沖地震への災害救援活動を考えているみなさんへ」を発表し、「現地への配慮」を前提に、個人で現地に駆けつけることや、問い合わせを重ねること、物資を送付すること、支援先が不透明なままに勝手な募金活動を控えるよう促し、その代わりとして3月18日に学生オフィスと教学部のサービスラーニングセンターの共同主管により「立命館大学震災支援活動情報ネットワーク」(311+Rnet)を設立し、当面は4月6日の開講までの時限組織として現地に行けない学生らの身の置き所になるよう、部屋と電話を付与し、学内や大学関連行事(卒業式・入学式等)での募金活動を行うこととした。



立命館大学の学生による2011年度の活動は、4月14日の「東日本大震災被災地でのボランティア活動について」発表までの「抑える」段階、そしてそれ以降の「妨げない」段階、さらに立命館として初めてバスを運行した6月24日以降の「促す」段階の3つのフェーズに分けることができる。以下には、その担い手別に項目を示すため、明確にこの取り組みの背景にあるモードの違いは強調されていない。加えて、TwitterやFacebookなど、インターネット上での各種情報プラットフォームの活用により無数に生じた学生たちの活動について、本報告書で網羅的に掌握できていない。とはいえ、学生らによる主体的、積極的な活動は、今次の大震災においても広範に展開されていることを確認した上で、むしろ、それらの活動を学園・大学の取り組み実績として位置づけることはあってはならないという考えのもとで、ここには記載していないことを付記しておきたい。

(1)立命館大学震災支援活動情報ネットワーク 311+Rnet

震災支援活動を行いたいと考えている在学生の情報共有、交流のネットワークとして設立された。 震災支援ボランティア関連の情報提供や、学生の活動、体験についての報告・情報を蓄積し、交流・ 共有する役割を担う。(2011年3月14日活動開始)

【この間の主な取り組み】

- ■義援金活動(チャリティ企画、街頭募金等)
- ■現地報告会の実施「テレビではわからない被災地の現在(いま)と未来(これから)」の実施(2011.4.27)衣笠キャンパス: 創思館カンファレンスルーム

「福島・仙台、被災地への行程(3/24-3/28)」野田正人先生(産業社会学部 教授)

「災害救援活動現地レポート」松尾 志織 (文学部4回生)

「関西での後方支援活動報告」世古 和希 (文学部4回生)

びわこ・くさつキャンパス: コラーニングハウス1301号教室

「発災1ヶ月の仙台で見てきたこと」山口洋典先生(サービスラーニングセンター副センター長)

「災害救援活動現地レポート」宮本大輔 (情報理工学部3回生)

「関西における後方支援」柳瀬 顕 (文学部5回生)

- ■震災支援情報カフェ「311+Rnet cafe」をオープン(2011.6.6-7月中旬)
- ☑ 緊急災害ボランティア団体「らくだ」かき氷の販売等(2011.6月-7月)

衣笠キャンパス東門界隈の店舗部分の軒を借り、県外避難者等転入者の学習支援活動に向けた資金 調達の趣旨を重ねたかき氷販売について、その情報提供や運営支援にあたった。

¶ 311+Rnet スタートアップイベント(2011.6.6)

12:00~MAPペインティング@芝生広場

311+Rnet CAFE 常設展示で使うMAP(約2m×5mの日本地図を描く)ペイント

16:20~17:50 ワールドカフェ@創思館前芝生広場

学生、教職員など、震災支援に関わりたい人々が集結!

関西でどのようなことができるか?など、活発に意見交換

18:00~19:00交流会@サブウェイ

- ■東北学院大学×立命館大学skype交流会「いま東北に耳を傾ける」(2011.6.13)
- ■ボランティアバス運行キックオフイベント(2011.6.24)

「スマイルエンジン山形の取り組みとこれからの復興支援について」山形大学エンロールメント マネジメント部 平尾清教授、山形大学研究生熊谷周三氏が報告。

- **■「ミンナDEカオウヤ」カオウヤ京都プロジェクト(2011.6.27-7.1)**津波被害により市場が流されてしまった被災地の商品を都市部で販売して、被災した福祉施設の経営、障害者の収入を支えようというもの
- ■ボランティアバス「スマイルエンジン山形」へ派遣(2011.7.2)

立命館大学学生2名・職員1名、APU学生2名・職員1名を派遣

¶ Youth for 3.11関西準備会(現地ボランティア準備会)「関西の学生ができること」(2011.7.7)

Youth for 3.11 代表 船登惟希さん、学生報告 森達朗(文学部4回生)、宮後真美(APU3回生)



- 講演会「メディアとアートは被災地に何を伝えたのか」(2011.7.8)
- ■キャンドルナイト「ーあなたとえがく、あなたとつくるー」(2011.7.11) 「ボランティア座談会」、「東北学院大学とのskype交流会」、「東北人お国自慢大会」、「約300個のキャンドル点灯」
- eat&talk、東北! (2011.7.15)

BKCエポック立命21にて、東北の料理を食べながら、東北について話す会開催

■ ENCOURAGE日本!での募金活動(2011.10.22)

(2)学生による取り組み

☑ ボランティアバスを龍谷大学と共同運行。(2011.6.24-27)

学生22名、教職員6名が参加し岩手県下閉伊郡山田町での復興支援活動を実施。

■ 「スマイルエンジン山形プロジェクト」への学生参加(2011.7.2)

パイロットプログラムとして災害復興支援室関係者とともに瓦礫撤去、清掃活動等に参加

「ボランティア新聞」@BKC第1号発行(2011.6.30)
ボランティアセンター学生コーディネーター作成

☑ 「チャリティーフリマ」開催(2011.7.5)

産業社会学部松田ゼミ

☑ 「災害復興支援ボランティア&立命活動団体紹介ムービー放映会」(2011.7.15)

学生サークルMeetSource

■ ボランティアバス(2011.8.16-23)

「気仙沼・暮らしたのしませ隊」プロジェクトを大阪ボランティア協会との連携で企画、サークル・学生団体の特色を活かしたボランティア・交流実施。学生26名、教職員2名が気仙沼市の仮設住宅・避難所等を訪問。

⊆ ボランティアバス(2011.8.19-23)

「スマイルエンジン山形」プロジェクトに学生25名(RU19、APU6)、RU職員1名、APU職員1名、クレオテック2名が参加、宮城県石巻市での清掃等の活動、仮設住宅住民の方へのワークショップ手伝い等実施。

■ボランティア活動(2011.8.31-9.10)

「国際社会で活躍する人材養成特別プログラム」学生8名。遠野まごころネットでのボランティア 活動参加。

ボランティアバス(2011.9.7-13, 14-20)

「いわて GINGA-NET」に学生25名、職員1名が2回にわたって参加。宮城県気仙沼郡住田町を拠点に釜石市、大船渡市、陸前高田市、大槌町でのボランティア実施。

☑避難者支援(2011.9.23)

学生グループtaRo、「第2回立命館大学BKC交流会サロン」で滋賀県に避難されている方を対象にBKCキャンパスにて大学見学や昼食会・交流会開催、ネットワークづくり支援。

■ ボランティアバス報告会の開催(2011.10.1)

夏期休暇中のボランティアバスに参加した127名による活動報告と他大学生も交えた経験交流の機会を衣笠キャンパス諒友館食堂にて開催

■ 立命館大学衣笠キャンパス学園祭(2011.11.12-13)

「FROM 3.11~to relationship~」「おいでよ!道の駅東北」実施。

■ 立命館体育会ヨット部による東北大学、東北学院大学へのヨット提供

2-7 「後方支援スタッフ」派遣活動について

災害復興支援室はその設置後、学園全般にわたって取り組まれる災害復興支援活動の情報収集や連絡調整にあたってきたが、現地との関係構築や人脈の拡張が図られるなか、中長期的な支援が求めら



れる被災地に向けて、継続的に本学園構成員が現地に駆けつけていくことができるよう、2011年末より後方支援スタッフ派遣プログラムを開始した。この活動の特徴は大きく2点挙げられる。1つは「ボランティアバスと言わないボランティアバス」であること、もう1つは「行きたい人なら誰でも行ける」ことである。前者は「ボランティア」という言葉が含む多様な解釈(例えば、自発性、 無償性、公共性、先駆性など)が現地への精神的な距離を遠くさせていないか、後者は「事前や事後の学習や研修など」が負担感に思われていないか、ということからの工夫であった。

具体的な活動は以下に示すとおり、冬期休暇前の年末と年末年始をまたぐ2便に試行的なプログラムを実施し、その後、立命館大学の後期セメスターの試験期間終了を3月末までに4便のバスを運行してきた。参加者の中心は学生であり、それぞれ「スタッフ」(すなわち、要員)として赤いビブス(ベスト状のユニフォーム)を身につけて、各便ごとに現地のニーズにあわせて、予め設定された職務を担った。各便の活動に直接的な連携はないものの、京都方面から立命館が継続的に駆けつけている場面に、報道関係からの取材等の依頼が複数寄せられた。ただ、何よりも現地の方々から温かい言葉を掛けていただく機会が徐々に増えており、「現地からのまなざし」と「現地へのまなざし」が適切に交わりつつあることを一つの到達点であると確認し、2012年度は開講期間中も含めて、継続的なプログラムの展開にあたることとしたい。

(1)後方支援活動のとしての受け入れ先・連携組織

- ・NPO法人遠野まごころネット・サンタが100人やってきた!プロジェクト(第1便)
- ・大槌町社会福祉協議会 大槌町災害ボランティアセンター (第2便)
- ・NPO法人テラ・ルネッサンス・大槌復興刺し子プロジェクト (第2便)
- ・宮古市社会福祉協議会・宮古市生活復興支援センター(第4・5・6便)
- ・NPO立ち上がるぞ宮古市田老(第5・6便)

(2)各便のプログラムの活動実績

【参加者数】

便	現地滞在	参加学生数	男	女	引率職員
第1便	3.5日	5	2	3	2
第2便	2.5日	13	11	2	2
第3便	2.5日	15	6	9	2
第4便	2.5日	12	3	9	2
第5便	2.5日	13	5	8	2
第6便	2.5日	12	7	5	3
	計	70	34	36	13

【活動内容と活動場所】

第1便(12/21(水)夜京都発~12	2/27(火)朝京都着)
・クリスマスプレゼントの配布準備	岩手県遠野市大工町10-10 遠野まごころネット事務局内
・サンタ扮装によるプレゼント配布	岩手県遠野市、陸前高田市、大槌町、山田町等の仮設住宅等
・クリスマスイベントのサポート	岩手県上閉伊郡大槌町小鎚第27地割 マストショッピングセンター
第2便(12/28(水)夜京都発~1/	2(月)朝京都着)
・被災した小学校校舎の清掃等	岩手県上閉伊郡大槌町赤浜地区 大槌町立赤浜小学校敷地内
・手仕事づくりを通した復興支援	岩手県遠野市白岩 NPO法人テラ・ルネッサンス 遠野事務局内
・年越し福袋の搬入	岩手県上閉伊郡大槌町小鎚第27地割 マストショッピングセンター
・被災者支援車両の洗車	岩手県上閉伊郡大槌町上町 大槌災害ボランティアセンター
・年越しイベントのサポート	岩手県上閉伊郡大槌町上町 小槌神社・おらが大槌復興食堂
第3便(2/5(日)夜京都発~2/10	(金) 朝京都着)
・被災した小中学校への献本、公文書修復	岩手県遠野市東舘町 遠野市役所東館内



・中学生の自習支援	岩手県陸前高田市 市立第一中学校、米崎小学校内
第4便(2/19(日)夜京都発~2/2	4(金)朝京都着)
・仮設住宅における生活支援	宮古市応急仮設住宅(愛宕小・中里・西が丘・荷竹・払川・高浜・河南)
・仮設住宅への救援物資配布	宮古市応急仮設住宅
第5便(3/1(木)夜京都発~3/6	(火)朝京都着)
・津波被害に関する現地説明会	宮古市田老字野原 たろう観光ホテル付近
・仮設住宅における生活支援	宮古市応急仮設住宅(田鎖、わむら、藤原三丁目、近内、西が丘)
第6便(3/22(木)夜京都発~3/2	7(火)朝京都着)
・津波被害に関する現地説明会	宮古市田老字野原 たろう観光ホテル付近
・復興支援イベントの設営、会場整理	宮古市小山田河川敷 ふれあい公園内
・仮設住宅における生活支援	宮古市応急仮設住宅(ゆかり公園、板尾、浄土ヶ浜、日の出町)
・津波に浸かった写真の修復	宮古市小山田 宮古市生活復興支援センター内

(3)メディア掲載等

<新聞>

- ・京都新聞(関西)2011年12月14日付 「京の学生ら温か支援 立命大 遠野でボランティア」
- ・朝日新聞(京都・滋賀) 2012年3月9日付 「震災から1年 京都は今(中) 学生 寄り添い続ける 阪神の経験、支援の力育む」

<放送>

・IBC岩手放送 2012年3月1日 ニュースエコー (18:15-19:00) ※陸前高田市第一中学校での自習活動支援について

くラジオン

・FM KYOTO(αステーション)「RadioB☆B」3/10(土)20:30「復興支援のこれから」

<掲載物>

・雑誌ダ・ヴィンチ「東日本大震災から1年いま僕らにできること-三陸文化復興プロジェクト」



第1便でのサンタ活動の様子



第3便での文献修復活動の様子





第4便での傾聴ボランティアの様子



第6便での雪かき活動の様子

2-8 放射線教育、測定器の設置

東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所事故では、放射性物質の飛散状況を示す詳細なデータの不足や政府発表のぶれ、さらに放射線に対する誤った知識や偏見などもあって国民は混乱し、誤ったメッセージが海外にまで広がる等の事態に発展した。

放射線に関しては不確かな情報に基づく不安やそれに基づく風評被害が発生し、放射線の影響について立命館の父母や校友からも放射線拡散に対する心配の声が寄せられた。立命館として学生・父母・校友、地域住民に対し放射線計測を実施することで、安心を与えるとともに、放射線に関する正しい理解や正確な情報発信等を通じて、教育・社会への貢献を果たしていくべきである。震災以降半年が経過したが、国内外含め広く放射線に関して正しい知識を養い、現状の計測結果を社会に発信していくことは教育・研究機関としての責務ともいえる。上記の趣旨に鑑み、災害復興支援室と各附属校において、放射線計測を実施することとした。

(1)実施形態

【各キャンパスでの測定(立命館としての取り組み)】

慶應義塾大学の地球環境スキャニングプロジェクトとの協力により放射線測定を実施した。

朱雀キャンパスでは2012年3月1日に測定器を設置し計測を開始、Yahoo! JAPANでは3月12日時点で計 測地点として追加され、それ以降、「京都府京都市中京区立命館大学朱雀キャンパス」の地点名で情 報発信が行われている。またその後、状況に応じて他キャンパス・附属校での計測を検討する。

【各附属校での教育の一貫としての取り組み】

2012年度、学習会等を含んだ放射線教育・モニタリングを実施する予定。

(2)内容

【各キャンパスでの放射線測定(主体:災害復興支援室)】

1) 内容

Yahoo! JAPANでは慶應義塾大学の地球環境スキャニングプロジェクトとSAFECASTによって定点計測された全国の放射量情報をリアルタイム(5分ごと)に更新し、各地点で計測した速報値、24時間平均値を数値とグラフでわかりやすく情報発信している(2011年9月30日時点)。



慶應義塾大学の地球環境スキャニングプロジェクトに参加し、システムを活用することで、京都 (朱雀キャンパス)での放射線測定を実施した。朱雀キャンパスでの実施状況により、他キャンパス・附属校での計測も検討し、可能な実施形態について調整することとした。

2011年12月21日付で慶応義塾大学と「SFC研究コンソーシアム共同研究に関する契約書」および「覚書」を締結。

2)使用機材

測定にあたっては、地球環境スキャニングプロジェクトで使用している機材(International Medcom社製のガイガーカウンター「Inspector Alert」/約10万円)を設置した。中には、Ethernet-WiFiコンバータ(プラネックス社製MZK-RP150N)が入っており、これで無線LANに接続し、WEB上で情報を確認する。朱雀キャンパスでは有線で接続。

3) 設置場所

総務課と調整の上、次の条件に適合する、朱雀キャンパス内の適切な場所(南門・守衛室内)に設置した。

- ・なるべく雨に当たらない屋根のある場所
- ・直射日光が当たらない場所
- ・高さはあまり関係ないが、情報提供の観点からは1mの高さが望ましい
- ・近くにコンクリートや石等がない方が良い (線量が高くでることがある)



測定器本体



朱雀キャンパス内の測定場所の様子



測定器の設置状況

■地球環境スキャニングプロジェクトとは

■慶應義塾大学環境情報学部の村井純教授をリーダーとするプロジェクトであり、個人ボランティアや民間企業が協力し放射線量を計測、インターネットを通じデータを公開している。このため、広い範囲で多くのデータを収集することが可能。また、計測された値についても、大学の研究者らがその正確性について検証を行っている。

■SAFECASTとは

■ SAFECAST (セーフキャスト)は、人々が自ら力を持てるよう、データを提供する活動を世界規模で行うプロジェクト。主にセンサー(ガイガーカウンター)ネットワークを構築し、人々が活動に寄与し収集したデータを自由に使用できるようにすることで、この目的を達成しようとするもの。SAFECASTは、International Medcom 社や慶應義塾大学などの協力団体と協働し、警戒区域周辺を含む日本全国に配置された、固定センサーおよび移動センサーから成る放射線センサーネットワークを構築している。



<参考資料>



【附属校における放射線モニタリング・学習会】

1) 内容

附属校においては、放射線に関する教育プログラムが多様な形態で展開された。なお、計測については立命館大学における常設の計測とは異なり、教育の一環としての計測が行われた。

- ①深草、宇治、慶祥、守山、小学校の各キャンパスで、児童・生徒の教育の一環として放射線のモニタリングを行う。
- ②放射線の学習(放射線に関する基礎知識、計測手法)、定期的な計測、計測結果の公開の一連のメニューを実施。放射線の学習にあたっては、理工学部物理学科 藪博之教授(専門:量子多体物理学(理論)、数理物理学、原子核理論、極低温原子気体)に協力を依頼する。

2) 方法

附属校での放射線教育の方法については、各附属校の考え方・意向を尊重することとし、各附属校 と適宜相談・調整の上、最も効果的と思われる方法を検討していく。地球環境スキャニングプロジェ クトへの附属校の参加についても検討を行う。

なお、放射線計測にあたっての運営・データ集積・情報発信等に関しては、各附属校が主体となって実施することを前提とし、災害復興支援室としては、各附属校の自主的な取り組みに対する支援を行うこととし、機材購入の助成等について協力を行う。また、各附属校の計測データ等の情報は、立命館全体として共有する。

立命館高校では、SSコースにおける生徒の研究テーマの一環として放射線に関する教育を進めることとし、2012年2月29日に藪教授、立命館高校ならびに災害復興支援室による懇談を実施。そこで、まずは放射線に関する基礎知識が必要との認識を共有した結果、2012年4月中に高校生を対象に藪教授による講義(90分×2回)を実施する。



2-9 東日本大震災に関わる各種フォーラム、シンポジウム、学習会等の実施

東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室では、2011年3月から2012年3月までの1年間、災害復興支援に関わる様々なフォーラム、シンポジウム、学習会等を実施してきた。災害復興支援室が主催した取り組みとしては15件、学部・研究科等と共催で実施した取り組みに関しては本報告書2-3(7)にて記している。

以下に2011年3月以降、災害復興支援室が主催した様々なフォーラム、シンポジウム、学習会等を 記載した。

日程	企画名称	概要
2011年 5月25日	フォーラム第1弾 「被災地の現状と私たちにできるこ と〜現地調査報告会」	被災後2ヶ月が経過し、実際に被災地を訪問した教員が現地の情報を報告することで、学生・教職員がそれぞれ何ができるのかを考える契機とした。
2011年 7月1日	フォーラム第2弾 「災害時の大学の危機管理-東日本 大震災をうけて」	危機管理について先進的に取り組まれている関西 大学、自治体の視点で大学の災害時対応に関して 大阪市から講師を招き、フォーラムを実施した。
2011年 7月4日	APU 「東日本大震災復興支援企画 復興支援メディア隊講演会」	東日本大震災の復興に向けて「被災者の目と耳 と口になる」さまざまな活動を展開している復
2011年 7月8日	「復興支援メディア隊 講演会『メ ディアとアートは、被災地に何を伝 えたのか』」	興支援メディア隊の榎田竜路氏を招いて開催。7 月4日はAPU、7月8日は立命館大学において学生 および教職員を対象としたトークセッションを
2011年 7月8日	フォーラム第3弾 「私たちにできること-東日本大震 災をうけて」	実施。
2011年 8月1日	「東日本大震災を受けた大学の教育・研究に関する提言にむけた懇話 会キックオフ企画」	東日本大震災をうけて、立命館が教育研究機関 として何ができるのか、何をすべきかについて 考えていくための教職員による懇談会を開催。
2011年 10月1日	災害復興支援報告会 「ボランティアバスに参加して」	復興+R基金の一部を活用して運行したボラン ティアバスに参加した学生による被災地支援活 動の報告会を実施。
2011年 10月13日	立命館未来プロジェクト第1回 フォーラム 「災害とコミュニケーション」	災害に関する情報伝達、コミュニケーションの 問題を幅広く議論し、解決の糸口を模索。
2011年 10月28日	立命館未来プロジェクト第2回フォーラム 「近代の終焉という歴史認識から見た大震災と原発事故の意義を問う」	日本と世界が「近代の終焉」という歴史的課題 に直面しているという時代認識を持ち、問題解 明に向けて理論的な考察と具体的な政策提言を めざす。「近代の終焉」という歴史認識から大 地震と原発事故を捉えて幅広く議論を実施。
2011年 10月31日	立命館未来プロジェクト第3回 フォーラム 「減災の知恵を学び今後に活かす」	津波災害、天然ダム(土砂崩れダム)による災害 にスポットを当て、我々が歴史から何を学ぶべ きか等の課題についてディスカッションを実施。
2011年 11月21日	立命館未来プロジェクト第4回 フォーラム 「技術と人間」	人類文明とエネルギーの変遷、エネルギーを得るための「技術」、エネルギー利用の「技術」、特殊環境で活躍するロボットの「技術」などについて多方面から議論。
2011年 12月2日	立命館未来プロジェクト第5回 フォーラム 「日本経済が直面する課題に大震災 と原発事故が与えた影響」	神野直彦氏(地方財政審議会会長・東京大学名 誉教授)を講師に迎え、東日本大震災と原発事 故からの復旧・復興に向けて、財政危機と地域 再生という視点から幅広く議論を実施。
2011年 12月16日	立命館未来プロジェクト第6回 フォーラム 「東日本大震災を受けて、環境・食 料を考える」	被災された地域の研究者を招き、研究を通じた 提言、食料関係企業の経営者、マスコミ関係の 方からの提言を通じて、環境・食料という支店 から大震災と原発事故を捉えて幅広く議論。



2012年	「立命館未来プロジェクト懇談会~	震災を受けてそれぞれが考える立命館の教育・
1月25日	災後社会における立命館の発信~」	研究の方向性について教職員が継続的に語り合
		う場として懇談会を実施。
2012年	立命館未来プロジェクト第7回	今次の巨大自然災害と原発災害に対して、科学
2月13日	フォーラム	と技術がどのように向き合うべきか。科学・技
	717 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	術と人間の関係から、東日本大震災後の我が国
	間のための総合科学の構築をめざし	の科学・技術の方向性について新しい学問分野
	てー」	の構築と人材育成のあり方を議論。

2-10 災害復興支援に関わる情報発信

立命館学園は東日本大震災発生後、復興支援・学生支援を実施していく姿勢を明確にするとともに、学生・生徒・児童、教職員等の復興支援に関わる取り組みを学園内外に情報発信していくことを目的として、HP「東日本大震災 私たちにできること」を開設した。また、HPだけでなくFacebookやtwitterなどの媒体を利用した情報発信、インナーコミュニケーションの活性化を主眼においた学内広報誌「ユニタース」、教職員向けメールマガジン「ユニタースホットニュース」、立命館大学校友会報「りつめい」、「立命館災害復興支援室 瓦版」等の多様な媒体を活用して学園独自の情報発信を行うとともに、マスコミへのニュースリリース等を通じて幅広く社会への情報発信も進めてきた。

下記に学校法人立命館での2011年3月から2012年3月までの情報発信の概要を記した。

媒体名	時期	主な発信内容
HP 東日本大震災 私たちにできること	2011年4月28日 開始、10月26日 リニューアル	被災学生・入学予定者に対する支援、学生による支援活動、教職員による支援活動、学部・研究科・附属校の取り組み、復興支援関連研究、復興+R基金、メッセージ、取り組み年表、取り組みMAP、災害復興支援室の設置目的、活動内容、など。
学生向けHP RS Web (Ritsumeikan Style)	既設HP	「立命館大学で頑張っている学生、教職員」を紹介。特に災害復興支援に関わる内容は「+R for FUTURE」として特集。
Twitter @fukko_R	2011年7月15日 開始	災害復興支援に関わる立命館の取り組み等の最新情報を随時 紹介。Facebook、HPにリンク。
Facebook 立命館災害復興支援室	2011年9月19日 開始	災害復興支援に関わる立命館の取り組み等の最新情報を随時 紹介。HPにリンク。
学園広報誌 UNITAS	既設広報誌	東日本大震災私たちにできることHP、立命館災害復興支援基金(復興+R基金)、学生の取り組み、研究推進プログラム、教職員による「私たちの提案」、ボランティア派遣、各種フォーラム等の紹介など。
学園広報メールマガジン UNITAS HOT NEWS	既設メールマガ ジン	学生・生徒・児童、教職員の安否状況、義捐金、立命館災害 復興支援基金、研究推進プログラム、教職員による「私たち の提案」、後方支援スタッフ、立命館災害復興支援室瓦版、 各種フォーラム等の告知など。
立命館災害復興支援室 瓦版	2011年11月25日 開始	被災地の連携拠点(大船渡市、宮古市、遠野市)の現状、立 命館による災害復興支援の「今」を伝える。
立命館大学校友会報りつめい	既設広報誌	被災した学生・校友からのメッセージ、立命館大学校友会の 復興支援の取り組み、学生・生徒・児童・教職員等による復 興支援の取り組み等の紹介。
ニュースリリース	_	随時実施 ※新聞掲載記事一覧は資料集を参照
AERA	2011年11月21日 号~	「東日本大震災に関る研究推進プログラム」、「教職員による『私たちの提案』」の取り組みが、朝日新聞社 AERA誌上で15号の連載記事「未来へのおくりもの」として掲載された。





災害復興支援室ホームページ



災害復興支援室Facebookページ



災害復興支援室「瓦版」



3. 今後の活動(中長期的支援)

3-1 基本目標の策定

立命館学園は、2011年度の東日本大震災直後からの立命館災害復興支援室をコアにしたさまざまな支援・連帯の取り組みをふまえ、中長期的な支援のあり方を示そうとしている。立命館憲章と教学理念に基づいた、2020年の学園ビジョンである「R2020」に「教育・研究機関としての立命館の役割―東日本大震災をうけてー」とした基本目標を定め、「1. 被災地の復興、日本社会の再建に貢献する取り組みとそのための人材育成を中長期的スパンで全学園をあげてすすめる。2. 研究を通じて、人と人、人と自然が共存する社会、省エネルギー・親環境社会、災害に強い社会といった震災後の新しい社会の構築に寄与すべく、可能な限りの努力を行う」ことを具体化していく。

3-2 中長期的な復興支援方針

立命館の中長期的な復興支援方針は、2015年をひとつの目処として、以下6項目を具体化していく。

- ①教育・研究を活かした震災からの復興、社会の再建のための支援
- ②学生・生徒・児童、教職員が、一人でも多く、復興支援に関わる条件整備
- ③学生・生徒・児童、教職員が主体的に復興支援に取り組むことを通じて、震災後の新たな社会構築を担う力を身につける
- ④立命館の構成員、立命館に関わる人たちの復興支援を促進するため自治体や他大学と連携し、遠野市、 大船渡市を活動拠点とする
- ⑤学園が立地する地域での復興に向けたさまざまな支援活動の交流・情報発信
- ⑥災害復興にむけた情報を屋内外に発信し、復興・防災の国際協力の構築

3-3 2012年度に計画している主な取り組み

上記の方針を踏まえ、2012年度には以下の項目を具体化していく。

- ①東日本大震災をテーマとした研究推進プロジェクトを継続
 - 2011年度の研究推進プロジェクトの成果をうけて、2012年度も継続プログラムおよび新たなプロジェクトを募集する。
- ②年間を通じた「後方支援スタッフ」学生の派遣
 - 現地での復興支援活動に学生を派遣する。現地の社会福祉協議会などと連携し、連携拠点(宮古市、大船渡市、遠野市)でのボランティア活動を取り組む。「後方支援スタッフ」として位置づけ、月1~2便の計画でボランティアバスを運行する。
- ③学生・教職員の主体的な復興支援活動への支援 連携拠点(大船渡市、遠野市、宮古市)を中心にした、復興支援活動への企画・提案を募集し、支援を 行う。
- ④現地での連携拠点の形成

現地との関係を培い、連携協定の締結や連携拠点での復興支援に取り組む。4月には、大船渡市と災害復興に向けた連携協力に関する協定を締結し、継続的な支援協力関係を一層具体化することとなっている。

⑤広報活動の推進

立命館災害復興支援室瓦版の発行、ホームページの充実、Facebookでの情報発信を推進する。自治体 や他大学の活動状況や現地での支援ニーズの把握に努め、学園内での復興支援の取り組みを支える。

⑥教育プログラムの充実

土曜講座で「復興支援」をテーマにした連続講座を実施する。附属校・連携校での震災復興をテーマに した講座・講演会などを連携して取り組む。未来プロジェクトやフォーラムなどの開催を計画する。



4. 初年度の活動を終えて~事務局による総括

本報告書は、立命館災害復興支援室の1年目の活動記録です。小学校から大学までを包括する学園本部に設置された災害復興支援室としてとりまとめるにあたって、可能な限りの網羅性を担保するよう努めましたが、広範にわたる活動の詳細を一つの綴りにとりまとめるにはいくつかの制約も伴うものとなりました。そこで、本編とは別に、資料編をまとめ、本編と関連する資料については、適宜、資料編の番号を記すことにいたしました。資料編は本編とあわせて災害復興支援室のホームページにて公開しているので、参照いただきますよう、お願い申しあげます。

本報告書の冒頭に記された総長の言葉にも記されたとおり、今次の大震災は、現在を見つめ、未来を創造していく総合学園に「根源的」な問いを突きつけるものでした。そして、発災当初は日々明らかになる状況に、また時間の経過の中では複雑に絡み合う問題の解決の困難さに、遠隔地から忸怩たる思いを抱くことも少なくありませんでした。しかし、物理的な距離がありながらも、精神的な距離まで遠くすることはない、との思いから、多様な担い手がそれぞれの立場から動き、結果として本報告書に収められる活動が展開されることとなりました。ここで確認しておきたいのは、こうした活動が積極的に推進される背景として、現地への、あるいは現地での直接的な支援活動のために、間接的な支援として各方面からの多額の寄付を頂戴したということです。ここに各位の篤志に対して敬意と謝意を表したく存じます。

なお、1年間の活動をとりまとめる中で、当面の課題も明らかとなってきました。例えば、長きにわたる復興にあたっては、本学園の各部署が、通常業務の中にいかにして復興支援の視点を埋め込むことができるか、という課題があります。また、本年度に行った「研究支援」や「私たちの提案」など、学園内に広く募集したプログラムを継続して展開するにあたっては、学園全般から、さらなる関心を駆り立てていくことが必要です。また「後方支援プログラム」など、現地への関心を駆り立てるいくつかの取り組みを行った後には、その関心の芽を育て、そして現地へと伸ばしていくフォローアップを通じて、自主的、自発的、積極的、先駆的な取り組みを促していくことも大切となってくるでしょう。

この後、災害復興支援室長のあいさつにも触れられているとおり、災害復興支援室は今後も「私たちにできること」を適切に見つめ、ささやかでも長きにわたる活動をして参る所存です。現地を定点で見つめていくと「未だに」という部分と「既に」という部分、そして「やっと」という部分に気づかされ、大規模・広域・複合型の災害であった東日本大震災の爪跡の深さをまじまじと感じさせられるところです。同時に、南海・東南海・東海地震など、さらなる災害への警鐘が一層鳴らされる中では、今次の大震災を「他人事」にせず「自分事」ひいては「自分たち事」として向き合っていく倫理観や責任感が求められるでしょう。当面、2015年を目途として、学園として災害復興支援に取り組んでいく初年度を終えた「はじまりの終わり」に立っていることを確認し、今後、さらに多様化していく現地のニーズに対し、学園としての多彩なシーズのすりあわせに努める決意をここに記し、編集にあたってのまとめの言葉とさせていただきます。



おわりに~災害復興支援室長挨拶

2011年3月11日の東日本大震災以降、立命館は教育研究機関としてなにができるか、なにをしなければならないかを念頭におき取り組んでまいりました。主な取組は、①災害復興支援基金(復興+R基金)の設置、被災学生への経済支援 ②東日本大震災に関する研究推進プログラム ③教職員の復興支援活動を支援するためのプログラム「私たちの提案」 ④後方支援スタッフ派遣(ボランティアバスの運行)です。幸いにこの一年間、みなさまのご支援ご協力をえることができ、学園全体の多様な活動を展開することができました。

ここに、ささやかではありますが、この一年間の災害復興支援室の取り組みをまとめました。

学園として多様な取組をしているとはいえ、被災地の瓦礫の山のように、しなければならないことはまだまだ山積しており、わたしどもができることはそのほんの一部にしかすぎないという思いを強くしております。被災学生への支援は学生の修了年限までを予定しておりますし、ボランティア活動の内容は刻々と変化するにしてもその必要性はまだまだ続きます。

私たちは、中長期の復興支援の取り組みを視野に入れ、復興支援活動を学園の基本計画R2020に反映するとともに、第2年目の災害復興支援の活動計画を具体化しつつあります。

この私たちの取り組みに心を寄せていただく学園内外のみなさまとともに、被災された方々とその 復興の営みに寄り添いながら、同時に未来を担う児童・生徒・学生の学びと成長にも添った支援に尽 力する所存です。

> 立命館 副理事長 立命館災害復興支援室長 服部 健二



							宝施堤所等 (空欄全學対
	施日			実施内容		取り組み主体等	実施場所等(空欄全学対 応)
2012 年 3	-			東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室 拡大事務局会議 原子力と生存学研究会・特別企画「震災・大学・放射能〜福島大学教員をお招きして」ワークショップ開	学校法人立命館	災害復興支援室 人間科学研究所	
2012 年 3	月	29	日	催	立命館大学	生存学研究センター	京都市(衣笠)
2012 年 3	月	27	日	クールジャパンを活用した日本ブランド復興キャンペーン 日本とアジア・オセアニアの大学連携による 風評被害対策シンポジウム『KOREA NEXT,JAPAN NEST - 新しい東アジア世界の創造における日本と韓国の若 者の役割 - 別 開催	立命館大学	延世大学 在ソウル日本大使館	韓国・ソウル 延世大学 新村キャンパス
2012 年 3	月	22-27	_	災害復興支援室 後方支援スタッフの派遣 「春期便」第6便	学校法人立命館	災害復興支援室	岩手県宮古市
2012 年 3	-	23		学生12名、職員3名が参加 災害復興支援室瓦版(第6号)を発行	学校法人立命館	災害復興支援室	
2012 年 3	-		日	<教職員による私たちの提案>社会システム研究所主催シンポジウム「東日本大震災からの復興とまちづ	立命館大学	社会システム研究所	滋賀県草津市(BKC)
2012 年 3	月	16	日	くりー陸前高田の現状を踏まえ、何ができるか、必要かー」 第30回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室 定例会議	学校法人立命館	災害復興支援室	
2012 年 3	\neg	13-15	_	<教職員による私たちの提案>立命館大学政策科学部 学生・院生と教員、計13名が宮城県多賀城市を訪	立命館大学	政策科学部	滋賀県草津市(BKC)
2012 年 3	В			問し、調査・支援活動を実施 立命館中学・高等学校 震災復興支援プロジェクト企画「Warm Heart~3.11から1年 今、私たちにできるこ	立命館中学校・		京都市(深草)
	月			と〜」講演会と応援メッセージを届ける集会の開催 災害復興支援室瓦版(第5号)を発行	高等学校 学校法人立命館	災害復興支援室	Sympth (North)
2012 年 3	_			国際地域研究所・東京大学産学連携プロジェクト「21世紀の日本の進路を考える会」合同ワークショップ	立命館大学	国際地域研究所	京都市(衣笠)
2012 年 3	+		_	『災後社会の長期的条件:資本主義システムの変容と日本』開催 第29回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議	学校法人立命館	災害復興支援室	William (ACTT)
2012 年 3 月	_			第28回 東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室 定例会議	学校法人立命館	災害復興支援室	
2012 年 3	\neg	1-6	日	災害復興支援室 後方支援スタッフの派遣 「春期便」第5便	学校法人立命館	災害復興支援室	岩手県宮古市
2012 年 3	+			学生13名、職員2名が参加 放射線測定器設置(立命館大学朱雀キャンパス南側守衛室内) 慶應義整大学地均環境スキャンニングプロジェクトの協力による放射線測定開始	学校法人立命館	災害復興支援室	京都市(朱雀)
	+	•		慶應義塾大学地球環境スキャンニングプロジェクトの協力による放射線測定開始 <教職員による私たちの提案>長野正道 立命館大学生命科学部教授「陸前高田市広田半島を題材にした			
2012 年 3	-		日	防災教材」を作成(HPで公開)	立命館大学	生命科学部長野正道教授	滋賀県草津市 (BKC)
2012 年 2	-			放射線教育に関する懇談(理工学部藪教授、立命館高校教員5名、災害復興支援室3名) AFRA(朝日新聞出版)「未来へのおくりもの」取組み掲載(15)	学校法人立命館	災害復興支援室	京都市(朱雀)
2012 年 2	月	27	日	AERA (朝日新聞出版) 「未来へのおくりもの」取組み掲載 (15) 宗本晋作 立命館大学理工学部准教授 [簡易集会所の建設プロジェクト」	学校法人立命館	広報課	
2012 年 2	月	26		<教職員による私たちの提案>連続ワークショップ【減災社会のための地域デザイン】 トークセッション「大学と災害とボランティアセンター」 開催	立命館大学	サービスラーニングセンター /草津未来研究所	滋賀県草津市(BKC)
2012 年 2	月	25	日	<教職員による私たちの提案>連続ワークショップ【減災社会のための地域デザイン】 特別シンボジウム 開催	立命館大学	サービスラーニングセンター /草津未来研究所	滋賀県草津市 (BKC)
2012 年 2	月	24		第27回 東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室 定例会議	学校法人立命館	災害復興支援室	
2012 年 2	-		-	応用人間科学研究科 「特別支援教育の再生と創造に向けて」の開催	立命館大学	応用人間科学研究科	宮城県仙台市
2012 年 2	月	20	日	AERA(朝日新聞出版)「未来へのおくりもの」取組み掲載(14)村本邦子 立命館大学大学院応用人間科 学研究科教授「大震災が残したトラウマ(心的外傷)に寄り添う『対人援助学』」	学校法人立命館	広報課	
2012 年 2	月	20		ボランティア派遣に関わる総務部との懇談(総務部3名、災害復興支援室3名)	学校法人立命館	災害復興支援室	京都市(朱雀)
2012 年 2	月 1	19-24	日	災害復興支援室 後方支援スタッフの派遣 「春期便」第4便 学生12名、職員2名が参加 <教職員による私たちの提案>連続ワークショップ【減災社会のための地域デザイン】 第3回「防災訓	学校法人立命館	災害復興支援室	岩手県宮古市
2012 年 2	月	18	日	<教職員による私たちの提案>連続ワークショップ【減災社会のための地域デザイン】 第3回「防災訓練を「+arts」で再発明する」 開催	立命館大学	サービスラーニングセンター /草津未来研究所	滋賀県草津市 (BKC)
2012 年 2	-			第26回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議	学校法人立命館	災害復興支援室	
2012 年 2	-			災害復興支援室瓦版(第4号)を発行	学校法人立命館	災害復興支援室 映像学部/山形国際ドキュメンタリー映画祭	±#= (+*)
2012 年 2	+	5 · 16 3 · 14	-	映像学部共催 「東日本大震災復興支援上映プロジェクトin京都」 開催	立命館大学	/京都造形芸術大学 映像学部/山形国際ドキュメンタリー映画祭	京都市(衣笠)
	-		-	映像学部共催 「東日本大震災復興支援上映プロジェクトin京都」 開催 AERA(朝日新聞出版)「未来へのおくりもの」取組み掲載(13) 谷口仁士 立命館グローバル・イノ		/京都造形芸術大学	水柳門水柳門
2012 年 2	+		日	ベーション研究機構教授「自然災害の予防と復興に寄与する『リスク経済工学』」 立命館未来プロジェクト第7回フォーラム「東日本大震災後の科学と技術-人間のための総合科学の構築	学校法人立命館	広報課	
2012 年 2	月	13		をめざして-」開催	学校法人立命館	災害復興支援室	滋賀県草津市(BKC)
2012 年 2	月	12	日	政策科学部・政策科学研究科主催シンポジウム "地域分散型被災者支援を考える〜南租馬市・桜井勝延市 長、飯田市・蛟野光郎市長を迎えて〜、開催 ※南相馬市・桜井勝延市長が体調不良のため欠席となり、 代理として南租馬市・村田樂副市長が出席	立命館大学	政策科学部・政策科学研究科	京都市(朱雀)
2012 年 2	月 1:	2 · 13	日	「文部科学省 復興教育支援事業』スポーツ健康科学部の取り組み 教員4名、院生2名、学生4名、職員2 名 岩手泉大船渡市立第一中学校、大船渡中学校訪問(簡易体力測定および教員へのトレーニングレク チャー等の実施)	立命館大学	スポーツ健康科学部	岩手県大船渡市
2012 年 2	月	11	日	<教職員による私たちの提案> 連続ワークショップ【減災社会のための地域デザイン】 第2回「人が つながるしくみを考える」 開催	立命館大学	サービスラーニングセンター /草津未来研究所	滋賀県草津市
2012 年 2	月	10		第25回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議	学校法人立命館	災害復興支援室	
2012 年 2	月	6		AERA(朝日新聞出版)「未来へのおくりもの」取組み掲載(12) 小川均 情報理工学部教授 「人工知能の『エージェント』が、災害などの危機から人間を救う!」	学校法人立命館	広報課	
2012 年 2	月	5-10	日	災害復興支援室 後方支援スタッフの派遣 「春期便」第3便 学生15名、職員2名が参加 <教職員による私たちの提案> 連続ワークショップ【滅災社会のための地域デザイン】 第1回「ネッ	学校法人立命館	災害復興支援室	岩手県遠野市
2012 年 2	月	4	日	<教職員による私たちの提案> 連続ワークショップ【減災社会のための地域デザイン】 第1回「ネットを活かし場を設計する」 開催	立命館大学	サービスラーニングセンター /草津未来研究所	滋賀県草津市(BKC)
2012 年 2	月	3	日	応用人間科学研究科 「震災復興支援プロジェクト第2回報告会」の開催	立命館大学	応用人間科学研究科	京都市(衣笠)
2012 年 2	月	1	日	産業社会学会東日本大震災連続フォーラム第一弾 『震災から何を学ぶか-3.11から見えた日本社会-』開 催	立命館大学	産業社会学会	京都市 (衣笠)
2012 年 1	月	31		文部科学省 復興教育支援事業にスポーツ健康科学部の取り組みが採択	立命館大学	スポーツ健康科学部	
2012 年 1	月	30		AERA(朝日新聞出版)「未来へのおくりもの」取組み掲載(11) 吉岡修哉 理工学部准教授 「汚れた水を速攻で浄化する切り札、『マイクロバブル(微細気泡)』」	学校法人立命館	広報課	
2012 年 1	_		_	第24回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議	学校法人立命館	災害復興支援室	
2012 年 1	-		_	災害復興支援室瓦版(第3号)を発行	学校法人立命館 立命館宇治中学	災害復興支援室	ちゅう クガルー
2012 年 1 2012 年 1			_	<教職員による私たちの提案> 立命館宇治中高生25名 宮城県多賀城市仮設住宅訪問 立命館未来プロジェクト懇談会開催	立命館宇治中学 校・高等学校 学校法人立命館	災害復興支援室	宮城県多賀城市 滋賀県草津市(BKC)
	-		日	<教職員による私たちの提案>「東日本・家族応援プロジェクトin二本松」の開催	立命館大学	応用人間科学研究科	福島県二本松市
2012 年 1	$\overline{}$			AERA(朝日新聞出版)「未来へのおくりもの」取組み掲載(10) 土屋貴裕 理工学部助教授「放射線量の高いホットスポット形成の解明に『確率論』を用いて挑む」	学校法人立命館	広報課	
2012 年 1	-			の高いボットスボット形成の解明に『傩半論』を用いて挑む」 第23回 東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室 定例会議	学校法人立命館	災害復興支援室	
2012 年 1	\neg			AERA (朝日新聞出版) 「未来へのおくりもの」取組み掲載 (9) 中谷友樹 文学部准教授「災害や犯罪危険度、健康格差などが一目瞭然で分かる『リスクマップ』」	学校法人立命館	広報課	
2012 年 1	+			<u> </u>	学校法人立命館	災害復興支援室	
	月			第22回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議	学校法人立命館	災害復興支援室	
2012 年 1	月	9	日	<教職員による私たちの提案> 宮古・重茂地区における仮設集会所の建設プロジェクト-ODENSE- 竣 工式&音楽ライブ開催	立命館大学	理工学部宗本晋作准教授	岩手県宮古市
2012 年 1	月	7	日	AERA (朝日新聞出版) 「未来へのおくりもの」取組み掲載(8) 神子直之 理工学部教授「より安全で	学校法人立命館	広報課	
2011 年 12	+	8~1/2	-	清潔な社会を実現する『紫外線』の効用」 遠野拠点後方支援プロジェクト 災害復興支援室後方支援スタッフの派遣 第2便「年末年始」便	学校法人立命館	災害復興支援室	岩手県遠野市
	+		н	学生13名、職員2名が参加 AERA(朝日新聞出版)「未来へのおくりもの」取組み掲載(7) 川角龍典 文学部准教授「津波被害お			201 3 NOWEST 113
2011 年 12 /	+		н	よびその復旧・復興過程に関する災害考古学的研究」 <教職員による私たちの提案> 立命館守山高3年生有志40名 宮城県南三陸町仮設住宅訪問・ボラン	学校法人立命館 立命館守山中学	広報課	宮城県南三陸町
2011 年 12 /	-		_	ティア活動実施 日本学生支援機構主催「防災と学生ボランティア支援セミナー」に教員1名、学生1名がパネリスト参加	校·高等学校 学校法人立命館	災害復興支援室	東京都千代田区
2011 年 12 /	\neg		_	遠野拠点後方支援プロジェクト 災害復興支援室後方支援スタッフの派遣 第1便「クリスマス」便	学校法人立命館	災害復興支援室	岩手県遠野市
	+	21-27	-	学生5名、職員等2名が参加			
2011 年 12 月				遠野市後方支援連絡調整会議 (第11回) 出席 職員1名 AERA (朝日新聞出版) 「未来へのおくりもの」取組み掲載(6) 福田青郎助教「放射性物質・ヘドロ等	学校法人立命館 学校法人立命館	災害復興支援室 広報課	岩手県遠野市
	+		н	環境汚染物質の微生物による除去」 大学間連携災害ボランティアネットワーク主催シンポジウム「東日本大震災と学生ボランティアの役割ー			
2011 年 12)	\rightarrow		日 -	大学間連携による取り組みとその課題-」に職員1名が参加	学校法人立命館	災害復興支援室	宮城県仙台市
2011 年 12	-			立命館未来プロジェクト第6回フォーラム「東日本大震災を受けて、環境・食料を考える」開催 第21回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議	学校法人立命館	災害復興支援室	滋賀県草津市 (BKC)
2011 年		16			学校法人立命館	災害復興支援室	
2011 年 12 /	_	12	В	AERA(朝日新聞出版)「未来へのおくりもの」取組み掲載(5) 平岡和久 政策科学部教授「地域分散型震災被災者支援システム構築に関する研究」	学校法人立命館	広報課	



2011 年 12 月	12	日	スポーツ健康科学部の岩手県大船渡市立第一中学校・大船渡中学校のヒアリング	学校法人立命館	災害復興支援室	岩手県大船渡市
2011 年 12 月	9	日	災害復興支援室瓦版(第1号)を発行	学校法人立命館	災害復興支援室	
2011 年 12 月	9	日	第20回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室 定例会議	学校法人立命館	災害復興支援室	
2011 年 12 月	7		遠野市後方支援連絡調整会議(第10回)出席 職員1名	学校法人立命館	災害復興支援室	岩手県遠野市
2011 年 12 月	5	日	AERA(朝日新聞出版)「未来へのおくりもの」取組み掲載(4) 森裕之 政策科学部教授「震災による倒壊建築物・瓦礫等によるアスベスト災害防止の政策研究」	学校法人立命館	広報課	
2011 年 12 月	4	日	プロ野球選手会「ベースボールキャラバンin岩手」へのボランティア・職員派遣	学校法人立命館	広報課	岩手県陸前高田市 岩手県大船渡市
2011 年 12 月	4	日	プロ野球選手会「ベースボールクリスマスin福島」へのボランティア・職員派遣	学校法人立命館		福島県福島市
2011 年 12 月	2	日	立命館未来プロジェクト第5回フォーラム「日本経済が直面する課題に大震災と原発事故が与えた影響」 開催	学校法人立命館	災害復興支援室	京都府京都市
2011 年 12 月	2	日	四准 第19回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室 定例会議	学校法人立命館	災害復興支援室	
2011 年 12 月	2	В	<教職員による私たちの提案> 学術公開シンポジウム「3.11後の東北地域と日本の再生ーグローバル化」	立命館大学	社会システム研究所	滋賀県草津市 (BKC)
			の新段階における地域社会システム再構築-」の開催(社会システム研究所)			
2011 年 11 月	26 29~	日	< 教職員による私たちの提案> 宮古・重茂地区における仮設団地集会所 竣工	立命館大学	理工学部 宗本晋作准教授	岩手県宮古市
2011 年 11 月	12/4	日	<教職員による私たちの提案> 「東日本・家族応援プロジェクトinふくしま2011」の開催 AERA (朝日新聞出版) 「未来へのおくりもの」取組み掲載(3) 伊津野和行 理工学部教授「地域の交	立命館大学	応用人間科学研究科	福島県福島市
2011 年 11 月	28	日	通を支える橋の流出防止対策に関する研究」	学校法人立命館	広報課	
2011 年 11 月	25	_	災害復興支援室瓦版(準備号)を発行	学校法人立命館	災害復興支援室	
2011 年 11 月	25	日	東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室拡大事務局会議	学校法人立命館	災害復興支援室	
2011 年 11 月	24	日	<教職員による私たちの提案> オープンリサーチセミナー「被災地復興と官民学協働〜仙台市・多賀城 市を例に〜」の開催	立命館大学	政策科学部	京都市 (衣笠)
2011 年 11 月	23	日	岩手県校友会 「沿岸地区校友会」(陸前高田市鳴石)開催 災害復興支援室、校友・父母課より職員各 1名出席。	学校法人立命館	災害復興支援室	岩手県陸前高田市
2011 年 11 月	22	В	境野市後方支援連絡調整会議(第9回)出席 職員1名	学校法人立命館	災害復興支援室	岩手県遠野市
2011 年 11 月	21	В	AERA (朝日新聞出版) 「未来へのおくりもの」取組み掲載(2) 仲谷善雄 情報理工学部教授 被災者の	学校法人立命館	広報課	
		_	心を支える、「思い出工学」			and the state of the state of
2011 年 11 月	21 19	日日	本の時代表別による私たちの提案> 宮古・重茂地区における仮設団地集会所 棟上	学校法人立命館 立命館大学	災害復興支援室 理工学部 宗本晋作准教授	BKC·衣笠·朱雀 岩手県宮古市
2011 年 11 月	18		被災学生支援金支援学生への振込を開始	学校法人立命館	災害復興支援室	石丁禾百口巾
2011年11月	18	_	第18回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議	学校法人立命館	災害復興支援室	
2011 年 11 月	14		AFRA (朝日新聞出版) 「未来へのおくりもの」取組み掲載(1) 東日本大震災に関わる研究推進プロ	学校法人立命館	広報課	
		н	ジェクト:西浦敬信 情報理工学部准教授―騒音を快音に変える、「サウンド・マジック」			
2011年11月	13	_	東日本大震災復興支援シンポジウムー対人援助者がコミュニティに入るとき一開催 大会館大学大学大力ンパス学園祭「FDOM 3.11 o de volations bino 、「おいるよう道の即南北、実施	立命館大学	応用人間科学研究科	京都府京都市
2011 年 11 月	12-13		立命館大学衣笠キャンパス学園祭「FROM 3.11~to relationship~」「おいでよ!道の駅東北」実施	立命館大学	311+Rnet	京都府京都市
2011 年 11 月 2011 年 11 月	11 9	_	第17回 東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室 定例会議 遠野市後方支援連絡調整会議(第8回)出席 職員1名	学校法人立命館 学校法人立命館	災害復興支援室 災害復興支援室	岩手県遠野市
2011 年 11 月	7	В		学校法人立命館	災害復興支援室	岩手県陸前高田市 岩手県大船渡市
2011 年 11 月	7		プロ野球選手会と災害復興支援室による岩手県沿岸被災地の視察 職員2名 立命館大学、APUで「被災学生支援金(第2次募集)」を開始(出願〆切12/9)	学校法人立命館	災害復興支援室	岩手県大船渡市
			本部部八子、Aro C			U-7-0489-
2011 年 11 月	6	日	陰の物語の物語 開催	立命館大学	応用人間科学研究科	岩手県遠野市
2011 年 11 月	6	日	<教職員による私たちの提案> 「東日本・家族応援プロジェクトin遠野2011」支援者支援セミナー 開催	立命館大学	応用人間科学研究科	岩手県遠野市
2011 年 11 月	5	日	<教職員による私たちの提案> 「東日本・家族応援プロジェクトin遠野2011」遊びのワークショップ 開催	立命館大学	応用人間科学研究科	岩手県遠野市
2011 年 11 月	4	В	四世 第16回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議	学校法人立命館	災害復興支援室	
2011 年 11 月	4		神戸大学塩崎賢明教授が来訪し、川口総長、飯田副総長と懇談	学校法人立命館		
					災害復興支援室	
2011 年 11 月	4	_	大学関西フォーラム「巨大災害ー大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演	学校法人立命館	災害復興支援室	大阪府大阪市
2011 年 11 月 2011 年 11 月	<u> </u>	日				大阪府大阪市 岩手県遠野市
	4	日	大学関西フォーラム「巨大災害-大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演	学校法人立命館 学校法人立命館 読売新聞社/	災害復興支援室	
2011 年 11 月 2011 年 11 月	4	日日日	大学関西フォーラム「巨大災害-大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 遠野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出 演	学校法人立命館 学校法人立命館 読売新聞社/ 学校法人立命館	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室	岩手県遠野市 大阪市北区
2011 年 11 月 2011 年 11 月 2011 年 11 月	4 4	ппппп	大学関西フォーラム「巨大災害-大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 遠野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出 演 東日本大震災写真展-つながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が岩手県遠野市にて「被災地復興」家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興	学校法人立命館 学校法人立命館 読売新聞社/	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 国際協力資料センター	岩手県遠野市
2011 年 11 月 2011 年 11 月 2011 年 11 月 2011 年 11 月	4 4 4 1-30 1-6	田田田田田	大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 遠野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出 演 東日本大震災写真展 - つながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が岩手県遠野市にて「被災地復興 家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興 支援室として開催向けた支援を実施。	学校法人立命館 学校法人立命館 読売新聞社/ 学校法人立命館 立命館大学 立命館大学	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 国際協力資料センター 応用人間科学研究科 立命館未来プロジェクト	岩手県遠野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県遠野市 京都市(衣笠)
2011 年 11 月 2011 年 11 月 2011 年 11 月 2011 年 11 月 2011 年 10 月	4 4 4 1-30 1-6 31		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 選野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出 演 東日本大震災写真展 - つながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が等手飛遇野市にて「被災地復興」家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興 支援室として開催向けた支援を実施。 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かす」を開催	学校法人立命館 学校法人立命館 読売新聞社/ 学校法人立命館 立命館大学 立命館大学 立命館大学	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 国際協力資料センター 応用人類科学研究科 立命競来まプロジェクト / 災害復興支援室	岩手県遠野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県遠野市 京都市(衣笠) /滋賀県草津市(BKC)
2011 年 11 月 2011 年 11 月 2011 年 11 月 2011 年 11 月 2011 年 10 月	4 4 4 1-30 1-6 31 29		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 選野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出 渡 東日本大震災写真展 - つながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が苦手県選野市にて「被災地復興 家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興 支援室として開催向けた支援を実施。 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かす」を開催 オール立命館校友大会in京都に、災害復興支援室が京都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介	学校法人立命館 学校法人立命館 游売新開社/ 学校法人立命館 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 国際協力資料センター 応用人間科学研究科 立命館未来アロジェクト ・ グス律復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室	岩手県遠野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県遠野市 京都市(衣笠) /滋賀県卓津市(BKC) 京都駅前
2011 年 11 月 2011 年 11 月 2011 年 11 月 2011 年 11 月 2011 年 10 月 2011 年 10 月	4 4 4 1-30 1-6 31 29 28		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 選野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム 「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出 演 東日本大震災写真展 - つながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が結手県適野市にて「被災地復興」家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興 支援室として開催向けた支援を実施。 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かす」を開催 オール立命館校友大会。京都に、災害復興支援室が京都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 立命館未来プロジェクト・第2回フォーラム「近代の終焉という歴史認識から見た大震災と原発事故の意 義を問う」を開催	学校法人立命館 学校法人立命館 游売新開社/ 学校法人立命館 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 国際協力資料センター 応用人間科学研究科 立命館未来プロジェクト 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 対害復興支援室 対害復興支援室	岩手県遠野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県遠野市 京都市(衣笠) /滋賀県草津市(BKC)
2011 年 11 月 2011 年 11 月 2011 年 11 月 2011 年 11 月 2011 年 10 月 2011 年 10 月 2011 年 10 月	4 4 4 1-30 1-6 31 29 28		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 選野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出 渡 東日本大震災写真展 - つながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が若手県選野市にて「被災地復興 家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興 支援室として開催向けた支援を実施。 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かず」を開催 オール立命館校友大会in京都に、災害復興支援室が京都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 立命館未来プロジェクト・第2回フォーラム「近代の終焉という歴史認識から見た大震災と原発事故の意 策15回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議	学校法人立命館 学校法人立命館 游売新開社/ 学校法人立命館 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 国際協力資料センター 応用人際科学研究科 立命館未来アロジェクト /火苦復興支援室 災害復興支援室/交友・父母課 立命館未来アロジェクト/国際地域研究所/ 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室	岩手県遠野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県遠野市 京都市(水党) 滋賀県東津市(BKC) 京都駅前 京都市(水党)
2011 年 11 月 2011 年 11 月 2011 年 11 月 2011 年 11 月 2011 年 10 月	4 4 4 1-30 1-6 31 29 28 28		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 選野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出 渡 東日本大震災写真展ーつながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が苦手県選野市にて「被災地復興 家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興 支援室として開催向けた支援を実施。 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かす」を開催 オール立命館校友大会in京都に、災害復興支援室が京都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 立命館未来プロジェクト・第2回フォーラム「近代の終焉という歴史認識から見た大震災と原発事故の意 第15回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 災害復興支援室が岩手県選野市に訪問、沿岸被災地後方支援連携会議に職員2名が参加。	学校法人立命館 学校法人立命館 法先新開社/学校法人立命館 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 国際協力資料センター 応用人間科学研究科 立命館未来プロジェクト 火害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室	岩手県邀野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県邀野市 京都市(次空) 滋賀県東洋市(BKQ) 京都駅(南京都市(大空) 岩手県邀野市
2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 10 月	4 4 4 1-30 1-6 31 29 28 28 26 26		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 選野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出 渡 東日本大震災写真展 – つながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が営手県選野市にて「被災地復興 家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興 支援室として開催向けた支援を実施。 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かす」を開催 オール立命館校友大会in京都に、災害復興支援室が京都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 立命館未来プロジェクト・第2回フォーラム「近代の終焉という歴史認識から見た大震災と原発事故の意 策15回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 災害復興支援室が岩手県逸野市に訪問、沿岸被災地後方支援連携会議に職員2名が参加。 災害復興支援室が岩手県必要と認識	学校法人立命館 学校法人立命館 法先新開社/学校法人立命館 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 国際協力資料センター 応用人間科学研究科 立命館未来プロジェクト 災害復興支援室	岩手県邀野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県邀野市 京都市(水党) 選興等率市(8KQ) 京都駅前 京都市(次党) 岩手県邀野市 岩手県邀野市 岩手県邀野市
2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 10 月	4 4 4 1-30 1-6 31 29 28 28 26 26 25		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 選野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出 渡 東日本大震災写真展ーつながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が苦手県選野市にて「被災地復興 家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興 支援室として開催向けた支援を実施。 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かす」を開催 オール立命館校友大会in京都に、災害復興支援室が京都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 立命館未来プロジェクト・第2回フォーラム「近代の終焉という歴史認識から見た大震災と原発事故の意 第15回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 災害復興支援室が岩手県選野市に訪問、沿岸被災地後方支援連携会議に職員2名が参加。	学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 国際協力資料センター 応用人間科学研究科 立命館未来プロジェクト 火苦復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室	岩手県邀野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県邀野市 京都市(大党) 選興軍率市(BKC) 京都歌前 京都市(次党) 岩手県邀野市 岩手県邀野市 岩手県盛岡市 京都市(次党)
2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 10 月	4 4 4 1-30 1-6 31 29 28 28 26 26 25 24		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 選野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出 渡 東日本大震災写真展 – つながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が営手県選野市にて「被災地復興 家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興 支援室として開催向けた支援を実施。 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かす」を開催 オール立命館校友大会in京都に、災害復興支援室が京都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 立命館未来プロジェクト・第2回フォーラム「近代の終焉という歴史認識から見た大震災と原発事故の意 第15回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 災害復興支援室が岩手県連野市に訪問、沿岸被災地後方支援連携会議に職員2名が参加。 災害復興支援室が岩手県校友と懇談 岡本行夫客員教授連続講演会「大震災後の日本が直面する5つの危機」開催 スポーツ健康科学部教員と災害復興支援室が岩手県大船渡市赤崎中学校を訪問、部活動への支援につき視 寮と意見交換。	学校法人立命館 学校法人立命館 选等编码社, 学校法人立命的 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 立命館大学	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 国際協力資料センター 応用人間科学研究科 立命館未来プロジェクト 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 炎害復興支援室 、次害復興支援室 、次害復興支援室 、次害復興支援室 、次害復興支援室	岩手県遠野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県遠野市 京都市(水笠) 海関県享津市(8KC) 京都駅前 京都市(水笠) 岩手県遠野市 岩手県遠野市 岩手県遠野市 岩手県遠野市 岩手県城岡市 京都市(水笠)
2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 10 月	4 4 4 1-30 1-6 31 29 28 26 26 25 24		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 選野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム 「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出 境 東日本大震災写真展 - つながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が塔手県選野市にて「被災地復興 家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興 支援室として開催向いた支援を実施。 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かす」を開催 オール立命館校友大会心京都に、災害復興支援室が京都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「近代の終焉という歴史認識から見た大震災と原発事故の意 養を問う」を開催 新15回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室を開会議 第15回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室を開会議に職員2名が参加。 災害復興支援室が岩手県改友と懇談 岡本行夫客員教授連続講演会「大震災後の日本が直面する5つの危機」開催 スポーツ健康科学部教員と災害復興支援室が岩手県大船波市赤崎中学校を訪問、部活動への支援につき視 窓と島見交換。 富城県校友総会に、総長とともにスポーツ健康科学部教員2名、災害復興支援室2名が出席	学校法人立命館 学校法人立命館 选炼编阅社, 学校法人立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 文章館大学	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 国際協力資料センター 応用人間科学研究科 立の館末来プロジェクト 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 炙有開発推進機構 スポーツ健康科学部、災害復興支援室 寄城県校友会/災害復興支援室 紫端県校友会/災害復興支援室	岩手県進野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県進野市 京都市(水空) 選買用草本市(8KC) 京都歌前 京都市(次空) 岩手県進野市 岩手県盛岡市 京都市(次空) 岩手県成岡市
2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 10 月	4 4 4 1-30 1-6 31 29 28 28 26 26 25 24		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 選野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出 渡 東日本大震災写真展 – つながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が営手県選野市にて「被災地復興 家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興 支援室として開催向けた支援を実施。 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かす」を開催 オール立命館校友大会in京都に、災害復興支援室が京都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 立命館未来プロジェクト・第2回フォーラム「近代の終焉という歴史認識から見た大震災と原発事故の意 第15回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 災害復興支援室が岩手県連野市に訪問、沿岸被災地後方支援連携会議に職員2名が参加。 災害復興支援室が岩手県校友と懇談 岡本行夫客員教授連続講演会「大震災後の日本が直面する5つの危機」開催 スポーツ健康科学部教員と災害復興支援室が岩手県大船渡市赤崎中学校を訪問、部活動への支援につき視 寮と意見交換。	学校法人立命館 学校法人立命館 选等编码社, 学校法人立命的 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 立命館大学	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 国際協力資料センター 応用人間科学研究科 立命館未来プロジェクト 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 炎害復興支援室 、次害復興支援室 、次害復興支援室 、次害復興支援室 、次害復興支援室	岩手県進野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県進野市 京都市(水党) 選興等率市(8KQ) 京都新的 京都市(次党) 岩手県連野市 岩手県連野市 岩手県連岡市 京都市(次党)
2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 10 月	4 4 4 1-30 1-6 31 29 28 26 26 25 24		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 選野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出 演 東日本大震災写真展 一つながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が苦手県選野市にて「被災地復興 家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興支援室と関係値向け支援を実施。 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かず」を開催 オール立命館校友大会in京都に、災害復興支援室が京都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 立命館未来プロジェクト・第2回フォーラム「近代の終焉という歴史認識から見た大震災と原発事故の意 禁を問う」を開催 第15回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 災害復興支援室が岩手県及野市に訪問、沿岸被災地後方支援連携会議に職員2名が参加。 災害復興支援室が岩手県及安と懇談 スポーツ健康科学部教員と災害復興支援室が岩手県入船渡市赤崎中学校を訪問、部活動への支援につき視察と意見交換。 スポーツ健康科学部教員と災害復興支援室2名が出席 和歌山県新宮市無野川エリアへポランティアバス第2便を運行。学生15名、職員2名を派遣。和歌山大学学	学校法人立命館 学校法人立命館 选炼编阅社, 学校法人立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 文章館大学	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 国際協力資料センター 応用人間科学研究科 立の館末来プロジェクト 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 炙有開発推進機構 スポーツ健康科学部、災害復興支援室 寄城県校友会/災害復興支援室 紫端県校友会/災害復興支援室	岩手県進野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県進野市 京都市(水空) 選買用草本市(8KC) 京都歌前 京都市(次空) 岩手県進野市 岩手県盛岡市 京都市(次空) 岩手県成岡市
2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 10 月	4 4 4 1-30 1-6 31 29 28 26 26 25 24 23 22-23		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 選野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出 東日本大震災写真展 - つながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が皆手県遇野市にて「被災地復興 家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興 支援室として開催向けた支援を実施。 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かす」を開催 オール立命館校友大会加京都に、災害復興支援室が京都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 立命館未来プロジェクト・第2回フォーラム「近代の終焉という歴史認識から見た大震災と原発事故の意 養を問う」を開催 第15回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室と例会議 災害復興支援室が岩手県及数と問題、沿岸被災地後方支援連携会議に職員2名が参加。 災害復興支援室が岩手県及数と問診 岡本行夫客員教授連続講演会「大震災後の日本が値面する5つの危機」開催 スポーツ健康科学部教員と災害復興支援室が岩手県大船渡市赤崎中学校を訪問、部活動への支援につき視 家と意見交換。 宮城県校友総会に、総長とともにスポーツ健康科学部教員2名、災害復興支援室2名が出席 和歌山県新宮市熊野川エリアへボランティアパス第2便を運行。学生15名、職員2名を派遣。和歌山大学学 生と交流。 第14回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 応用人間科学研究科 「震災復興支援プロジェクト第1回報告会」の開催	学校法人立命館 学校法人立命館 关于 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 (以書後期交援室 (以書後別の時代ンター 応用人際科学研究科 立命整未来アロジェクト/ 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 火害復興支援室 火害復興支援室 水市の場所・ 大本・ 大本・ 大本・ 大の場理 大本・ 大の表に 大の場理 大本・ 大の場理 大本・ 大の場理 大本・ 大の場理 大本・ 大の場理 大本・ 大の場理 大の場理 大の場合 大本・ 大の場合 大の表に 大の場合 大の場	岩手飛過野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県適野市 京都市(改立) 落賀県市市(RC) 京都駅前 京都市(次立) 京都駅前 京都市(次立) 岩手県通野市 岩手県通関市 京都市(次立) 岩手県通野市 名歌県仙台市 和歌山県新宮市
2011 年 11 月 2011 年 11 月 2011 年 11 月 2011 年 11 月 2011 年 10 月	4 4 4 1-30 1-6 31 29 28 26 26 25 24 23 22-23 21		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 選野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出 境 東日本大震災写真展ーつながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が塔手県選野市にて「被災地復興 家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興 支援室として開催向いた支援を実施。 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かす」を開催 オール立命館校友大会in京都に、災害復興支援室が京都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「近代の終焉という歴史認識から見た大震災と原発事故の意 養を問う」を開催 新15回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室を例会議 第15回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援連携会議に職員2名が参加。 災害復興支援室が岩手県返野市に訪問、沿岸被災地後方支援連携会議に職員2名が参加。 災害復興支援室が岩手県攻友と懇談 岡本行夫客員教授連続講演会「大震災後の日本が重面する5つの危機」開催 スポーツ健康科学部教員と災害復興支援室が岩手県大船渡市赤崎中学校を訪問、部活動への支援につき視 家と意見交換。 宮城県校友総会に、総長とともにスポーツ健康科学部教員2名、災害復興支援室2名が出席 和歌山県新宮市熊野川エリアへポランティアパス第2便を運行。学生15名、職員2名を派遣。和歌山大学学 生と交流。	学校法人立命館 学校法人立命館 类型集團社, 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 国際協力資料センター 応用人原料学研究料 立命館未来プロジェクト 火害復興支援室 文書復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 炎市國東支援室 炎市開発推進機構 スポーツ健康科学部、災害復興支援室 宮城県校友会/災害復興支援室 寄城県校友会/災害復興支援室 京城県校友会/災害復興支援室 安田興支援室 京城県校友会/災害復興支援室 京城県校友会/災害復興支援室 京城県校友会/災害復興支援室	岩手県選野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県選野市 京都市(大空) 英興県李津市(BKC) 京都市(大空) 岩手県選野市 岩手県選野市 岩手県盛岡市 京都市(女空) 岩手県大船渡市 宮城県仙台市 和歌山県新宮市
2011 年 11 月 2011 年 11 月 2011 年 11 月 2011 年 11 月 2011 年 10 月	4 4 4 1-30 1-6 31 29 28 26 26 25 24 23 22-23 21		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 温野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出演 東日本大震災写真展一つながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が苦手県通野市にて「被災地復興 家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興支援室と反射 で	学校法人立命館 学校法人立命館 关于 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 (以書後別教科学研究科 立命整未来アロジェクト 火活復興支援室 (以書後別支援室/交友・父母課 立命観未来アロシェクト/国際地域研究所/ 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 火害復興支援室 が問開発推進騰博 スポーツ健康科学部、災害復興支援室 サービステニングセンター/災害復興支援室 が周州科学部、災害復興支援室 サービスラーニングセンター/災害復興支援室 が用人間科学研究科 などステージグセンター/災害復興支援室 が用人間科学研究科 などステージグセンター/災害復興支援室 が用人間科学研究科 などステージグセンター/災害復興支援室 の用人間科学研究科 などステージグセンター/災害復興支援室 の用人間科学研究科 変変/(社細)大阪ボラジティア協会 変書(社組)大阪ボラジティア協会 変書(社組)大阪ボラジティア協会 ※書復興支援室	岩手県選野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県選野市 京都市(衣堂) 海質県市市(RKO) 京都郡市(衣堂) 岩手県選野市 岩手県通岡市 京都市(大堂) 岩手県温岡市 京都市(大党) 岩手県出瀬市 名手県大船渡市 宮城県仙台市 和歌山県新宮市
2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 10 月	4 4 4 1-30 1-6 31 29 28 26 26 25 24 23 22-23 21 17		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 温野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出 演 東日本大震災写真展 - つながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が害手飛遠野市にて「被災地復興」家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興支援室として開催向けた支援を実施。 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かす」を開催 オール立命館校友大会心京都に、災害復興支援室が完都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 立命館未来プロジェクト・第2回フォーラム「近代の終焉という歴史認識から見た大震災と原発事故の意義を問う」を開催 第15回東日本大震災と原発事故の意義を問う」を開催 第15回東日本大震災極時所検討プロジェクト・災害復興支援室を消害疾炎を勝続 関本行大表員教授連結議論会「大震災後の日本が直面する5つの危機」開催 スポーツ健康科学部教員と災害復興支援室が岩手県校友と懇談 岡本行大客員教授連結議済会「大震災後の日本が直面する5つの危機」開催 スポーツ健康科学部教員と災害復興支援でが岩手県大船波市赤崎中学校を訪問、部活動への支援につき視 電域県校友総会に、総長とともにスポーツ健康科学部教員2名、災害復興支援室2名が出席 和歌山東新宮市熊野川エリアへボランティアパス第2便を運行。学生15名、職員2名を派遣。和歌山大学学生と交流。 精和日東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室 定例会議 応用人間科学研究科 「震災復興支援プロジェクト第1回報告会」の開催 和歌山県新宮市熊野川エリアへボランティアパス第1便を運行、学生14名、職員2名を派遣。	学校法人立命館 学校法人立命館 关于 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 「成用人間科学研究科 立命館未来プロジェクト 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 炎害復興支援室 炎害復興支援室 大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大	岩手飛過野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県適野市 京都市(改立) 落賀県市市(RC) 京都駅前 京都市(次立) 京都駅前 京都市(次立) 岩手県通野市 岩手県通関市 京都市(次立) 岩手県通野市 名歌県仙台市 和歌山県新宮市
2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 10 月	4 4 4 1-30 1-6 31 29 28 26 26 25 24 23 22-23 21 17 15-16		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 温野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出演 東日本大震災写真展一つながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が苦手県通野市にて「被災地復興 家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興支援室と反射 で	学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 文金館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 延藤の原列を持つのののでは、100円ののでは、100円ののでは、100円ののでは、100円ので	岩手飛過野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県適野市 京都市(次空) 落質県東洋市(BC) 京都駅前 京都市(次空) 岩手県通野市 京都市(次空) 岩手県通野市 岩手県(次空) 岩手県通路関市 京都市(次空) 岩手県、西路市(次空) 岩手県大船湾市 高城県仙台市 和歌山県新宮市 京都市(次空) 和歌山県新宮市
2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 10 月	28 28 26 26 25 24 23 22-23 17 15-16 14 13		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 温野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム 「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出 演 東日本大震災写真展 - つながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が苦手,鴻豊野市にて「被災地復興」家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興支援室とて開催向けた支援を実施。 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かす」を開催 オール立命館校友大会か京都に、災害復興支援室が完都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 立命館未来プロジェクト・第2回フォーラム「近代の終焉という歴史認識から見た大震災と原発事故の意 養を問う」を開催 第15回東日本大震災と原発事故の意 第5回東日本大震災極時所検討プロジェクト・災害復興支援室を開会議に職員2名が参加。 災害復興支援室が岩手県逸野市に訪問、沿岸被災地後方支援連携会議に職員2名が参加。 災害復興支援室が岩手県校友と懇談 阿本行夫客員教授連結講演会「大震災後の日本が直面する5つの危機」開催 スポーツ健康科学部教員と災害復興支援室が岩手県大船波市赤崎中学校を訪問、部活動への支援につき視察と意見交換。 富城県校友総会に、総長とともにスポーツ健康科学部教員2名、災害復興支援室2名が出席 和歌山県新宮市熊野川エリアへボランティアパス第2便を運行。学生15名、職員2名を派遣。和歌山大学学生と交流。 第14回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 応用人間科学研究科 「震災復興支援プロジェクト第1回報告会」の開催 和歌山県新宮市熊野川エリアへボランティアパス第1便を運行、学生14名、職員2名を派遣。 郷加山県新宮市熊野川エリアへボランティアパス第1便を運行、学生14名、職員2名を派遣。 第13回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議	学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 文金館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 国際協力資料センター 応用人間科学研究科 立命館未来プロジェクト ゾ浩復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 対害復興支援室 対害復興支援室 対害復興支援室 対害復興支援室 対害復興支援室 京結県校友会/災害復興支援室 京結県校友会/災害復興支援室 応用人間科学研究科 写法とファインアとファインを会 災害復興支援室 応用人間科学研究科 知人提高人工のデンティングセンター/災害復興支援室 近の館末来プロジェクト 災害復興支援室 立命館末来プロジェクト 災害復興支援室	岩手飛遠野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県遠野市 京都市 (安空) 滋賀県本市 (BKC) 京都駅前 京都市 (文空) 岩手県遠野市 京都市 (文空) 岩手県遠野市 岩手県通岡市 京都市 (文空) 岩手県域県仙台市 和歌山県新宮市 京都市 (文空)
2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 10 月	28 28 26 26 25 24 23 22-23 17 15-16 14 13 12		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 温野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出 演 東日本大震災写真展一つながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が苦手県通野市にて「被災地復興 家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興支援室とで開催のた支援を実施。 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かす」を開催 オール立命館校友大会の京都に、災害復興支援室が完都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「近代の終焉という歴史認識から見た大震災と原発事故の意義を問う」を開催 第15回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 災害復興支援室が岩手県校友と懇談 阿本行大客員教授連結論済金「大震災後の日本が直面する5つの危機」開催 スポーツ健康科学部教員と災害復興支援室が岩手県大船渡市赤崎中学校を訪問、部活動への支援につき視察と意員交換。 「大震災後の日本が直面する5つの危機」開催 スポーツ健康科学部教員と災害復興支援室が岩手県大船渡市赤崎中学校を訪問、部活動への支援につき視察と意員交換。 「大震災後の日本が直面する5つの危機」開催 スポーツ健康科学部教員と公・総長とともにスポーツ健康科学部教員2名、災害復興支援室2名が出席 和歌山県新宮市熊野川エリアへボランティアバス第2便を運行。学生15名、職員2名を派遣。和歌山大学学生と交流。 第13回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 応用人間科学研究科 「震災復興支援プロジェクト・災害復興支援室定例会議 立命館未来プロジェクト・第1回マイーラ、災害復興支援室定例会議 立命館未来プロジェクト・第1回フィーラム「災害とコミュニケーション」を開催、30名の学生、教職員が参加。 次書復興支援室が着年泉遠野市に訪問、沿岸被災地後方支援連携会議に職員2名が参加。	学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 文金館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 田際協力資料センター 応用人間科学研究科 立の館未来プロジェクト 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 炎害復興支援室 炎害復興支援室 炎害復興支援室 炎害復興支援室 炎害復興支援室 水市四条指進機構 スポーツ健康科学部、災害復興支援室 京が開発推進機構 スポーツ健康科学部、災害復興支援室 京が日本の大阪市シディア協会 東京 (社間) 大阪ボラシディア協会 災害復興支援室 京がセンター/災害復興支援 京がセンター/災害復興支援 文金館未来プロジェクト 次害復興支援室 京を開発表達室 京を開発表達を開発表達を	岩手飛遠野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手飛遠野市 京都市(次空) 滋賀県本市(RKQ) 京都駅前 京都市(次空) 岩手飛遠野市 岩手飛遠岡市 京都市(次空) 岩手飛遠岡市 京都市(次空) 岩手飛途岡市 京都市(次空) 石歌山県新宮市
2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 10 月	4 4 4 1-30 1-6 31 29 28 26 26 25 24 23 22-23 21 17 15-16 14 13 12 8		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 温野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出 東日本大震災写真展一つながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が苦手県選野市にて「被災地復興 家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興支援室と関値向けた支援を実施。 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かす」を開催 オール立命館校友大会in京都に、災害復興支援室が高級でいる。 1000 日本の一部 1000	学校法人立命的	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 切害協力資料センター 応用人際科学研究科 立命整未来アロジェクト 災害復興支援室 が高級・災害復興支援室 が自発性進機構 スポーツ健康科学研 スポーツ健康科学研 でラーベー災害で興夷支援室 が自用人間科学研究科 サービスラーニングセンター/災害復興支援室 が用人間科学研究科 サービスラーニングセンター/災害復興支援室 が用人間科学研究科 変に、(社福)大阪ボラジティア協会 災害復興支援室 が自然を表示アロジェクト 次書後興支援室 文書復興支援室 、会議を表示アロジェクト ※書復興支援室 、会議を表示アロジェクト ※書復興支援室 、会議を表示アロジェクト	岩手飛遠野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県遠野市 京都市(改立) 海賀県本津市(BKC) 京都駅前 京都市(次立) 岩手県遠野市 京都市(次立) 岩手県遠野市 岩手県高岡市 京都市(次立) 岩手県、西田市 京都市(次立) 岩手県、西田市 京都市(次立) 岩手県、西田市 京都市(次立) 岩手県、西田市 京都市(次立) 岩手県、西田市 京都市(次立) 海賀県東津市(BKC) 岩手県遠野市 温賀県草津市(BKC) 京都市(次立)
2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 10 月	4 4 1-30 1-6 31 29 28 28 26 26 25 24 23 22-23 21 17 15-16 14 13 12 8 7		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 選野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出演 東日本大震災写真展 - つながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が営手県遠野市にて「被災地復興 家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興支援室と「開催的けた支援を実施。 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かす」を開催 オール立命館校及大会的京都に、災害復興支援室が京都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 立命館未来プロジェクト・第2回フォーラム「近代の終焉という歴史認識から見た大震災と原発事故の意義を問う」を開催 オール立命館校及大会的京都に、災害復興支援室が京都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介立の館未来プロジェクト・第2回フォーラム「近代の終焉という歴史認識から見た大震災と原発事故の意義を問う」を開催 第15回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援運定何会議 災害復興支援室か岩手県及野市に訪問、沿岸被災地後方支援連携会議に職員2名が参加。 災害復興支援室が岩手県校友と懇談 岡本行夫客員教授連続講演会「大震災後の日本が直面する5つの危機」開催 スポーツ健康科学部教員と名、災害復興支援室との支援 2を10年の 10年の大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室を例会議 24年15名、職員2名を派遣。和歌山県新宮市熊野川エリアへボランティアバス第2便を運行。学生15名、職員2名を派遣。和歌山県新宮市熊野川エリアへボランティアバス第2便を運行。学生14名、職員2名を派遣。 第13回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 立命館未来プロジェクト・第1回フォーラム「災害とコミュニケーション」を開催、30名の学生、教職員 26節に乗り対策が出手展遠野市に訪問、沿岸被災地後方支援連携会議に職員2名が参加。 経済学部研究推進施策プロジェクトが公開講演会「震災と現代経済、その復興と未来社会の展望」を開催 第12回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議	学校法人立命的 学校法人立命的 学校法人立命的 经共享 电子 计多数 电影玩闹比如 字 立命的大学 立命的 大学 立命的 大学 立命的 大学 中校法人立命的 全球 计多级法人立命的 全球 计多级法人立命的 经 学校法人立命的 大学 立命的大学 立命的大学 立命的大学 空动的 大学 电动物大学 电动物大学 电动物大学 学校法人立命的 大学 学校法人立命的 工作的 计算量	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 切馬協力資料センター 応用人際科学研究科 立命数未来プロジェクト 災害復興支援室 が問際推進機構 スポーツ健康科学部、災害復興支援室 サービスーニングセンター/災害復興支援室 が用人間科学研究科 変に、対策の表別を指し、対策が、対策である。 が表示プライア協会 変に、対策の表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	岩手飛遠野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県遠野市 京都市(改立) 海賀県本津市(BKC) 京都駅前 京都市(次立) 岩手県遠野市 京都市(次立) 岩手県遠野市 岩手県高岡市 京都市(次立) 岩手県、西田市 京都市(次立) 岩手県、西田市 京都市(次立) 岩手県、西田市 京都市(次立) 岩手県、西田市 京都市(次立) 岩手県、西田市 京都市(次立) 海賀県東津市(BKC) 岩手県遠野市 温賀県草津市(BKC) 京都市(次立)
2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 10 月	28 28 26 25 24 23 22-23 17 15-16 14 13 12 8 7 1		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演	学校法人立命的 经共享 中校法人立命的 经共享 中校法人立命的 经共享 中校法人立今 中华校法人立今 中华校法人立今 中华校法人立今 中华校法人立命的 一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 切馬協力資料センター 応用人際科学研究科 立命数未来プロジェクト 災害復興支援室 が問際推進機構 スポーツ健康科学部、災害復興支援室 サービスーニングセンター/災害復興支援室 が用人間科学研究科 変に、対策の表別を指し、対策が、対策である。 が表示プライア協会 変に、対策の表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	岩手県選野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県選野市 京都市京都市(农立) 滋賀東市(农立) 滋賀東市(农立) 滋賀東市市(农立) 岩手県選野市 岩手県選門市 京都市(农立) 岩手県選門市 京都市(农立) 岩手県基関市 京都市(农立) 和歌山県新宮市 京都市(农立) 和歌山県新宮市 京都市(农立) 和歌山県新宮市 流賀県県津市(BKC) 京都市(农立) 京都市(农立) 京都市(农立) 京都市(农立) 京都市(农立) 京都市(农立)
2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 10 月	28 28 26 26 25 24 23 22-23 21 17 15-16 14 13 12 8 7 1 1		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演	学校法人立命的	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 国際協力資料センター 応用人類科学研究科 立命館未来プロジェクト 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 炎害復興支援室 炎害復興支援室 炎害復興支援室 炎害復興支援室 炎害復興支援室 炎帝國発推進機構 スポーツ健康科学部、災害復興支援室 が用人類科学研究科 少声でアージをショー/災害復興支援を が用人類科学研究科 サービスラーニングセンター/災害復興支援 変ー(社副)大阪ボランディア協会 災害復興支援室 が出し、大阪ボランディア協会 災害復興支援室 が出し、大阪ボランア・ 火害復興支援室 が出し、大阪ボランア・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	岩手県選野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県選野市 京都市京都市(农立) 滋賀東市(农立) 滋賀東市(农立) 滋賀東市市(农立) 岩手県選野市 岩手県選門市 京都市(农立) 岩手県選門市 京都市(农立) 岩手県基関市 京都市(农立) 和歌山県新宮市 京都市(农立) 和歌山県新宮市 京都市(农立) 和歌山県新宮市 流賀県県津市(BKC) 京都市(农立) 京都市(农立) 京都市(农立) 京都市(农立) 京都市(农立) 京都市(农立)
2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 10 月	28 28 26 26 25 24 23 21 17 15-16 14 13 12 8 7 1 1 30		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演	学校法人立命的 他 经	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 延島の一人間科学研究科 立の館未来プロジェクト 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 対害復興支援室 対害復興支援室 対害復興支援室 対害復興支援室 対害復興支援室 対害復興支援室 対害復興支援室 対・一ビスラーングセンター/災害復興支援を 近月人間科学研究科 サービスラーングセンター/災害復興支援を が用人間科学研究科 サービスラーングセンター/災害復興支援を が用人間科学研究科 リニスラーングセンター/災害復興支援を が用人間科学研究科 サービスラーングセンター/災害復興支援を 大郎でファイア協会 災害復興支援室 なの修業まプロジェクト 災害復興支援室 サービスラーニングセンター/ 災害復興支援室	岩手県選野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県選野市 京都市京都市(农立) 滋賀東市(农立) 滋賀東市(农立) 滋賀東市市(农立) 岩手県選野市 岩手県選門市 京都市(农立) 岩手県選門市 京都市(农立) 岩手県基関市 京都市(农立) 和歌山県新宮市 京都市(农立) 和歌山県新宮市 京都市(农立) 和歌山県新宮市 流賀県県津市(BKC) 京都市(农立) 京都市(农立) 京都市(农立) 京都市(农立) 京都市(农立) 京都市(农立)
2011 # 11 月 12 月 月 12 月 月 月 月 月 月 月 月 月	28 28 26 25 24 23 22-23 21 17 15-16 14 13 12 8 7 1 1 30 29		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 温野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム 「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出演 東日本大震災写真展 - つながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が等手飛過野市にて「被災地復興」家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興支援室として開催向けた支援を実施。 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かす」を開催 オール立命館校友大会加京都に、災害復興支援室が完都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 ナール立命館校友大会加京都に、災害復興支援室が完都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 ナール立命館校友大会加京都に、災害復興支援室が完全に表現と原発事故の意義を問う」を開催 第15回東日本大震災と原発事故の意義を問う」を開催 第15回東日本大震災国連特別検討プロジェクト・災害復興支援室が岩手県大会と原発事故の意義を問う」を開催 スポーツ健康科学部教員と災害復興支援室が岩手県校女と懇談 岡本行夫客員教授連結議会「大震災後の日本が値面する5つの危機」開催 スポーツ健康科学部教員と災害復興支援室が岩手県大船渡市赤崎中学校を訪問、部活動への支援につき視 窓と意見交換。 宮城県校友総会に、総長とともにスポーツ健康科学部教員2名、災害復興支援室2名が出席 和歌山県新宮市熊野川エリアへポランティアパス第2便を運行。学生15名、職員2名を派遣。和歌山大学学生と交流。 第14回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 応用人間科学研究科 「震災復興支援プロジェクト・災害復興支援室定例会議 「第13回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室に例会議 「大きの企業」を開催、30名の学生、教職員が参加。 と間に 大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 「大き復興支援室を例会議 「大き復興支援室を例会議 「大き復興支援室を例会議 「大き復興支援室を例会議 「大き復興支援室を例会議 「大き復興支援室を例会議 「大き復興支援室を例会議 「大きの事務」で知ら名が参加。 生き加支援報告会「ボランティアパスに参加して」を開催、学生、教職員約100名が参加。 生き加支投車を作成しおくる 第11回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室 定例会議 「大き復興支援室を例会議 「大き復興支援室を例会議 「大きの事務」で知ら名が参加。 生き加支援室 定例会議 「大き復興支援室 定例会議 「大き復興支援室 定例会議 「大き復興支援室 定例会議 「大き復興支援室 定例会議 「大き復興支援室 定例会議 「大き復興支援室 定例会議 「大きの事務を持続した」では、「大きの事務」	学校法人立命的 命配 计	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 「原用人間科学研究科 立の館未来プロジェクト 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 炎害復興支援室 炎害復興支援室 炎害復興支援室 大田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田	岩手飛遠野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県遠野市 京都市市(文空) 落質県市市(RKC) 京都駅前 京都市市(文空) 第一次和東京都市(农空) 岩手県遠野市 岩手県遠岡市 京都市(农空) 岩手県連岡市市(农空) 岩手県大船湾市 高城県仙台市 和歌山県新宮市 京都市(农空) 和歌山県新宮市 京都市(农空) 和歌山県新宮市 京都市(农空) 和歌山県新宮市 京都市(农空) 京都市(农空) 京都市(农空) 京都市(农空) 京都市(农空)
2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 10 月 10	28 28 26 25 24 23 22-23 21 17 15-16 14 13 12 8 7 1 1 30 29 23		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 温野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム 「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出演 東日本大震災写真展 - つながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が等手飛過野市にて「被災地復興 家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興支援室とじて開催向けた支援を実施。 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かす」を開催 オール立命館校友大会心京都に、災害復興支援室が完都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 エール立命館校友大会心京都に、災害復興支援室が完都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 エール立命館校友大会心京都に、災害復興支援室が完全に表別と原発事故の意義を問う」を開催 第15回東日本大震災地連特別検討プロジェクト・災害復興支援室が害年、選上の大震災と原発事故の意義を問う」を開催 スポーツ健康科学部教員と災害復興支援室が岩手県、投友と懇談 岡本行大客員教授連続講演会「大震災後の日本が値面する5つの危機」開催 スポーツ健康科学部教員と災害復興支援室が岩手県大船渡市赤崎中学校を訪問、部活動への支援につき視窓と意見交換。 宮城県校友総会に、総長とともにスポーツ健康科学部教員2名、災害復興支援室2名が出席 和歌山県新宮市熊野川エリアへボランティアパス第2便を運行。学生15名、職員2名を派遣。和歌山大学学生と交流。 新13回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 応用人間科学研究科 「震災復興支援プロジェクト系1回報告会」の開催 和歌山県新宮市熊野川エリアへボランティアパス第1便を運行、学生14名、職員2名を派遣。第13回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 災害復興支援室が岩手県逸野市に訪問、沿岸被災地後方支援連携会議に職員2名が参加。 経済学研研先推進施策プロジェクトが公開講演会「震災と現代経済、その復興と未来社会の展望」を開催第12回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 災害復興支援室の金属 災害機報会 「ポランティアパスに参加して」を開催、学生、教職員約100名が参加。 住吉小学校運動会に立命館小学80年生が家庭科の授業で紅白の応援衛を作成しおくる 第11回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議	学校法人立命的 命配 计	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 田際協力資料センター 応用人間科学研究科 立の館未来プロジェクト 没需復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 炎害復興支援室 炎害復興支援室 资务開発推進機構 スポーツ健康科学部、災害復興支援室 寄城県校友会/災害復興支援室 寄城県校友会/災害復興支援室 京城県校友会/災害復興支援室 京城県村学部、災害復興支援室 京城日本の一次災害復興支援を 京本の一次大阪ボランティア協会 災害復興支援室 京本の一次大阪ボランティアの会 災害復興支援室 京本の一次大阪ボランティアの会 京本の一次大阪ボランティアの会 京本の一次大阪ボランティアの会 京本の一次大阪ボランティアの会 京本の一次大阪ボランティアの会 京本の一次大阪市の一大災害復興支援室 古のの一大阪ボランティアの中の一大阪ボラルティアのシェンクト 京本の一大阪ボランティアの中の一大阪市の一大阪大阪大の一大の中の一大阪大阪大の一大の中の一大阪大阪大の一大の中の一大阪大阪大阪大の一大の中の一大阪大阪大の中の一大阪大阪大の中の一大阪大阪大阪大阪大阪大阪大阪大阪大阪大阪大阪大阪大阪大阪大阪大阪大阪大阪大阪	岩手飛遠野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県遠野市 京都市市(文空) 落質県市市(RKC) 京都駅前 京都市市(文空) 第一次和東京都市(农空) 岩手県遠野市 岩手県遠岡市 京都市(农空) 岩手県連岡市市(农空) 岩手県大船湾市 高城県仙台市 和歌山県新宮市 京都市(农空) 和歌山県新宮市 京都市(农空) 和歌山県新宮市 京都市(农空) 和歌山県新宮市 京都市(农空) 京都市(农空) 京都市(农空) 京都市(农空) 京都市(农空)
2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 10 月 月 月 月 月 月 月 月 月	28 28 26 26 25 24 23 22-23 17 15-16 14 13 12 8 7 7 1 1 30 29 23 21		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 温野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出 演 東日本大震災写真展 - つながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が苦手風遇野市にて「被災地復興」家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興支援室として開催向けた支援を実施。 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かす」を開催 オール立命館校友大会小京都に、災害復興支援室が京都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「近代の終焉という歴史認識から見た大震災と原発事故の意 第15回東日本大震災と原発事故の意 第5回東日本大震災と原発事故の意 第5回東日本大震災地害特別検討プロジェクト・災害復興支援室で開会議 販売した 一次当復興支援室が岩手県逸野市に訪問、沿岸被災地後方支援連携会議に職員2名が参加。 災害復興支援室が岩手県校友と懇談 阿本行大客員教授連結講演会「大震災後の日本が直面する5つの危機」開催 スポーツ健康科学部教員と災害復興支援室が岩手県大船波市赤崎中学校を訪問、部活動への支援につき視 宏永意見交換。 「国城県校友総会に、総長とともにスポーツ健康科学部教員2名、災害復興支援室2名が出席 和歌山県新宮市熊野川エリアへボランティアバス第2便を運行。学生15名、職員2名を派遣。和歌山大学学生と交流。 「震災復興支援プロジェクト・災害復興支援室定例会議 応用人間科学研究科 「震災復興支援プロジェクト・災害復興支援室定例会議 応用人間科学研究科 「震災復興支援プロジェクト・災害復興支援室定例会議 立命館未来プロジェクト・第1回フジェクト・災害復興支援室定例会議 立命館未来プロジェクト・第1回フェラム「災害とコミュケーション」を開催、30名の学生、教職員が100名が参加。 経済学部研究推進施策プロジェクトが公開講演会「震災と現代経済、その復興と未来社会の展望」を開催 第12回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 、第12回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 、第12回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 、第12回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 、第12回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室で何会議 、第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室で何会議 、第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室で例会議 、第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室で何会議 、第2次等集別的による可能などので、第2の京集間に、2000年のの方後に下かいる方を対象にBKCキャンパスにて大学選を開始、そいアウブグくの表と解析、第2の京長の第2次等集別的(~107)を開催、ネットアークブグくの表見解析、2次等集別の名の京島に対するの意見を開始などの音楽を記述されている方を対象に関生を表しませた。 第2000年の第2次等第200名の表別を表しませた。 第200名の表別を表しませた。 第200名の表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	学校法人立命的 命 经	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 国際協力資料センター 応用人間科学研究科 立命館未来プロジェクト 災害復興支援室 资务開発推進機構 スポーツ健康科学部、災害復興支援室 寄物開発推進機構 スポーツ健康科学部、災害復興支援室 市の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	岩手飛遠野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県遠野市 京都市市(文空) 落質県市市(RKC) 京都駅前 京都市市(文空) 第一次和東京都市(农空) 岩手県遠野市 岩手県遠岡市 京都市(农空) 岩手県連岡市市(农空) 岩手県大船湾市 高城県仙台市 和歌山県新宮市 京都市(农空) 和歌山県新宮市 京都市(农空) 和歌山県新宮市 京都市(农空) 和歌山県新宮市 京都市(农空) 京都市(农空) 京都市(农空) 京都市(农空) 京都市(农空)
2011 # 11 月 12 11 月 月 12 11 月 月 12 11 月 月 月 月 月 月 月 月	28 28 26 25 24 23 22-23 21 17 1 30 29 23 21 16		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 選野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出演 東日本大震災写真展 - つながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が選手県遠野市にて「被災地復興 家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興支援室とじて開催的けた支援を実施。 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かす」を開催 オール立命館校友大会応京都に、災害復興支援室が京都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 コル立命館未来プロジェクト・第2回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かす」を開催 オール立命館を放大会応京都に、災害復興支援室が京都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 立命館未来プロジェクト・第2回フォーラム「近代の終焉という歴史認識から見た大震災と原発事故の意義を問う」を開催 第15回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 災害復興支援室が岩手県急野市に訪問、沿岸被災地後方支援連携会議に職員2名が参加。 災害復興支援室が岩手県急野市に訪問、沿岸被災地後方支援連携会議に職員2名が参加。 災害復興支援室が岩手県を運動会議 京城民政党を選支党会 第2000年の大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定列会議 記録以下の手が表が表が、部長とともにスポーツ健康科学部教員2名、災害復興支援室之が出席 和歌山県新宮市熊野川エリアへボランティアバス第1便を運行。学生15名、職員2名を派遣。和歌山大学学生交流。 新14回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 立命館未来プロジェクト・第1回フォーラム「災害とコミュニケーション」を開催、30名の学生、教職員が参加。 経済学部研究推進施策プロジェクト・災害復興支援室定例会議 立命館未来プロジェクト・第1回フォーラム「災害とコミュニケーション」を開催、30名の学生、教職員第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 立命能大学り事が定よるヨット級の提供支援につき東北大学と東北学院大学よりお礼状が届き公開。 学生グループ386が「第2回立命館大学800余第に無くキャン・大大大大大会で東北学院大学よりお礼状が届きの関。 学に対しまりを表表を開催、ネットワークづくりを支援。 東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 立命能大学コート部によるヨットを原とでキャン・大大大大会・東北学院大学よりお礼状が届き公開。 学に本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 立ちが見にからま扱、からにおに存して、第2回立を開催、カードのでは、第2回立を開催を表表で、第2回車名大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室を例会議 立ちれたの意味を使用を表示している方を対象に移に手やいて、これを対している方を対象に対しているのでは、第2回立を開催を持定と呼ば、第2回立を開催を持定と呼ば、第2回立を開催を表示しているがよりませいといるのでは、第2回立を開催を表示しているのでは、第2回立を対しているのでは、第2回立を対しているのでは、第2回立を開催を表示しているのでは、第2回立を開催を表示しているのでは、第2回立を開催を表示しているのでは、第2回立を開催を表示しているのでは、第2回立を表示しているのでは、第2回	学校法人立命的	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 田際協力資料センター 応用人間科学研究科 立の館未来プロジェクト 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 炎害復興支援室 水質開発推進機構 スポーツ健康科学部、災害復興支援室 市団人間科学研究科 本の主義の表表を受験。 文書復興支援室 立の能未来プロジェクト 、災害復興支援室 立の能未来プロジェクト 、災害復興支援室 文書復興支援室	岩手飛遠野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手飛遠野市 京都市(改空) 滋賀県草津市(BKC) 京都駅前 京都市(改空) 岩手飛遠野市 岩手飛遠野市 岩手飛遠野市 岩手飛遠野市 岩手飛遠町市 京都市(改空) 岩手飛過日市 京都市(改空) 岩手飛過日市 京都市(次空) 岩手県加台市 和歌山県新宮市 京都市(次空) 和歌山県新宮市 京都市(次空)
2011 # 11 月 12 11 月 月 月 12 11 月 月 12 11 月 月 12 11 月 月 月 12 11 月 月 月 12 11 月 月 月 11 月 月 11 月 月	28 28 26 26 25 24 23 22-23 17 15-16 14 3 10 29 23 21 16 14-20		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 温野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出演 東日本大震災写真展 つながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が等手飛過野市にて「被災地復興 家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興支援室とじて開催向けた支援を実施。 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かす」を開催 オール立命館校友大会心京都に、災害復興支援室が京都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 エール立命館校友大会心京都に、災害復興支援室が京都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 エール立命館校友大会心京都に、災害復興支援室が完全に表別と原発事故の意義を問う」を開催 第15回東日本大震災阻害特別検討プロジェクト・災害復興支援室が営手県送りた成別、沿岸被災地後方支援連携会議に職員2名が参加。 災害復興支援室が岩手県大教と懇談 岡本行大客員教授連続講演会「大震災後の日本が直面する5つの危機」開催 スポーツ健康科学部教員と災害復興支援室が岩手県大船渡市赤崎中学校を訪問、部活動への支援につき視察と意見交換。 宮城県校友総会に、総長とともにスポーツ健康科学部教員2名、災害復興支援室2名が出席 和歌山県新宮市熊野川エリアへボランティアバス第2便を運行。学生15名、職員2名を派遣。和歌山大学学生と交流。 新14回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 応用人間科学研究科 「震災復興支援プロジェクト系1回報告会」の開催 和歌山県新宮市熊野川エリアへボランティアバス第1便を運行、学生14名、職員2名を派遣。第13回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 災害復興支援室が岩手県逸野市に訪問、沿岸被災地後方支援連携会議に職員2名が参加。 経済学部研究推進施策プロジェクトが、原送と現代経済、その復興と未来社会の展望」を開催 第19回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 災害復興支援室か岩手県逸野市に訪問、沿岸被災地域方支援室定例会議 災害復興支援室に例会議 次第復興支援室に列会議 立命館大学日の応援加速特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 ボットアークブくりを支援。東日本大震災関連特別検討プロジェクト、火害復興支援室定例会議 ボットアークブス「かものが「第2次募集開始(~107)第10回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 ポーストア・アバス「いわてGNGA-NET」学生25名、職員1名を派遣。 災国域を関係のため 「発力の保険と同な声間を公開 第9回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室を例会議	学校法人立命 他 经	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 田陽協力資料センター 応用人間科学が対対 立命館未来プロジェクト 災害復興支援室 交当を開来プロジェクト 災害復興支援室 河の開発推進機構 乙ボーツ健康科学部、災害復興支援室 京城県校友金/災害復興支援室 京の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	岩手飛遠野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手飛遠野市 京都市(改空) 滋賀県草津市(BKC) 京都駅前 京都市(改空) 岩手飛遠野市 岩手飛遠野市 岩手飛遠野市 岩手飛遠野市 岩手飛遠町市 京都市(改空) 岩手飛過日市 京都市(改空) 岩手飛過日市 京都市(次空) 岩手県加台市 和歌山県新宮市 京都市(次空) 和歌山県新宮市 京都市(次空)
2011 # 11 月 12 13 14 15 16 16 16 16 16 16 16	28 28 26 26 25 24 23 22-23 17 15-16 14 13 30 29 23 21 16 14-20 11		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 温野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出演 東日本大震災写真展 つながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が等手飛過野市にて「被災地復興 家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興支援室とじて開催向けた支援を実施。 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かす」を開催 オール立命館校友大会心京都に、災害復興支援室が京都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 エール立命館校友大会心京都に、災害復興支援室が京都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 エール立命館校友大会心京都に、災害復興支援室が完全に表別と原発事故の意義を問う」を開催 第15回東日本大震災阻害特別検討プロジェクト・災害復興支援室が営手県送りた成別、沿岸被災地後方支援連携会議に職員2名が参加。 災害復興支援室が岩手県大教と懇談 岡本行大客員教授連続講演会「大震災後の日本が直面する5つの危機」開催 スポーツ健康科学部教員と災害復興支援室が岩手県大船渡市赤崎中学校を訪問、部活動への支援につき視察と意見交換。 宮城県校友総会に、総長とともにスポーツ健康科学部教員2名、災害復興支援室2名が出席 和歌山県新宮市熊野川エリアへボランティアバス第2便を運行。学生15名、職員2名を派遣。和歌山大学学生と交流。 新14回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 応用人間科学研究科 「震災復興支援プロジェクト系1回報告会」の開催 和歌山県新宮市熊野川エリアへボランティアバス第1便を運行、学生14名、職員2名を派遣。第13回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 災害復興支援室が岩手県逸野市に訪問、沿岸被災地後方支援連携会議に職員2名が参加。 経済学部研究推進施策プロジェクトが、原送と現代経済、その復興と未来社会の展望」を開催 第19回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 災害復興支援室か岩手県逸野市に訪問、沿岸被災地域方支援室定例会議 災害復興支援室に例会議 次第復興支援室に列会議 立命館大学日の応援加速特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 ボットアークブくりを支援。東日本大震災関連特別検討プロジェクト、火害復興支援室定例会議 ボットアークブス「かものが「第2次募集開始(~107)第10回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 ポーストア・アバス「いわてGNGA-NET」学生25名、職員1名を派遣。 災国域を関係のため 「発力の保険と同な声間を公開 第9回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室を例会議	学校法人立命的 他 经 计	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 以害復興支援室 田際協力資料センター 応用人類科学研究科 立命館未来プロジェクト 火害復興支援室 交害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 炎害復興支援室 炎害復興支援室 炎害復興支援室 炎害復興支援室 水市開発推進機構 スポーツ健康科学部、災害復興支援室 京の代表のアンディア協会 災害復興支援室 が用人期科学研究科 サービスラーニングセンター/災害復興支援室 次書復興支援室 次書復興支援室 次書復興支援室 京の代本副人表版ポランティア協会 災害復興支援室 文書後興支援室 対・ビスラーニングセンター 災害復興支援室 対・ビスラーニングセンター 災害復興支援室 対・ビスラーニングセンター 災害復興支援室 対・ビスラーニングセンター 災害復興支援室 対・関東復興支援室 対・ビスラーニングセンター 災害復興支援室 災害復興支援室 対・関東支援室 災害復興支援室	岩手飛遠野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手飛遠野市 京都市(改空) 滋賀県草津市(BKC) 京都駅前 京都市(改空) 岩手飛遠野市 岩手飛遠野市 岩手飛遠野市 岩手飛遠野市 岩手飛遠町市 京都市(改空) 岩手飛過日市 京都市(改空) 岩手飛過日市 京都市(次空) 岩手県加台市 和歌山県新宮市 京都市(次空) 和歌山県新宮市 京都市(次空)
2011 # 11 月 12 11 月 月 12 11 月 月 12 11 月 月 月 12 11 月 月 月 月 月 月 月 月	28 28 26 25 24 23 22-23 17 15-16 14 13 30 29 23 21 16 14-20 11 9 9 7-13		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 温野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出演 東日本大震災写真展 - つながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が等手飛過野市にて「被災地復興 家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興支援室とじ開催的けた支援を実施。 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かす」を開催 オール立命館校友大会加京都に、災害復興支援室が京都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 立命館未来プロジェクト・第2回フォーラム「近代の終焉という歴史認識から見た大震災と原発事故の意養を問う」を開催 第15回東日本大震災関連特別検討プロジェクト、災害復興支援室を開会議 第15回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室を開発を表してき視察と意見交換。 図本行夫客員教授連続講演会「大震災後の日本が重面する5つの危機」開催 スポーツ健康科学部教員と災害復興支援室が岩手県大船波市赤崎中学校を訪問、部活動への支援につき視察と意見交換。 図城県校友総会に、総長とともにスポーツ健康科学部教員2名、災害復興支援室2名が出席和歌山大学学生と交流 の福林平野川エリアへボランティアバス第2便を運行。学生15名、職員2名を派遣。和歌山大学学生と交流 第14回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 応用人間科学研究科「震災復興支援プロジェクト第1回報告会」の開催 和歌山県新宮市熊野川エリアへボランティアバス第2便を運行。学生14名、職員2名を派遣。都別3回東日本大震災関連特別検討プロジェクト、災害復興支援室定例会議 立命館未来プロジェクト・第1回フォーラム「災害と現代経済、その復興と未来社会の展望」を開催 第12回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 第11回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 災害復興支援室が岩手県遠野市に訪問、沿岸被災地後方支援連携会議に職員2名が参加。 経済学部研究推進施策プロジェクト・が、開始演会「産りと現代経済、その復興と未来社会の展望」を開催 第12回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 、学生グループ486か「第2回の命動大学8Kで変流を行ロシ」で数望県に避難されている方を対象にBKCキャンパスにて大学見学や監査を、交流金を開催、ネットワークブくりを支援。 東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 ボランディアに表別関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 ボランディアバス「いわてGNGA-NET」学生25名、職員名を派遣。密城県気加沼郡住田町を拠点に釜石市、大船町でのボラン・イ学を実施。宮城県気加沼郡住田町を拠点に釜石市、大船町でのボラン・イ学を実施。 密城県気加沼郡住田町を拠点に釜石市、大船町でのボラン・イ学を実施。 宮城県気加沼郡住田町を拠点に釜石市、大船前市、大船町でのボラン・イクを実施。 宮城県気加沼郡住田町を拠点に釜石市、大船町でのボラン・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア	学校法人立命 命能 然	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 河州人間科学研究科 立命館未来プロジェクト 災害復興支援室 淡害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 资格開発推進機構 スポーツ健康科学部、災害復興支援室 资格開発推進機構 スポーツ健康科学部、災害復興支援室 京の代本別、技術でラップ・アージを会 河上でラーニングセンター/災害復興支援室 河上でスラーニングセンター/災害復興支援室 京の代本別、大阪ボランディア協会 災害復興支援室 京の代本別、大阪ボランディア協会 災害復興支援室 京の情報の表別を指定を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を	岩手飛遠野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県遠野市 京都市市(安立) 京都市(安立) 京都市(安立) 京都市(安立) 岩手県遠野市 京都市(安立) 岩手県、温野市 岩手県、温野市 岩手県、温野市 京都市(安立) 岩手県、温野市 京都市(安立) 岩手県、温野市 宮城県仙台市 和歌山県新宮市 京都市(安立) 和歌山県新宮市 京都市(安立) 和歌山県新宮市 遠賀県草津市(BKC) 京都市(村大路)、宮城県 京都市(日大路)、宮城県 京都市(日大路)、宮城県 京都市(日大路) 京都市(日大路)、宮城県 京都市(日大路) 京都市(日大路) 京都市(日大路) 京都市(日大路)
2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 10 月 2011 # 9 月 9	28 28 26 25 24 23 22-23 21 17 15-16 14 13 12 8 7 1 1 1 30 29 23 21 17 16 14 17 17 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演	学校法人立命命命制工学学校法人立命命令制工学中校法人立命命令制工作学生。 立命命制工作学 立命命制工作学 学校法人政会制工 立命命制工 学学校法人发生 工命命制工 学学校法人发生 工命命制工 学学校法人发生 工命命制工 学学校法 传统 计多数 电影响 医二甲基甲基二甲基甲基二甲基甲基二甲基甲基二甲基甲基二甲基二甲基二甲基二甲基二甲基	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 犯問際協力資料センター 応用人間科学研究科 立の館未来プロジェクト 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 対害復興支援室 対害復興支援室 対害復興支援室 対・世区カーンの一災害復興支援室 宮城県校友会・災害復興支援室 宮城県校友会・災害復興支援室 方用人間科学研究科 サービスラーングセンター・災害復興支援を 近月人間大阪ボランディア協会 災害復興支援室 立の信託・アロジェクト 災害復興支援室 対・経済・アロジェクト 災害復興支援室 サービスラーングセンター・災害復興支援室 サービスラーングセンター・災害復興支援室 対・管理の支援室 ・ アービス・アーングセンター・災害復興支援室 ・ アービス・アーニングセンター・災害復興支援室 ・ アービス・アーニングセンター・ 災害復興支援室 ・ アービス・アーニングセンター・ 火害復興支援室 ・ アービス・アーニングセンター・ 火害復興支援室 ・ アービス・アーニングセンター・ 火害復興支援室 ・ アービス・アーニングセンター・ ・ アービス・アービス・アーニングセンター・ ・ アービス・アーニングセンター・ ・ アービス・アーニングセンター・ ・ NUSA(国際ボランア・ア学生協会)	岩手飛遠野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県遠野市 京都市市(次空) 落質原本市(水空) 京都市(次空) 岩手県遠野市 京都市(次空) 岩手県、温野市 岩手県、温野市 岩手県、温野市 岩手県、温野市 名数県、土田 (次空) 岩手県大船湾市 高級県山台市 和歌山県新宮市 京都市(次空) 和歌山県新宮市 京都市(次空) 和歌山県新宮市 三数質県草津市(BKC) 京都市(北大路) 京都市(北大路) 京都市(北大路) 京都市(北大路) 京都市(北大路) 京都市(日大路)
2011 # 11 月 12 11 月 月 12 11 月 月 月 12 11 月 月 月 月 12 11 月 月 月 月 月 12 11 月 月 月 月 月 12 11 月 月 月 月 12 11 月 月 月 月 月 月 月 月	28 28 26 25 24 23 22-23 21 17 15-16 14 13 12 8 7 1 1 30 29 23 21 16 14-20 11 9 7-13 6-14 2		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 温野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出演 東日本大震災写真展 - つながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が等手飛過野市にて「被災地復興 家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興支援室とじ開催的けた支援を実施。 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かす」を開催 オール立命館校友大会加京都に、災害復興支援室が京都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 立命館未来プロジェクト・第2回フォーラム「近代の終焉という歴史認識から見た大震災と原発事故の意養を問う」を開催 第15回東日本大震災関連特別検討プロジェクト、災害復興支援室を開会議 第15回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室を開発を表してき視察と意見交換。 図本行夫客員教授連続講演会「大震災後の日本が重面する5つの危機」開催 スポーツ健康科学部教員と災害復興支援室が岩手県大船波市赤崎中学校を訪問、部活動への支援につき視察と意見交換。 図城県校友総会に、総長とともにスポーツ健康科学部教員2名、災害復興支援室2名が出席和歌山大学学生と交流 の福林平野川エリアへボランティアバス第2便を運行。学生15名、職員2名を派遣。和歌山大学学生と交流 第14回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 応用人間科学研究科「震災復興支援プロジェクト第1回報告会」の開催 和歌山県新宮市熊野川エリアへボランティアバス第2便を運行。学生14名、職員2名を派遣。都別3回東日本大震災関連特別検討プロジェクト、災害復興支援室定例会議 立命館未来プロジェクト・第1回フォーラム「災害と現代経済、その復興と未来社会の展望」を開催 第12回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 第11回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 災害復興支援室が岩手県遠野市に訪問、沿岸被災地後方支援連携会議に職員2名が参加。 経済学部研究推進施策プロジェクト・が、開始演会「産りと現代経済、その復興と未来社会の展望」を開催 第12回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 、学生グループ486か「第2回の命動大学8Kで変流を行ロシ」で数望県に避難されている方を対象にBKCキャンパスにて大学見学や監査を、交流金を開催、ネットワークブくりを支援。 東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 ボランディアに表別関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 ボランディアバス「いわてGNGA-NET」学生25名、職員名を派遣。密城県気加沼郡住田町を拠点に釜石市、大船町でのボラン・イ学を実施。宮城県気加沼郡住田町を拠点に釜石市、大船町でのボラン・イ学を実施。 密城県気加沼郡住田町を拠点に釜石市、大船町でのボラン・イ学を実施。 宮城県気加沼郡住田町を拠点に釜石市、大船前市、大船町でのボラン・イクを実施。 宮城県気加沼郡住田町を拠点に釜石市、大船町でのボラン・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア	学校法人立命命能 学校法人立命的。 学校法人立命的。 立命命能大学 立命命能大学 立命命能大学 学校法法人立命 学校法法人立命的 等校法法人立命的 等校法法人立命的 等校法法人立命的 等校法法人立命的 等校法人工会的 等校法法人立命的 等校法人工会的 等校本会	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 国際協力資料センター 応用人間科学研究科 立命館未来プロジェクト 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 河田州地域研究所 災害復興支援室 災害復興支援室 河田州地域研究所 河田州地域研究所 河田州地域研究所 河田州地域研究所 河田州地域研究所 河田州地域研究所 河田州地域研究所 河田州地域研究所 河田州地域研究所 河田州地域市域市域市域市域市域市域市域市域市域市域市域市域市域市域市域市域市域市域市	岩手飛遠野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県遠野市 京都市 (安空) 滋賀県市 (安空) 京都市 (安空) 京都市 (安空) 岩手県遠野市 京都市 (安空) 岩手県遠野市 京都市 (安空) 岩手県遠岡門市 京都市 (安空) 岩手県連岡門市 京都市 (安空) 岩手県連岡門市 京都市 (安空) 岩手県共船遠市 高城県山台市 和歌山県新宮市 京都市 (安空) 名響県東津市 (BKC) 著手県連野市 滋賀県草津市 (BKC) 京都市 (水笠) 京都市 (水笠) 京都市 (水笠) 京都市 (水笠) 京都市 (水笠)
2011 # 11 月 2011 # 11 月 2011 # 10 月 2011 1	28 28 26 25 24 23 22-23 21 17 15-16 14 13 12 8 7 1 1 1 30 29 23 21 17 16 14 17 17 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16		大学関西フォーラム「巨大災害一大学はどう立ち向かうか」 服部健二災害復興支援室長が講演 選野市健康福祉部との面談 教員1名、職員2名、クレオテック1名 大学関西フォーラム「巨大災害に大学はどう立ち向かうか」に服部健二災害復興支援室長がパネリスト出演 東日本大震災写真展 - つながる支援の輪 開催 応用人間科学研究科が選手県遠野市にて「被災地復興 家族応援プロジェクト」の催しを開催。災害復興支援室とじて開催的けた支援を実施。 立命館未来プロジェクト・第3回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かす」を開催 オール立命館校友大会応京都に、災害復興支援室が京都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 立命館未来プロジェクト・第2回フォーラム「減災の知恵を学び今後に活かす」を開催 オール立命館校友大会応京都に、災害復興支援室が京都駅前にパネルを出展し取り組みを紹介 立命館未来プロジェクト・第2回フォーラム「近代の終焉という歴史認識から見た大震災と原発事故の意 養を問う」を開催 第15回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 災害復興支援室が岩手県逸野市に訪問、沿岸被災地後方支援連携会議に職員2名が参加。 災害復興支援室が岩手県急野市に訪問、沿岸被災地を方支援連携会議に職員2名が参加。 災害復興支援室が岩手県急野市に訪問、沿岸被災地を方を援連携会議に職員2名が参加。 災害復興支援室が岩手県急野市に訪問、沿岸破災地を方を援重度の会議 和歌山県新宮市無野川エリアへボランティアバス第2便を運行。学生15名、職員2名を派遣。和歌山大学学生交流。 第14回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 応用人間科学研究科 「震災復興支援プロジェクト・災害復興支援室定例会議 立命館未プロジェクト・第1回フォーラム「災害とコミュニケーション」を開催、30名の学生、教職員 が参加。 経済学部研究推進施策プロジェクト・災害復興支援室定例会議 第13回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 第12回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 立命館大学以下が終りますが、 第2回支日の金の「私たちの提案」では自の応援旗を作成しおくる 第11回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 立命館大学リト部によるヨットシ帳の提供支援につき東北大学と東北学院大学よりお礼状が届き公開。 学生グループは8かが、第2回立命館大学BKC交流会を打ロン」で滋賀県に避難されている方を対象にBKCキャン 「大日で研究を集集を開催、ネットワークブ(ウを支援) 立の範末学BKの政策を開催、ネットワークブ(ウを支援) 立の範末学BKの政策を開催、ネットワークブ(ウを支援) 東国本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 ボランティアドス「いわてGNGA-NET」学と52名、職員4名を派遣。 宮城県気援室定列会議 ボランティアバス「いわてGNGA-NET」学と52名、職員4名を派遣。 宮城県気加密性田町を拠点に釜石 が、大日波所でのボランティア学と第会学と500名 第20回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 ボランティアパス「いわての原発の意義と 第20回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 ボランティアパス「いわてのRGA-NET」学と52名、職員4名を派遣。 宮城県気援軍費・アグのよりによりませた。 京域によりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりに	学校法人立命命命制工学学校法人立命命令制工学中校法人立命命令制工作学生。 立命命制工作学 立命命制工作学 学校法人政会制工 立命命制工 学学校法人发生 工命命制工 学学校法人发生 工命命制工 学学校法人发生 工命命制工 学学校法 传统 计多数 电影响 医二甲基甲基二甲基甲基二甲基甲基二甲基甲基二甲基甲基二甲基二甲基二甲基二甲基二甲基	災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 犯問際協力資料センター 応用人間科学研究科 立の館未来プロジェクト 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 対害復興支援室 対害復興支援室 対害復興支援室 対・世区カーンの一災害復興支援室 宮城県校友会・災害復興支援室 宮城県校友会・災害復興支援室 方用人間科学研究科 サービスラーングセンター・災害復興支援を 近月人間大阪ボランディア協会 災害復興支援室 立の信託・アロジェクト 災害復興支援室 対・経済・アロジェクト 災害復興支援室 サービスラーングセンター・災害復興支援室 サービスラーングセンター・災害復興支援室 対・管理の支援室 ・ アービス・アーングセンター・災害復興支援室 ・ アービス・アーニングセンター・災害復興支援室 ・ アービス・アーニングセンター・ 災害復興支援室 ・ アービス・アーニングセンター・ 火害復興支援室 ・ アービス・アーニングセンター・ 火害復興支援室 ・ アービス・アーニングセンター・ 火害復興支援室 ・ アービス・アーニングセンター・ ・ アービス・アービス・アーニングセンター・ ・ アービス・アーニングセンター・ ・ アービス・アーニングセンター・ ・ NUSA(国際ボランア・ア学生協会)	岩手県遮野市 大阪市北区 京都府京都市 岩手県遮野市 京都市 (大笠) 京都市 (大笠) 京都市 (大笠) 京都市 (大笠) 岩手県遮野市 京都市 (大笠) 岩手県遮野市 京都市 (大笠) 岩手県庭岡市 京都市 (大笠) 岩手県庭岡市 京都市 (大笠) 岩手県 (大田) (大田) (大田) (大田) (大田) (大田) (大田) (大田)



2011 年 8 月	25	日	教職員による私たちの提案:理工学部 長野正道教授が岩手県陸前高田市立広田中学校と、卒業アルバム のデジタル化や防災教材の作成を行う「被災地デジタルフェニックスプロジェクト」に関する準備を実	立命館大学	理工学部 長野正道教授	岩手県陸前高田市
		-	施。 応用人間科学研究科教員、学生が青森県むつ市の被災地の保育所、幼稚園、学校にて対人援助に関わるボ			
2011 年 8 月	25	日	ランティア活動を実施。	立命館大学	応用人間科学研究科 村本邦子教授	青森県むつ市
2011 年 8 月	25	日	<教職員による私たちの提案> 立命館宇治中高Rits-LABOが国府多賀城駅南地区仮設住宅を訪問し秀光中等教育学校と交流。	立命館宇治中学 校・高等学校	Rits—LABO	宮城県仙台市/多賀城市
2011 年 8 月	24-30	日	教職員による私たちの提案:政策科学特別実習が岩手県立大、ユースビジョン、「いわてGINGA-NET」と連 携し、宮城県気仙郡住田町を拠点に釜石市、大船渡市、陸前高田市、大槌町でのボランティアを実施。	立命館大学	政策科学部	宮城気仙沼郡
2011 年 8 月	19-23	日	ボランティアバス「スマイルエンジン山形、プロジェクトに学生25名(RU19、APU6)、RU職員1名、APU 職員1名、クレオテック2名が参加、宮城県石巻市での清掃等の活動、仮設住宅住民の方へのワークショッ プ手伝い等を実施。	立命館大学・	サービスラーニングセンター	宮城県石巻市
2011 年 8 月	18-19	日	教職員による私たちの提案:被災地から京都に避難している子ども達への学習支援キャンプ、学生8名が実 施。	立命館大学	政策科学部 桜井政成准教授、学生8名	京都府宇治市
2011 年 8 月	17-18	日	災害復興支援室教職員3名が東日本大震災被災地への視察、懇談を実施。岩手県遠野市・大船渡市・陸前 高田市・気仙沼市を訪問。	学校法人立命館	災害復興支援室	岩手県遠野市・大船渡市・ 陸前高田市、宮城県気仙沼
2011 年 8 月	16-23	В	福島県校友の家族3名がエポック立命21に一時避難、福島県校友会より立命館大学宿泊施設開放のお知ら	立命館大学	校友会	放賀県草津市(BKC)
,,		$\overline{}$	せを公開 ボランティアパス「気仙沼・暮らしたのしませ隊」プロジェクトを大阪ボランティア協会との連携で企 画、サークル・学生団体の特色を活かしたボランティア・交流を実施。学生26名、教職員2名が気仙沼市			300000000000000000000000000000000000000
2011 年 8 月			の仮設住宅・避難所等を訪問。	立命館大学	サービスラーニングセンター/ (社福) 大阪 ボランティア協会	宮城県気仙沼市 岩手県陸前高田市・大船湖
2011 年 8 月	11-12	日	教職員による私たちの提案:仮設住 <u>届建設の</u> 敷地選定のため現地視察と打合せを実施。陸前高田市、気仙 冶、大船接、釜石、吉里吉里、12日宮古を視察。	立命館大学	理工学部 宗本晋作准教授、学生2名	市・釜石市・富古市・吉里 吉豊、宮城県気仙沼市 大津市の県立柳ヶ崎ヨット
2011 年 8 月	10-13	日	立命館大学ヨット部、東北大学と東北学院大学にヨット2艇贈る	立命館大学	立命館大学体育会ヨット部	ハーバーから宮城県七ヶ浜
2011 年 8 月	6-9	-	学生組織によるかき氷屋「らくだ」学生が、チャリティかき氷を提供	立命館大学	かき氷屋「らくだ」	宮城県
2011 年 8 月	6-8		立命館大学教員による東日本大震災被災地視察、福島大学教員と懇談。 サービスラーニングセンターが夏期休暇中に震災復興支援のボランティア活動等に参加する在学生に注意	立命館大学	災害復興支援室	福島県福島市
2011 年 8 月	3	B	点を公開	立命館大学	サービスラーニングセンター	
2011 年 8 月	2	日	日本私立大学団体連合会・日本私立短期大学協会主催シンポジウム「東日本大震災を超えて:大学のなすべきこと、できること」に教員1名参加。	学校法人立命館	災害復興支援室	宫城県仙台市 東北学院大学
2011 年 8 月	1~	日	立命館大学、APUでそれぞれ「被災学生支援金」の申請受付を実施。(出願〆切9/20)	立命館大学・ APU	災害復興支援室	
2011 年 8 月	1	B	東日本大震災を受けた大学の教育・研究に関する提言にむけた懇話会キックオフ企画の実施	学校法人立命館	災害復興支援室	
2011 年 7 月	29	_	第7回 東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室 定例会議	学校法人立命館	災害復興支援室	京都市(衣笠)・ 滋賀県草津市(BKC)
2011 年 7 月	28-29		立命館小学校が、石巻市立住吉小学校へ辞書を贈るため!募金のお願いを公開	立命館小学校		京都市(北大路)・ 宮城県石巻市
2011 年 7 月	27	-	常任理事会にて災害復興支援の取り組みにつき検討、復興+R基金「被災学生支援金」の募集、「東日本大 震災に関する研究推進プログラム」の結果、「東日本大震災復興のための「私たちの提案」—教職員の取 り組み受付第1次募集)—」の結果、④東日本大震災をうけた大学の教育・研究に関する提言にむけた懇話 会の実施につき確認。	学校法人立命館	常任理事会	
2011 年 7 月	27			学校法人立命館	災害復興支援室	
2011 年 7 月	26	В	採択 APU「東日本大震災に関る研究推進プログラム」採択審査結果を発表し3件を採択	APU	災害復興支援室	大分県別府市(APU)
2011 年 7 月	25~	В	震災復興支援グッズ、+R for Future、第1弾としてバッジとシリコンバンドの販売(売上げの一部を復興+R	立命館大学	広報課/生協	京都市 (衣笠) ・
2011 年 7 月	22		基金に)を生活協同組合等で開始 東日本大震災支援学生団体APU-NEST他が「届けたい希望があるから」ひろめ隊 三本菅 通次氏講演会を開	APU	東日本大震災支援学生団体APU-NEST他	滋賀県草津市(BKC) 大分県別府市(APU)
2011 年 7 月	22	_	催 第6回 東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室 定例会議	学校法人立命館	災害復興支援室	7(3) #(3)(3)(3) (A) (3)
2011 年 7 月	20	日	災害復興支援室・東日本大震災関連特別検討プロジェクト、東日本大震災に関わる立命館の7月までの活	学校法人立命館	常任理事会	
		_	動を報告			******* (e.e.)
2011 年 7 月 2011 年 7 月	20 19	-	地域活性化ボランティア「FUKKO+R〜震災×学びプロジェクト」受講ガイダンスを開催 地域活性化ボランティア「FUKKO+R〜震災×学びプロジェクト」受講ガイダンスを開催	立命館大学	サービスラーニングセンターサービスラーニングセンター	滋賀県草津市 (BKC) 京都市 (衣笠)
2011 年 7 月	19	_	立命館大学「東日本大震災に関る研究推進プログラム」採択審査結果を発表し30件採択	立命館大学	災害復興支援室	Manip (2CIL)
2011 年 7 月	15~	_	学生サークルMeetSourceが「災害復興支援ボランティア&立命活動団体紹介ムービー放映会」	立命館大学	MeetSource	京都市 (衣笠)
2011 年 7 月	15	日	311+Rnet が復興応援イベント「eat&talk、東北」開催	立命館大学	311+Rnet、サービスラーニングセンター	滋賀県草津市(BKC)
2011 年 7 月	15	_	理事会においてR2020基本計画要項の承認(東日本大震災をうけた教育・研究機関のあり様と課題も反映)	学校法人立命館	理事会	
2011 年 7 月	15		第5回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 東日本大震災支援学生団体APU-NEST・NPOみんつな「被災者として、フォトジャーナリストとして、支援	学校法人立命館	災害復興支援室	
2011 年 7 月	11	н	者として~ふるさと 陸前高田をみつめる~」佐藤 慧氏講演会を開催	APU	東日本大震災支援学生団体APU-NEST他	大分県別府市(APU)
2011 年 7 月	11		311+R netが「7.11キャンドルナイトin立命館大学」を開催 東日本大震災支援学生団体APU-	立命館大学	311+Rnet、サービスラーニングセンター	京都市 (衣笠)
2011 年 7 月	10	日	RESTがミンナDEカオウヤプロジェクト「東北地方物産品・授産品販売会」を開催	APU	東日本大震災支援学生団体APU-NEST	APU/大分県別府駅
2011 年 7 月	8	_	災害復興支援フォーラム第3弾『わたしたちにできること-東日本大震災をうけて』開催	学校法人立命館	災害復興支援室	京都市(朱雀)
2011 年 7 月	8	_	復興支援メディア隊 講演会 『メディアとアートは、被災地に何を伝えたのか』開催 第4回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室 定例会議	学校法人立命館 学校法人立命館	災害復興支援室	京都市(衣笠)
2011 年 7 月	7-8	日	災害復興支援室室長をはじめとした教職員9名が現地訪問および懇談を実施(岩手県大船渡市・陸前高田	学校法人立命館	災害復興支援室	岩手県大船渡市/陸前高田
	7-0		市) 311+Rnetが共催し「Youth for 311関西準備会」を開催	立命館大学		市
2011 年 7 月 2011 年 7 月	5	_	産業社会学部松田ゼミが「チャリティーフリマ」を開催	立命館大学	311+Rnet、サービスラーニングセンター 産業社会学部松田ゼミ	京都市(衣笠)
2011 年 7 月	4	_	APUにて東日本大震災復興支援企画 復興支援メディア隊 講演会を開催	APU	立命館アジア太平洋大学東北地震支援団体 APU-NEST、スチューデント・オフィス	大分県別府市(APU)
2011 年 7 月	4	_	東日本大震災をうけた立命館のあり方についての懇談	学校法人立命館	災害復興支援室	
2011 年 7 月	3	_	校友・父母課が宮城県・福島県校友会訪問	立命館大学	校友・父母課	宮城県/福島県
2011 年 7 月	2		校友・父母課が岩手県校友会へ訪問	立命館大学	校友・父母課	岩手県
2011 年 7 月	2	н	立命館大学応用人間科学研究科開設10周年記念シンポジウム「東日本と大学の役割-応用人間科学研究科 に期待されること」開催	立命館大学	応用人間科学研究科	京都市(衣笠)
2011 年 7 月	2	日	ボランティアパス「スマイルエンジン山形」へ立命館大学学生2名・職員1名、APU学生2名・職員1名を派 遺	立命館大学	サービスラーニングセンター	山形県山形市
2011 年 7 月	1	日	〜 災害復興支援フォーラム第2弾 『災害時の大学の危機管理-東日本大震災をうけて』 開催	学校法人立命館	災害復興支援室	京都市(衣笠・朱雀)・滋 賀県草津市(BKC)・大分 県別府市(APU)
2011 年 7 月	1	日	第3回 東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室 定例会議	学校法人立命館	災害復興支援室	
2011 年 7 月		-	立命館小学校での募金で住吉小学校近くの書店で辞書を購入し全児童におくる。	立命館小学校		京都市(北大路)、宮城県 石巻市
2011 年 6 月	30	日	ボランティアセンター学生コーディネーター作成「ボランティア新聞」@BKC第1号発行	立命館大学	ボランティアセンター学生コーディネーター	滋賀県草津市 (BKC)
2011 年 6 月	29	_	国際平和ミュージアム特別講演第2弾「福島原発から何を学ぶか?-二度の現地調査をふまえて-」開催	立命館大学	国際平和ミュージアム	京都市 (衣笠)
2011 年 6 月	29	-	東日本大震災復興のための『私たちの提案』—教職員の取り組み受付(第1次募集)開始(~7/13)	学校法人立命館	災害復興支援室	
2011 年 6 月 2011 年 6 月	29	_	東日本大震災復興のための『私たちの提案』 — 教職員の取り組み受付第1次募集について— APUにおける「東日本大震災に関る研究推進プログラム」の募集開始(~7/15)	学校法人立命館 学校法人立命館	常任理事会 災害復興支援室	
2011 年 6 月	27~	_	学生による復興応援企画「ミンナDEカオウヤ」京都プロジェクト (~7/1) の開催	立命館大学	火告接典又接至 311+Rnet、サービスラーニングセンター	京都市(衣笠)
2011 年 6 月	24-27	日	ボランティアパスを龍谷大学と共同運行。学生22名、教職員6名が参加し岩手県下閉伊郡山田町での復 興支援活動を実施。	立命館大学	サービスラーニングセンター	岩手県下閉伊郡
2011 年 6 月	24	日	311+Rnetがボランティアパス運行キックオフイベント「スマイルエンジン山形の取り組みとこれからの復興支援について」開催。山形大学エンロールメントマネジメント平尾清教授、山形大学研究生熊谷周三氏が報告	立命館大学	311+Rnet、サービスラーニングセンター、学 生オフィス	滋賀県草津市(BKC)、山 形大学
2011 年 6 月	24	_	第3回 東日本大震災関連特別検討プロジェクト、R2020基本計画要綱への反映案を検討	学校法人立命館	東日本大震災関連特別検討プロジェクト	
2011 年 6 月	21~	_	国際平和ミュージアム写真展「東日本大震災の現場から」第2弾開催(~7/30)	立命館大学	国際平和ミュージアム	京都市(衣笠)
2011 年 6 月	21	-	災害復興支援室、東日本大震災をうけた立命館のあり方についての懇談	学校法人立命館	災害復興支援室	
2011 年 6 月	17		第2回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室定例会議 ボランティアバス「スマイルエンジン山形」コラボ企画 学生ボランティアリーダー募集を開始(~6/	学校法人立命館	災害復興支援室	京都市(衣笠)・※智母芸
2011 年 6 月	15	н	20)	立命館大学	サービスラーニングセンター	京都市(衣笠)・滋賀県草 津市(BKC)
2011 年 6 月	15	_	ボランティアバス(岩手県下閉伊郡山田町)学生参加者募集開始(~6/20)	立命館大学	サービスラーニングセンター	京都市 (衣笠) ・滋賀県草 津市 (BKC)
		日	東日本大震災特別検討プロジェクト検討状況の報告-R2020基本計画要綱への反映-	学校法人立命館	災害復興支援室/常任理事会	İ
2011 年 6 月 2011 年 6 月	15	_	311+Rnetが「いま東北に耳を傾ける(東北学院大学×立命館大学 skype交流会)」開催	立命館大学	311+Rnet、サービスラーニングセンター	衣笠·BKC·東北学院大学



2011 年 6 月	10~	日	国際平和ミュージアム写真展「地球が教室 平和にピント!世界の教え子」・「ワレラ地球人」開催(~	立命館大学	国際平和ミュージアム	京都市 (衣笠)
			6/30) 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室 定例会議、以降毎週金曜9:30~10:30で定			
2011 年 6 月	10	日	例打合せとして開催	学校法人立命館	災害復興支援室	
2011 年 6 月	9	日	災害復興支援室が国際大学からの「災害時対応についてのご検討依頼」について回答	学校法人立命館	災害復興支援室	
2011 年 6 月	6	日	震災支援情報カフェ 「311+Rnet cafe」をオープン(~7月中旬)	立命館大学	311+Rnet、サービスラーニングセンター	京都市 (衣笠)
2011 年 6 月	6	日	立命館大学における「東日本大震災に関る研究推進プログラム」募集を開始(~6/24)	立命館大学	災害復興支援室	
2011 年 6 月	6	日	災害復興支援室が復興支援活動への財政支援についての関連部課打合せ	学校法人立命館	災害復興支援室	
2011 年 6 月	4	日	立命館大学校友会が、東日本大震災復興支援特別委員会を設置	立命館大学	立命館大学校友会/常任幹事会	
2011 年 6 月	4	日	ボランティアバス「スマイルエンジン山形」プロジェクトへ職員2名がトライアル参加	立命館大学	学生オフィス/サービスラーニングセンター	山形県山形市
2011 年 6 月	3		第2回 東日本大震災関連特別検討プロジェクト	学校法人立命館	東日本大震災関連特別検討プロジェクト	
2011 年 6 月	3		災害復興支援室が東日本大震災をうけた立命館のあり方について懇談を実施	学校法人立命館	災害復興支援室	
2011 年 6 月	2		クレオテック社長との懇談を実施、寄付目録を授受	学校法人立命館	災害復興支援室	
2011 年 6 月	1		常任理事会にて、東日本大震災に関る研究推進プログラムの実施を報告	学校法人立命館	災害復興支援室/常任理事会	
2011 年 6 月	1		R2020新中期計画各委員会を開催、委員長・事務局長による懇談を実施	学校法人立命館	災害復興支援室	
2011 年 5 月	31		特別講義(都市防災工学)「東日本大震災による仙台周辺での被害調査・報告会」開催	立命館大学	歴史都市防災センター	滋賀県草津市 (BKC)
2011 年 5 月	28	日	ボランティアバス「スマイルエンジン山形」プロジェクトへ職員1名がトライアル参加	立命館大学	学生オフィス	山形県山形市
2011 年 5 月	27	日	学生2名、教職員4名が東北学院大学訪問および「大学間連携に基づく震災支援とボランティア活動」ワークショップへの参加	立命館大学	サービスラーニングセンター /災害復興支援室	
2011 年 5 月	27	日	教職員による被災学生支援金の呼びかけを開始、寄付申込書を配布。(~6/20第1次締切)	学校法人立命館	災害復興支援室	
2011 年 5 月	26	日	APUサークル18団体が「がんばれ東北のみんなーAPU Joint Student Organizations Donation」 で茶道体験イベ	APU	APUサークル18団体	大分県別府市(APU)
			ントを開催			7(3) #(3)((1) (A) (3)
2011 年 5 月	25		東日本大震災関連特別検討プロジェクト検討課題の打合せ	学校法人立命館	災害復興支援室	
2011 年 5 月	25	日	災害復興支援フォーラム第1弾 『〜被災地の現状と私たちにできること〜 現地調査報告会』 開催、51名 が参加	学校法人立命館	災害復興支援室	
2011 年 5 月	25	日	立つの前に 立の前炎害復興支援基金『被災学生支援金』への協力のお願いを公開	学校法人立命館	常任理事会	
2011 年 5 月	24	В	災害復興支援室が岩手大学にパソコン22台、プリンター3台を発送	学校法人立命館	災害復興支援室	岩手県盛岡市
2011 年 5 月	20	日	APUサークル18団体が「がんばれ東北のみんな-APU Joint Student Organizations Donation」 を開催。ゴスベル・ソウル ミニコンサート、茶道体験、グランドショーを実施。	APU	APUサークル18団体	大分県別府市 (APU)
2011 年 5 月	20		災害復興支援室教職員3名が岩手大学・岩手県立大学を訪問	学校法人立命館	災害復興支援室	岩手県盛岡市 岩手県岩手郡
2011 年 5 月	19	日	APUサークル18団体が「がんばれ東北のみんな-APU Joint Student Organizations Donation」を開催。ゴスペル・ソウル ミニコンサート、茶道体験等を実施。	APU	APUサークル18団体	大分県別府市(APU)
			tion」を開催。コスペル・ソワル ミニコンサート、糸追体験等を実施。 サービスラーニングセンターが市民(学生)にできる防災活動「京都で地震が起きた時、自分の大切な人			
2011 年 5 月	18	日	サービス ノーニング ピンダーが印氏 (子生) に できる防炎活動・京都で起展が起さた時、自分の人切な人を守るために」講演・演習を実施	立命館大学	サービスラーニングセンター	京都市(衣笠)
2011 年 5 月	17~		国際平和ミュージアムにて写真展「東日本大震災の現場から」第1弾を開催(〜6/19)	立命館大学	国際平和ミュージアム	京都市 (衣笠)
2011 年 5 月	17	日	APUサークル18団体が「がんぱれ東北のみんなーAPU Joint Student Organizations Dona-	APU	APUサークル18団体	大分県別府市(APU)
			tion」を開催。ラスティング・ライト(竹灯篭)を使った催しを実施。 災害復興支援室が生協・クレオテックと今後の連携に関する懇談を実施。	学校法人立命館		
2011 年 5 月	17				災害復興支援室	
2011 年 5 月	17	日	災害復興支援室が陸前高田市教育委員会 陸前高田古文書研究会にパソコン3台、プリンター1台発送	学校法人立命館	災害復興支援室	岩手県陸前高田市
2011 年 5 月	16	日	APUサークル18団体が「がんばれ東北のみんな-APU Joint Student Organizations Donation」にて中国獅子舞を披露。	APU	APUサークル18団体	大分県別府市(APU)
2011 年 5 月	12	日	東日本大震災関連特別検討プロジェクト・災害復興支援室打合せの実施	学校法人立命館	災害復興支援室	
2011 年 5 月	11~	日	APUサークル18団体が募金活動「がんばれ東北のみんなーAPU Joint Student Organizations Donation」を実施	APU	APUサークル18団体	大分県別府市(APU)
2011 + 3 /3		н	(~5/22) 満げ四本人にマナム館《中佐四十四廿八 /佐四 5廿八 ~55円 / 本口十十四 / 45/27 11/27		Ar 0 7 770 logge	ZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZ
2011 年 5 月	11	日	常任理事会にて立命館災害復興支援基金(復興+R基金)の設置と東日本大震災・被災学生を支援する制度 について承認	学校法人立命館	常任理事会	
2011 年 5 月	11	日	東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ。災害復興支援室の5月以降当面の進め方につき検討	学校法人立命館	常任理事会	
2011 年 5 月	10	В	サービスラーニングセンターが聴覚障害学生支援PC テイクボランティアを募集	立命館大学	サービスラーニングセンター	
2011 年 5 月	2-6		東日本大震災支援学生団体APU-NESTによるチャリティイベントの開催	APU	東日本大震災支援学生団体APU-NEST	APU/大分県別府駅
2011 + 3 73		_		74.0	水口中八級大人級 3 王国中41 0 NES	74 07 7 (73 710)3/13/91
2011 年 5 日	,	П	歴史邦市防災センターが防災矢(避難生活支援キット)50個を発送(第3回) 室城県仙台市に50個配送	立命館士學	歴中都市防災センター	安城周仙台市
2011 年 5 月	3		歴史都市防災センターが防災缶(避難生活支援キット)50個を発送(第3回) 宮城県仙台市に50個配送	立命館大学	歴史都市防災センター	宮城県仙台市 京都市(北大路)、宮城県
2011 年 5 月		日	立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージポスターを作成し、児童間の交流を開始	立命館小学校		宮城県仙台市 京都市(北大路)、宮城県 石巻市
2011 年 5 月 2011 年 4 月	3 28	日日	立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージポスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開	立命館小学校立命館大学	サービスラーニングセンター	
2011 年 5 月		日日	立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージポスターを作成し、児童間の交流を開始	立命館小学校		京都市(北大路)、宮城県 石巻市
2011 年 5 月 2011 年 4 月	28	日日日	立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージポスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館HPでの情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催	立命館小学校立命館大学	サービスラーニングセンター	京都市(北大路)、宮城県 石巻市
2011 年 5 月 2011 年 4 月 2011 年 4 月	28	日日日	立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージポスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館HPでの情報提供・交流サイト 『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 入学センター/災害復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館	サービスラーニングセンター 災害復興支援室	京都市(北大路)、宮城県 石巻市 京都市(衣笠)・滋賀県草
2011 年 5 月 2011 年 4 月 2011 年 4 月 2011 年 4 月 2011 年 4 月	28 28 27 26-27	日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージポスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館HPでの情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 入学センター/災害復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等 を訪問	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 立命館大学	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室	京都市(北大路)、宮城県 石巻市 京都市(衣笠)、滋賀県孝 津市(BKC) 宮城県仙台市/多賀城市 山形県山形市/宮城県石巻
2011 年 5 月 2011 年 4 月 2011 年 4 月 2011 年 4 月	28 28 27	B B B	立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージポスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館HPでの情報提供・交流サイト 『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 入学センター/災害復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター	京都市(北大路)、宮城県 石巻市 京都市(衣笠)・滋賀県早 津市(BKC) 宮城県仙台市/多賀城市
2011 年 5 月 2011 年 4 月 2011 年 4 月 2011 年 4 月 2011 年 4 月	28 28 27 26-27	B B B B	立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージポスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館HPでの情報提供・交流サイト 『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会 「自分たちにできる支援を考える」を開催 入学センター/災害復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等 它訪問 立命館大学が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙 台三陸沖視客 教職員3名	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 立命館大学	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 災害故郷支援室/	京都市(北大路)、宮城県 石巻市(太空)・滋賀県事 津市(BKC) 宮城県仙台市/多賀城市 山形県山形市/安城県石岩
2011 年 5 月 2011 年 4 月	28 28 27 26-27 25-27	B B B B	立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージポスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館HPでの情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 入学センター/災害復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等 立命館大学が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙 台三陸小視察 教職員3名 第2回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 歴史都市防災センターが、防災在(選難生活支援ギット)2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 災害復興支援室 サービスラーニングセンター	京都市(北大路)、宮城県 石巻市(太空)・滋賀県事 津市(BKC) 宮城県仙台市/多賀城市 山形県山形市/安城県石岩
2011 年 5 月 2011 年 4 月	28 28 27 26-27 25-27 22 21		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージポスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館中での情報提供・交流サイト 『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 入学センター/災害復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等 を訪問 立命館大学が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙 台三陸沖視察、教職員3名 第2回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 歴末市防災センター/が、防災缶(避難生活支援キット)2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500 個、宮城県女川市へ500個を配送。	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター「決害復興支援室 サービスラーニングセンター 東日本大震災期害特別検討プロジェクト 歴史都市防災センター	京都市(北大路) 宮城県 京都市(水笠)・滋賀県和 京都市(BKC) 宮城県仙山市/多賀城市 山形県山路市/宮城県石地 市/岩手県仙台市
2011 年 5 月 2011 年 4 月	28 28 27 26-27 25-27 22 21 20		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージポスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館HPでの情報提供・交流サイト 『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 入学センター/災害復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等 空が成大学が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙 台三陸沖視察 教職員3名 第2回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 歴史都市防災センターが、防災缶(避難生活支援キット)2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500 個、宮城県又川市へ500個を記送。 災害復興支援室の設置、取組み方針について決定。	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害役剛支援室 災害復興支援室 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 東日本大震災限連特別検討プロジェクト 歴史都市防災センター 常任理事会	京都市(北大路) 宮城県 京都市(水笠)・滋賀県和 京都市(BKC) 宮城県仙山市/多賀城市 山形県山路市/宮城県石地 市/岩手県仙台市
2011 年 5 月 2011 年 4 月	28 28 27 26-27 25-27 22 21 20 18		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージポスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館HPでの情報提供・交流サイト 『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 入学センター/災害復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等 古訪問 立命館大学が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙 台三陸沖視察、教職員3名 第2回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 歴史都市防災センターが、防災缶(避難生活支援キット)2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500 個、宮城県カ川市へ500個を記送。 災害復興支援室の設置、取組み方針について決定。 第13回 緊急対策連絡調整会議の実施	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 災難復興支援室/ サービスラーニングセンター 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 歴史都市防災センター 常任理事会 総務課	京都市(北大路)。宮城県 京都市(水笠)・滋賀県平 淳市(BKC) 宮城県仙台市/多賀城市 山杉県山港市/宮城県石岩 市/岩手県仙台市
2011 年 5 月 2011 年 4 月	28 28 27 26-27 25-27 22 21 20 18		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージポスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館HPでの情報提供・交流サイト 『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 入学センター/災害復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 サービスラーニングセンター 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 歴史都市防災センター 常任理事会 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト	京都市(北大路) 宮城県 京都市(水笠)・滋賀県和 京都市(BKC) 宮城県仙山市/多賀城市 山形県山路市/宮城県石地 市/岩手県仙台市
2011 年 5 月 2011 年 4 月	28 28 27 26-27 25-27 22 21 20 18 15		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージポスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館HPでの情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 入学センター/災害復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 デービスラーニングセンター 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 歴史都市防災センター 常任理事会 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター	京都市(北大路) 宮城県 京都市(水笠)・滋賀県和 京都市(BKC) 宮城県仙山市/多賀城市 山形県山路市/宮城県石地 市/岩手県仙台市
2011 年 5 月 2011 年 4 月	28 28 27 26-27 25-27 22 21 20 18 15 14		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージポスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館中での情報提供・交流サイト 『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会 「自分たちにできる支援を考える」を開催 最災支援活動報告会 「自分たちにできる支援を考える」を開催 人学センター/災害復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等 を訪問 立命館大学が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙 台三陸沖視察、教職員3名 第2回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 歴3年の大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 個、宮城県女川市へ500個を配送。 災害復興支援室の股層、取組み方針について決定。 第13回 緊急対策連絡調整会議の実施 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティアの心構えや注意事項をウェブに公開 第12回 緊急対策連絡調整会議	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 デービスラーニングセンター 実主復興支援室/サービスラーニングセンター 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 歴史都市防災センター 常任理事会 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター	京都市(北大路) 宮城県 石巻市 (玄笠) - 滋賀県早 津市 (BKC) 宮城県仙台市/多賀城市 山形県山路市/宮城県石 市/名手県仙台市 宮城県石巻市/女川市
2011 年 5 月 2011 年 4 月	28 28 27 26-27 25-27 22 21 20 18 15		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージポスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館HPでの情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 入学センター/災害復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 デービスラーニングセンター 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 歴史都市防災センター 常任理事会 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター	京都市(北大路)。宮城県 京都市(水笠)・滋賀県平 淳市(BKC) 宮城県仙台市/多賀城市 山杉県山港市/宮城県石岩 市/岩手県仙台市
2011 年 5 月 2011 年 4 月	28 28 27 26-27 25-27 22 21 20 18 15 14		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージポスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館HPでの情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 入学センター/災害復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等 空前間 立命館大学が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙台三陸沖視察、教職員3名 第2回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 歴史都市防災センターが、防災缶(避難生活支援キット)2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500 個、宮城県女川市へ500個を記送。 災害復興支援室の設置、取組み方針について決定。 第13回 緊急対策連絡調整会議の実施 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティアの心構えや注意事項をウェブに公開 第12回 緊急対策連絡調整会議 東日本大震災安全団体APU-NESTがチャリティコンサート*Quake Relief Concert(地震教済コンサー	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 デービスラーニングセンター 実主復興支援室/サービスラーニングセンター 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 歴史都市防災センター 常任理事会 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター	京都市(北大路) 宮城県 石巻市 (玄笠) - 滋賀県早 津市 (BKC) 宮城県仙台市/多賀城市 山形県山路市/宮城県石 市/名手県仙台市 宮城県石巻市/女川市
2011 年 5 月 2011 年 4 月	28 28 27 26-27 25-27 22 21 20 18 15 14 11		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージポスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館中での情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 入学センターグ、労害復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等 を訪問 立命館大学が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙台三陸沖視察 教職員3名 第2回東日本大震災職特別検討プロジェクト打合せ 歴史都市防災とソターが、防災任 (避難生活支援キット) 2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500個、宮城県女川市へ500個を配送、 災害復興支援室の設備、取組み方針について決定。 第13回 緊急対策連絡調整会議の実施 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティアの心構えや注意事項をウェブに公開 第12回 緊急対策連絡調整会議 東日本大震災支援学生団体APU-NESTがチャリティコンサート "Quake Relief Concert (地震教済コンサート) "を開催	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 APU	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 サービスラーニングセンター 東日本大震災拠差特別検討プロジェクト 歴史都市防災センター 常任理事会 総務課 東日本大震災拠差特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター 総務課 東日本大震災拠差特別検討プロジェクト	京都市(北大路) 宮城県 石巻市 (玄笠) - 滋賀県早 津市 (BKC) 宮城県仙台市/多賀城市 山形県山路市/宮城県石 市/名手県仙台市 宮城県石巻市/女川市
2011 年 5 月 2011 年 4 月	28 28 27 26-27 25-27 22 21 20 18 15 14 11 9		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージポスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館中での情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 及学センターグ、実復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等 を訪問 立命館大学が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙台三陸沖視察 教職員3名 第2回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 歴史都市防災とソターが、防災任 (避難生活支援キット) 2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500個、宮城県女川市へ500個を配送。 災害復興支援室の設備、取組み方針について決定。 第13回 緊急対策連絡調整会議の実施 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティアの心構えや注意事項をウェブに公開 第12回 緊急対策連絡調整会議 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティアの心構えや注意事項をウェブに公開 第12回 緊急対策連絡測整会議 東日本大震災関連特別検討プロジェクト)を開催 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト)を開催 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト)を開催	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 本学 学校法人立命館 本科	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 ヴービスラーニングセンター 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 歴史都市防災センター 常任理事会 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 戦務課	京都市(北大路) 宮城県 石巻市 (大笠) - 滋賀県華 津市 (BKC) - 滋賀県華 津市 (BKC) - 滋賀県華 津市 (BKC) - 滋賀県華 市 - 宮城県石 市 - 岩手県仙台市 宮城県石巻市/女川市
2011 年 5 月 2011 年 4 月	28 28 27 26-27 25-27 21 20 18 15 14 11 9 8 5		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージポスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館中での情報提供・交流サイト 『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 爰学と支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 入学センター/災害復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等を訪問 フ命館大学が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙台三陸中視察、教職員3名 第2回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 歴史都市防災センラーが、防災缶 (避難生活支援キット) 2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500個、宮城県女川市へ500個を配送。 災害復興支援をの設置、取組み方針について決定。 第13回 緊急対策連絡調整会議の実施 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティアの心構えや注意事項をウェブに公開 第12回 緊急対策連絡調整会議 東日本大震災援連特別検討プロジェクト)・客開催 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 第11回 緊急対策連絡調整会議の開催 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 第11回 緊急対策連絡調整会議の開催 生協食堂で「東北地方太平洋沖地震支援募金メニュー」の提供(~4/23)「ささみチーズフライ」と「ハンパーグ」にの付きを上集せ	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 科PU 本の館 APU 学校法人立命館 APU	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 ヴービスラーニングセンター 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 歴史都市防災センター 常任理事会 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター 総務課 東日本大震災受援学生団体APUNEST 東日本大震災受援学生団体APUNEST 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 総務課 東日本大震災受援学生団体APUNEST	京都市(北大路) 宮城県 石巻市 (衣笠) - 滋賀県卑津市 (BKC) 宮城県和台市/夕賀城市 山形県山杉市/宮城県石市 山水県山台市/安城県石市 北大分県別府市 (APU)
2011 # 5	28 28 27 26-27 25-27 21 20 18 15 14 11 9 8 5 4~		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージポスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館HPでの情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 の学センター/災害復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等 を訪問 立命館大学が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙台三陸沖視察、教職員2名 第2回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 歴史都市防災センターが、防災缶(避難生活支援キット)2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500個、宮城県女川市へ500個を配送。 災害復興支援全の設置、取組み方針について決定。 第13回 緊急対策連絡調整会議の実施 第1回 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティアの心構えや注意事項をウェブに公開 第12回 緊急対策連絡調整会議 東日本大震災支援学生団体APU-NESTがチャリティコンサート 'Quake Relief Concert (地震教済コンサート) 'を開催 第1回 東日本大震災支援学生団体APU-NESTがチャリティコンサート'Quake Relief Concert (地震教済コンサート) を開催 第1回 東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 第11回 緊急対策連絡調整会議の開催 手10両・日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 第11回 緊急対策連絡調整会議の開催 手10回 東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 第11回 緊急対策連絡調整会議の開催	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 P校法人立命館 APU 学校法人立命館 立命館大学	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/実施関東支援室 サービスラーニングセンター 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 歴史都市防災センター 常任事会 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 総務課 立命館大学生活協同組合 東日本大震災関連特別検討プロジェクト	京都市(北大路) 宫城県 石巻市 (大笠) · 滋賀県早 津市 (BKC) · 滋賀県早 津市 (BKC) · 滋賀県和 市 / 宮城県石 市 / 宮城県石 宮城県石巻市 / 女川市
2011 年 5 月 2011 年 4 月	28 28 27 26-27 25-27 21 20 18 15 14 11 9 8 5		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージポスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館HPでの情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 入学センター/災害復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等 立命館大学が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙台三陸沖視察、教職員3名 第2回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 歴史都市防災センターが、防災缶(避難生活支援キット)2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500個、宮城県切川市へ500個を記送。 災害復興支援室の設置、取組み方針について決定。 第13回 緊急対策連絡調整会議の実施 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティアの心構えや注意事項をウェブに公開 第11回 緊急対策連絡調整会議。東日本大震災関連特別検討プロジェクト 第11回 緊急対策連絡調整会議。東日本大震災支援学生団体APUNESTがチャリティコンサート。Quake Relief Concert (地震救済コンサート)・空開催 第11回 緊急対策連絡調整会議の開催 生協食堂で「東北地方太平洋沖地震支援募金メニュー」の提供(~4/23)「ささみチーズフライ」と「ハンパーグ」に10円を上単せ 東日本大震災財連を割割整会議の開催 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方 文化財被災地図を公開	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 科PU 本の館 APU 学校法人立命館 APU	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 ヴービスラーニングセンター 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 歴史都市防災センター 常任理事会 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター 総務課 東日本大震災受援学生団体APUNEST 東日本大震災受援学生団体APUNEST 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 総務課 東日本大震災受援学生団体APUNEST	京都市(北大路) 宫城県 石巻市 (玄笠) · 滋興県早 津市 (BKC) 宮城県仙台市/宮城県石 市/宮城県石 市/宮城県石 市/宮城県石 市/安川市 宮城県石巻市/女川市 京城県石巻市/女川市 京城県石巻市/女川市 東市 (BKC) 京都市 (本笠) · 滋賀県早 APU/大分県別府駅
2011 # 5	28 28 27 26-27 25-27 21 20 18 15 14 11 9 8 5 4~		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージポスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館HPでの情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 入学センター/災害復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等 立命館大学が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙台三陸沖視察、教職員3名 第2回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 歴史都市防災センターが、防災缶(避難生活支援キット)2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500個、宮城県切川市へ500個を記送。 災害復興支援室の設置、取組み方針について決定。 第13回 緊急対策連絡調整会議の実施 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティアの心構えや注意事項をウェブに公開 第11回 緊急対策連絡調整会議。東日本大震災関連特別検討プロジェクト 第11回 緊急対策連絡調整会議。東日本大震災支援学生団体APUNESTがチャリティコンサート。Quake Relief Concert (地震救済コンサート)・空開催 第11回 緊急対策連絡調整会議の開催 生協食堂で「東北地方太平洋沖地震支援募金メニュー」の提供(~4/23)「ささみチーズフライ」と「ハンパーグ」に10円を上単せ 東日本大震災財連を割割整会議の開催 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方 文化財被災地図を公開	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 P校法人立命館 APU 学校法人立命館 立命館大学	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 サービスラーニングセンター 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 歴史都市防災センター 常任事会 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 総務課 立命館大学生活協同組合 東日本大震災関連特別検討プロジェクト	京都市(北大路) 宮城県 石巻市 (衣笠) - 滋賀県卑津市 (BKC) 宮城県和台市/夕賀城市 山形県山杉市/宮城県石市 山水県山台市/安城県石市 北大分県別府市 (APU)
2011 F 5 7 2011 F 4 7 2011 F	28 28 27 26-27 22 21 20 18 15 14 11 9 8 5 4~ 1-2 1		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージポスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館HPでの情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 の学センター/災害復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等 を訪問 立命館大学が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙台三陸沖視察、教職員2名 第2回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 歴史都市防災センターが、防災缶(避難生活支援キット)2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500個、宮城県女川市へ500個を配送。 災害復興支援全の設置、取組み方針について決定。 第13回 緊急対策連絡調整会議の実施 第1回 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティアの心構えや注意事項をウェブに公開 第12回 緊急対策連絡調整会議 東日本大震災支援学生団体APU-NESTがチャリティコンサート 'Quake Relief Concert (地震教済コンサート) 'を開催 第1回 東日本大震災支援学生団体APU-NESTがチャリティコンサート'Quake Relief Concert (地震教済コンサート) を開催 第1回 東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 第11回 緊急対策連絡調整会議の開催 手10両・日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 第11回 緊急対策連絡調整会議の開催 手10回 東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 第11回 緊急対策連絡調整会議の開催	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 APU 学校法人立命館 立命館大学	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 リービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 リービスラーニングセンター 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 歴史都市防災センター 常任理事会 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト ・ 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト ・ 総務課 ・ 立命館大学生活協同組合 東日本大震災関連特別検討プロジェクト ・ 総務課 ・ 立命館大学生活協同組合 ・ 東日本大震災関連特別検討プロジェクト ・ 総務課 ・ 立命館大学生活協同組合 ・ 東日本大震災支援学生団体APUNEST ・ 歴史都市防災センター	京都市(北大路) 宫城県 石巻市 (玄笠) · 滋興県早 津市 (BKC) 宮城県仙台市/宮城県石 市/宮城県石 市/宮城県石 市/宮城県石 市/安川市 宮城県石巻市/女川市 京城県石巻市/女川市 京城県石巻市/女川市 東市 (BKC) 京都市 (本笠) · 滋賀県早 APU/大分県別府駅
2011 F 5 7 2011 F 4 7 7 7 7 7 7 7 7 7	28 28 27 26-27 22 21 20 18 15 14 11 9 8 5 4~ 1-2		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージボスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館HPでの情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 人学センター/災害復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等 を訪問 立命館大学が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙台三陸中視察、教職員3名 第2回 東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 歴史都市防災センターが、防災缶(避難生活支援キット)2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500個、宮城県以間かへ500個を記送。 災害復興支援室の設置、取組み方針について決定。 第13回 緊急対策連絡調整会議の実施 第1回 緊急対策連絡調整会議の実施 第1回 緊急対策連絡調整会議の実施 第1回 緊急対策連絡調整会議 東日本大震災支援学生団体APU-NESTがチャリティコンサート 'Quake Relief Concert (地震教済コンサート) 'を開催 第1回 緊急対策連絡調整会議 東日本大震災支援学生団体APU-NESTがチャリティコンサート)で側備 第1回 緊急対策連絡調整会議の開催 生協食堂で「東北地方太平洋洋地震支援募金メニュー」の提供(~4/23) 「ささみチーズフライ」と「ハンパーグ」にの旧径上集せ 東日本大震災支援学生団体APU-NESTがチャリティイベントを開催 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方 文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方 文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、防災缶「BOUSA」(遊難年により20個、福島大学遊難所に200個を送付。 東日本大震災に関わる教職員からの意見・提言募集開始 (~4/7)	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 立命館大学 本PU 立命館大学 在PU 立命館大学 立命館大学	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター / 漢書復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター / 漢書復興支援室 サービスラーニングセンター 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 歴史都市防災センター 常任事会 現務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 総務課 立命館大学生活協同組合 東日本大震災支援学生団体APUNEST 歴史都市防災センター 歴史都市防災センター	京都市(女党) · 蓝鲷県年 京都市 (女党) · 蓝鲷県早 津市 (BKC) 宮城県仙台市/多貿城市 山形県川形市/宮城県石 市/玄手県仙台市 宮城県石巻市/女川市 京城県石巻市/女川市
2011 F 5 7 2011 F 4 7 2011 F 7 7 7 7 7 7 7 7 7	28 28 27 26-27 25-27 22 21 20 18 15 14 11 9 8 5 4~ 1-2 1 1 3 1 3		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージポスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館+Pでの情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 火学センター/災害復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等 を訪問 立命館大学が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙台三陸沖視察 教職員2名 第2回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 歴史都市防災センターが、防災缶 (避難生活支援キット) 2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500個、宮城県女川市へ500個を配送。 災害復興支援を動設置、取組み方針について決定。 第13回 緊急対策連絡調整会議の実施 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 第12回 緊急対策連絡調整会議の実施 第11回 緊急対策連絡調整会議の実施 第12回 緊急対策連絡調整会議 東日本大震災支援学生団体APU-NESTがチャリティコンサート 'Quake Relief Concert (地震教済コンサート) 'を開催 第1回 駅急対策連絡調整会議の開催 生協食堂で「東北地方大平洋沖地震支援募金メニュー」の提供 (~4/23) 「ささみチーズフライ」と「ハンパーグ」にの17セミサーが、東日本大震災支援学生団体APU-NESTがチャリティイベントを開催 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方、文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方、文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方、文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方、文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、東日本大震災に関わる祭職員が5日3号、提覧撃圧下と200個を送付。東日本大震災に関わる祭職員からの実施	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 APU 立命館大学 立命館大学 立命館大学 本科	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 リービスラーニングセンター 入学センター「大き程関東支援室 リービスラーニングセンター 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 地路課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト ・ 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト ・ 総務課 立命館大学生活協同組合 東日本大震災関連特別検討プロジェクト ・ 総務課 立命館大学生活協同組合 東日本大震災更速学生団体APUNEST 歴史都市防災センター 歴史都市防災センター 総合企画課 総務課	京都市(女党) · 蓝鲷県年 京都市 (女党) · 蓝鲷県早 津市 (BKC) 宮城県仙台市/多貿城市 山形県川形市/宮城県石 市/玄手県仙台市 宮城県石巻市/女川市 京城県石巻市/女川市
2011 F 5 8 1 2011 F 4 8 8 1 2011 F 4 8 1 2011 F 3 8 1 2011 7 2011 2011 7 2011 2011 2011 2011 2011 2011 2011 2011 2011 2	28 28 27 26-27 25-27 22 21 20 18 15 14 11 9 8 5 4~ 1-2 1		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージポスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館HPでの情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 人学センター/災害復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等 を訪問 立命館大学が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙台三陸中視察、教職員2名 第2回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 歴史都市防災センターが、防災缶(避難生活支援キット)2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500個、宮城県切旧から500個を配送。 災害復興支援室の設置、取組み方針について決定。 第13回 緊急対策連絡副整会議の実施 第1回 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 災害復興支援医動を予定する在学生に対し、ボランティアの心構えや注意事項をウェブに公開 第12回 緊急対策連絡副整会議の実施 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティアの心構えや注意事項をウェブに公開 第11回 緊急対策連絡副整会議 東日本大震災支援学生団体APU-NESTがチャリティコンサート "Quake Relief Concert (地震教済コンサート)"を開催 歴史都市防災センターが、東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 第11回 緊急対策連絡副整会議の開催 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方 文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方 文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方 文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方 文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方 文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方 文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、東日本大震災に対る教職員からの意見・提言募集開始(~4/7) 第10回 緊急対策連絡副整会議の実施 東日本大震災に関わる教職員からの意見・提言募集開始(~4/7) 第10回 緊急対策連絡副整会議の実施 東日本大震災限計の移動で表え方等の整理・具体化に向けた検討を、R2020へ反映。	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 特技法人立命館 APU 立命館大学 立命館大学 本科U 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 リービスラーニングセンター 入学センター「大き 直側東支援室 リービスラーニングセンター 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 歴史都市防災センター 常任理事会 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト ・ 総務課 立命館大学生活協同組合 東日本大震災更速学生団体APUNEST 歴史都市防災センター 歴史都市防災センター 総合企画課 総務課 常任理事会	京都市(女党) · 蓝鲷県年 京都市 (女党) · 蓝鲷県早 津市 (BKC) 宮城県仙台市/多貿城市 山形県川形市/宮城県石 市/玄手県仙台市 宮城県石巻市/女川市 京城県石巻市/女川市
2011 F 5 7 2011 F 4 7 2011 F 7 7 7 7 7 7 7 7 7	28 28 27 26-27 25-27 22 21 20 18 15 14 11 9 8 5 4~ 1-2 1 1 3 1 3		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージボスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館中での情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 入学センターグ、書復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等を訪問 立命館大学が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙台三陸沖視察 教職員3名 第2回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 歴史都市防災とソフーが、防災任 (避難生活支援キット) 2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500個、宮城県女川市へ500個を配送。 災害復興支援室砂設置、取組み方針について決定。 第13回 緊急対策連絡調整会議の実施 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティアの心構えや注意事項をウェブに公開 第13回 緊急対策連絡調整会議 東日本大震災関連特別検討プロジェクト ジ書復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティアの心構えや注意事項をウェブに公開 第12回 緊急対策連絡調整会議 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 対応の事業が実施を発展で「東北地方太平洋沖地震支援募金メニュー」の提供(~4/23) 「ささみチーズフライ」と「ハンパーグ」に10円在上集せ 東日本大震災支援学生団体APU-NESTがチャリティイベントを開催 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方 文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方 文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方 文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方 文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、東日のと教養人工・宮城県内避難所に1,200個、福島大学遊離所に200個を送付。 東日本大震災関連特別検討プロジェクトの設置。立命館としての復興・再建への支援活動の考え方等の整理・具体化に向けた後対法、R2020~反映。	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 APU 立命館大学 立命館大学 立命館大学 本科	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 リービスラーニングセンター 入学センター「大き程関東支援室 リービスラーニングセンター 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 地路課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト ・ 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト ・ 総務課 立命館大学生活協同組合 東日本大震災関連特別検討プロジェクト ・ 総務課 立命館大学生活協同組合 東日本大震災更速学生団体APUNEST 歴史都市防災センター 歴史都市防災センター 総合企画課 総務課	京都市(女党) · 蓝鲷県年 京都市 (女党) · 蓝鲷県早 津市 (BKC) 宮城県仙台市/多貿城市 山形県川形市/宮城県石 市/玄手県仙台市 宮城県石巻市/女川市 京城県石巻市/女川市
2011 F 5 8 1 2011 F 4 8 8 1 2011 F 4 8 1 2011 F 3 8 1 2011 7 2011 2011 7 2011 2011 2011 2011 2011 2011 2011 2011 2011 2	28 28 27 26-27 25-27 22 21 20 18 15 14 11 9 8 5 4~ 1-2 1 1 31 31 30		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージボスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館+Pでの情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 災等と対象・「会議の事態を表現を考える」を開催 災等を表現を表現を表現を表える」を開催 災害の場立を表現を表える」を開催 のいた。「会議の事態を表現を表える」を開催 といるのは大学や包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙台三陸沖視察、教職員2名 第2回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 歴史都市防災センターが、防災在「避難生活支援キット)2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500個、宮城県女川市へ500個を配送。 災害復興支援全の設置、取組み方針について決定。 第13回 緊急対策連絡調整会議の実施 第11回 累急対策連絡調整会議の実施 第11回 緊急対策連絡調整会議の実施 第12回 緊急対策連絡調整会議 東日本大震災支援学生団体APU-NESTがチャリティコンサート "Quake Relief Concert (地震教済コンサート) "を開催 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 第11回 緊急対策連絡調整会議の開催 生協食堂で「東北地方太平洋沖地震支援募金メニュー」の提供(~4/23)「ささみチーズフライ」と「ハンパーグ」にの10年と集せ 東日本大震災医学生団体APU-NESTがチャリティイベントを開催 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方 文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、東日本大震災に関わる教験員からの意場、提言募集用始(~4/7) 第10回 緊急対策連絡調整会議の実施 東日本大震災に関わる教験員からの意地 東日本大震災に関わる教験員からの意地 東日本大震災に関わる教験員からの意地 東日本大震災に関わる教験員からの意地 東日本大震災に関わる教験員からの意地 東日本大震災に関わる教験員からの意か。立命館としての復興・再建への支援活動の考え方等の整理・見解と同じ、アランディア活動に関わる教学上の取り扱いについての案内 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動に関わる教学上の取り扱いについての案内 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動に関わる教学上の取り扱いについての案内	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 特技法人立命館 APU 立命館大学 立命館大学 本科U 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 リービスラーニングセンター 入学センター「大き 直側東支援室 リービスラーニングセンター 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 歴史都市防災センター 常任理事会 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト ・ 総務課 立命館大学生活協同組合 東日本大震災更速学生団体APUNEST 歴史都市防災センター 歴史都市防災センター 総合企画課 総務課 常任理事会	京都市(女党) · 蓝鲷県年 京都市 (女党) · 蓝鲷県早 津市 (BKC) 宮城県仙台市/多貿城市 山形県川形市/宮城県石 市/玄手県仙台市 宮城県石巻市/女川市 京城県石巻市/女川市
2011 F 5 8 1 2011 F 4 8 1 2011 F 3 8 1 2011 7 2011 2011 7 2011 7 2011 2011 2011 2011 2011 2011 2011 2011	28 28 27 26-27 25-27 22 21 20 18 15 14 11 9 8 5 4~ 1-2 1 1 1 31 30 28 27		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージボスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館中での情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 人学センターグ、実復興支援室教験員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等 を訪問 立の館人学が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙台三陸沖視察 教職員3名 第2回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 歴史都市防災センターが、防災任 (避難生活支援キット) 2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500個、宮城県女川市へ500個を配送、 災害復興支援室の設閣、取組み方針について決定。 第13回 緊急対策連絡測整会議の実施 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティアの心構えや注意事項をウェブに公開 第12回 緊急対策連絡測整会議 東日本大震災支援学生団体APU-NESTがチャリティコンサート "Quake Relief Concert (地震教済コンサート)を開催 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 第1回東日本大震災東陸等国体APU-NESTがチャリティイベントを開催 歴史都市防災センターが、防災年「房のUSA」(経難生活支援キャト)3000個祭送 第1回) 歴史都市防災センターが、防災年「房のUSA」(経難生活支援キャト)3000個祭送 第1回) 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方 文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、防災年「房のUSA」(経難生活支援キャト)3000個祭送 第1回) 福島県内避難所に1,600個、岩手県・宮城県内避難所に1,200個、福島大学連邦所に200個を送付。 東日本大震災に関わる教験員からの意見、建言募集開始(~4/7) 第10回 緊急対策連絡調整会議の実施 東日本大震災に関わる教験員からの意見、進言募集開始(~4/7) 第10回 緊急対策連絡調整会議の実施 東日本大震災に関わる教験員からの意見、進言募集開始(~4/7)	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 APU 立命館大学 和PU 立命館大学 対応法人立命館 立命館大学 本PU 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 本PU 立命館大学 立命館大学 立命館大学	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 サービスラーニングセンター 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 電生都市防災センター 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 財務課 立命館大学生活協同組合 東日本大震災支援学生団体APUNEST 歴史都市防災センター 歴史都市防災センター 歴史都市防災センター 総合企画課 総務課 常任理事会 総務課	京都市(女党) · 蓝鲷県年 京都市 (女党) · 蓝鲷県早 津市 (BKC) 宮城県仙台市/多貿城市 山形県川形市/宮城県石 市/玄手県仙台市 宮城県石巻市/女川市 京城県石巻市/女川市
2011 F 5 7 1 2011 F 4 7 7 7 7 7 7 7 7 7	28 28 27 26-27 25-27 21 20 18 15 14 11 11 9 8 5 4~ 1-2 1 1 1 31 31 30 28 27 24		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージボスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館中での情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 長学センターグ、実復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等 を訪問 立命館大学が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙台三陸沖視察 教職員3名 第2回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 歴史都市防災センターが、防災任 (避難生活支援キット) 2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500個、宮城県女川市へ500個を配送、 災害復興支援室の設備、収組み方針について決定。 第13回 緊急対策連絡調整会議の実施 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティアの心構えや注意事項をウェブに公開 第12回 緊急対策連絡調整会議の実施 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト)を開催 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 打合せ 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 打合せ 第1回東日本大震災東連等開発会議の開催 生協食堂で「東北地方太平洋沖地震支援募金メニュー」の提供(~4/23)「ささみチーズフライ」と「ハンパーグ」に10円を上乗せ 乗日本大震災東地的大平洋沖地震支援募金メニュー」の提供(~4/23)「ささみチーズフライ」と「ハンパーグ」に10円を上乗せ 乗日本大震災東世間体APU-NESTがチャリティイベントを開催 歴史都市防災センターが、防災年「16045A」(凝難生活支援キット)3000個発送(第1回) 福島県内避難所に1,500個、老手県・宮城県内避難所に1,200個、福島大学連邦所に200個を送付。東日本大震災に関わる教職員から愈急」提言募集開始(~4/7) 第10回 緊急対策連絡調整会議の実施 東日本大震災に関わる教職員から愈急」提言募集開始(~4/7) 第10回 緊急対策連絡調整会議の実施 第9回 緊急対策連絡調整会議を実施 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動に関わる教学上の取り扱いについての案内 を掲載	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 本PU 校法人立命館 APU 立命館大学 本PU 立命館大学 なの館大学 学校法人立命館 なの館大学 学校法人立命館 なの館大学	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 リービスラーニングセンター 入学センター「大き 庭側支援室 リービスラーニングセンター 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 地路課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト ・ 総務課 立命館大学生活協同組合 東日本大震災関連特別検討プロジェクト ・ 総務課 立命館大学生活協同組合 東日本大震災関連特別検討プロジェクト ・ 総務課 ・ 空間で表現で表現で表現で表現で表現で表現で表現で表現で表現で表現で表現で表現で表現で	京都市(北大路) 密城県 石巻市 (水笠) · 滋賀県早 淳市 (8KC) - 滋賀県早 淳市 (8KC) - 滋賀県早 市市 (8KC) - 宮城県山台市 夕賀城市 市 一名手県仙台市 宮城県石巻市/女川市 京城県石巻市/女川市 大分県別府市 (APU) 京都市 (8KC) - 滋賀県早 和アレ/大分県別府駅 福島県、岩手県、高城県 瀬瀬所/福島大子遊難所
2011 F 5 7 1 2011 F 4 7 7 2011 F 4 7 7 2011 F 4 7 7 2011 F 4 7 2011 F 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7	28 28 27 26-27 22 21 20 18 11 14 111 9 8 5 4~ 1-2 1 1 31 31 30 28 27 24 23		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージボスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館中での情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 及学センターグ、実復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等を訪問 立命館大学が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙台三陸沖視察 剱職員3名 第2回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 歴史都市防災センターが、防災行 (避難生活支援キット) 2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500個、宮城県女川市へ500個を配送。 災害復興支援空の股電、取組み方針について決定。 第13回 緊急対策連絡調整会議の実施 第10回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティアの心構えや注意事項をウェブに公開 第12回 緊急対策連絡調整会議 東日本大震災関連特別検討プロジェクト ジ・管開催 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 対・管開作 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 対・管開作 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト が、宇田本大震災関連特別検討プロジェクト が、空間へ 第11回 緊急対策連絡調整会議の実施 第11回 緊急対策連絡調整会議の実施 第11回 緊急対策連絡調整会議の関催 生協会管で「東北地方大学沖地震支援募金メニュー」の提供(~4/23)「ささみチーズフライ」と「ハンバーグ」に10円を上集せ 東日本大震災関連を関ルに55がチャリティイベントを開催 歴史都市防災センターが、東日本本大震災による東北地方 文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、原文とよりによる東北地方 文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、原文とよりによりまり表別の通常、第1回回 歴史都市防災センターが、防災在「自2004人」 第1回 東日本大震災関連特別検討プロジェクトの設置。立命館としての復興・再建への支援活動の考え方等の整理ト具体化に向けた検討を、R2020~反映。 第1回 緊急対策連絡調整会議を実施 第2年の緊急対策連絡調整会議を実施 第2日 緊急対策連絡調整会議を実施	立命館小字校 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 李校法人立命館 APU 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター 入学センター 大学センター 大学センター 東日本大震災販差特別検討プロジェクト 歴史都市防災センター 常任理事会 総務課 東日本大震災販差特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター 総務課 東日本大震災販差特別検討プロジェクト リービスラーニングセンター 総務課 東日本大震災販差特別検討プロジェクト 総務課 東日本大震災販差特別検討プロジェクト 総務課 立命館大学生活協同組合 東日本大震災更変学生団体APUNEST 歴史都市防災センター 歴史都市防災センター 総合企画課 総務課 常任理事会 総務課 サービスラーニングセンター 総務課	京都市(北大路) 密城県 石巻市 (水笠) · 滋賀県早 淳市 (8KC) - 滋賀県早 淳市 (8KC) - 滋賀県早 市市 (8KC) - 宮城県山台市 夕賀城市 市 一名手県仙台市 宮城県石巻市/女川市 京城県石巻市/女川市 大分県別府市 (APU) 京都市 (8KC) - 滋賀県早 和アレ/大分県別府駅 福島県、岩手県、高城県 瀬瀬所/福島大子遊難所
2011 F 5 8 1 2011 F 4 8 1 2011 F 3 8 3 2011 F 3 3 3 2011 F 3 3 3 3 3 3 3 3 3	28 28 27 26-27 22 21 20 18 15 14 11 9 8 5 4~ 1-2 1 1 1 1 1 3 1 3 3 3 2 8 2 7 2 7 2 7 2 7 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージボスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館中での情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 み学センターグ、実復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等を訪問 フ命館大学が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙台三陸中視察、教職員3名 第2回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 歴史都市防災と以関連が防災在・延難生活支援キット)2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500個、宮城県女川市へ500個を配送。 災害復興支援空砂設置、取組み方針について決定。 第13回 緊急対策連絡調整会議の実施 第1回東日本大震災支援学生団体APU-NESTがチャリティコンサート"Quake Relief Concert (地震救済コンサート)を開催 第1回 東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 第11回 緊急対策連絡調整会議の開催 生協食堂で「東北地方太平洋沖地震支援募金メニュー」の提供(~4/23)「ささみチーズフライ」と「ハンパーグ」に10寸を上集性 東日本大震災度学生団体APU-NESTがチャリティイベントを開催 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方、文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、原文日本大震災による東北地方、文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、原び日本大震災による東北地方、文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、原び日本大震災による東北地方、文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、原び日本大震災による東北地方、文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、原び日、富城県内遊難所に1,200個、福島大学遊贈所に200個を送付。 東日本大震災に関わる教職員からの意見、提言募集開始(~4/7) 第10回 緊急対策連絡調整会議の実施 東日本大震災に関わる教学上の取り扱いについての案内を掲載 東日本大震災に関わる教育連絡調整会議の実施	立命館小字校 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 APU 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 文命館大学 学校法人立命館 文命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 文帝 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 サービスラーニングセンター 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 歴史都市防災センター 常任理事会 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター 総務課 東日本大震災受援学生団体APUNEST 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 総務課 立命館大学生活協同組合 東日本大震災支援学生団体APUNEST 歴史都市防災センター 歴史都市防災センター 歴史都市防災センター 総合企画課 総務課 常任理事会 総務課 サービスラーニングセンター 総務課	京都市(北大路) 密城県 石巻市 (水笠) · 滋賀県早 淳市 (8KC) - 滋賀県早 淳市 (8KC) - 滋賀県早 市市 (8KC) - 宮城県山台市 夕賀城市 市 一名手県仙台市 宮城県石巻市/女川市 京城県石巻市/女川市 大分県別府市 (APU) 京都市 (8KC) - 滋賀県早 和アレ/大分県別府駅 福島県、岩手県、高城県 瀬瀬所/福島大子遊難所
2011 F 5 8 1 2011 F 4 8 8 1 2011 F 4 8 1 2011 F 3 8 1 2011 7	28 28 27 26-27 22 21 20 18 5 5 4 ~ 1 2 1 1 31 31 30 28 27 24 23 22 18		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージボスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館中での情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 火学センター/災害復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等 を訪問 立命館大学が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙台三陸沖視察 教職員3名 第2回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 歴史都市防災センターが、防災缶(避難生活支援キット)2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500個、宮城県女川市へ500個を配送。 災害復興支援空の設置、取組み方針について決定。 第13回 緊急対策連絡調整会議の実施 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティアの心構えや注意事項をウェブに公開 第12回 緊急対策連絡調整会議 東日本大震災支援学生団体APP-NESTがチャリティコンサート・Quake Relief Concert (地震救済コンサート)を開催 第1回東日本大震災支援学生団体APP-NESTがチャリティイベントを開催 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方、文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方、文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、原以本により東日本大震災支援学生団体APP-NESTがチャリティイベントを開催 歴史都市防災センターが、原以本・展災による東北地方、文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、防災缶、背のUSAI」(滋難生活支援キット)3,000個条送(第1回)福島県内避難所に1,600個、若手県・宮城県内避難所に1,200個、福島大学避難所に200個を送付。東日本大震災に関わる教験員からの意見・提言募集開始(〜4/7) 第10回 緊急対策連絡調整会議の実施 東日本大震災関連特別対立ジェクトの設置。立命館としての復興・再建への支援活動の考え方等の整理・具体化に向けた検討を、R2020~反映。 第19回 緊急対策連絡調整会議の実施 第19回 緊急対策連絡調整会議の実施 第19回 緊急対策連絡調整会議を実施 デ治中高生徒会・5日、コース生徒・卒業生が募金活動を実施	立命館小平校 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 李校法人立命館 APU 立命館大学 学校法人立命館 本PU 立命館大学 学校法人立命館 2 学校法人立命館 中校法人立命館 文章校法人立命館 文章校法人立命館 中校法人立命館 学校法人立命館 文章校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立今	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 サービスラーニングセンター 東日本大震災限益特別検討プロジェクト 歴史都市防災センター 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター 総務課 東日本大震災支援学生団体APUNEST 東日本大震災支援学生団体APUNEST 歴史都市防災センター 歴史都市防災センター 歴史都市防災センター 総合企画課 総務課 常任理事会 総務課 サービスラーニングセンター 総務課 サービスラーニングセンター	京都市(北大路) 密城県 石巻市 (水笠) · 滋賀県早 淳市 (8KC) - 滋賀県早 淳市 (8KC) - 滋賀県早 市市 (8KC) - 宮城県山台市 夕賀城市 市 一名手県仙台市 宮城県石巻市/女川市 京城県石巻市/女川市 大分県別府市 (APU) 京都市 (8KC) - 滋賀県早 和アレ/大分県別府駅 福島県、岩手県、高城県 瀬瀬所/福島大子遊難所
2011 # 5 8 8 1 1 1 1 1 1 1 1	28 28 27 26-27 22 21 20 18 15 14 11 9 8 5 4~ 1-2 1 1 31 31 30 28 27 24 23 22 18		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージポスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館+Pでの情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 災力・受害復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等 を訪問 立命館大学が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙台三陸沖視察、教職員2名 第2回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 歴史都市防災センターが、防災在「避難生活支援キット)2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500個、宮城県女川市へ500個を配送。 災害復興支援室の設置、取組み方針について決定。 第13回 緊急対策連絡調整会議の実施 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティアの心構えや注意事項をウェブに公開 第12回 緊急対策連絡調整会議 東日本大震災支援学生団体APU-NESTがチャリティコンサート 'Quake Relief Concert (地震教済コンサート) 'を開催 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 第11回 緊急対策連絡調整会議の開催 生協食堂で「東北地方太平洋沖地震支援募金メニュー」の提供(~4/23)「ささみチーズフライ」と「ハンパーグ」にの10年主集せ 東日本大震災支援学生団体APU-NESTがチャリティイベントを開催 歴史都市防災センターが、原日本大震災による東北地方 文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、防災年160以系は「後継生活支援キット)3,000個発送(第1回) 組島県内避難所に1,600個、岩手県・宮城県内避難所に1,200個、岩島大学避難所に2,00個を送付。東日本大震災に関わる教験員からの意見・提言募集開始(~4/7) 第10回 緊急対策連絡調整会議を実施 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動に関わる教学上の取り扱いについての案内を掲載 緊急対策連絡調整会議を実施 第1回 緊急対策連絡調整会議を実施 第1回 緊急対策連絡調整会議を実施	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 APU 学校法人立命館 立命館大学 本PU 立命館大学 学校法人立命館 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター「決害復興支援室 リービスラーニングセンター 入学センター「決害復興支援室 リービスラーニングセンター 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 歴史都市防災センター 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サビスラーニングセンター 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 地務課 立命館大学生活協同組合 東日本大震災更速学生団体APUNEST 歴史都市防災センター 歴史都市防災センター 歴史都市防災センター 総合企画課 総務課 常任理事会 総務課 サービスラーニングセンター 総務課	京都市(北大路) 密城県 石巻市 (水笠) · 滋賀県早 淳市 (8KC) - 滋賀県早 淳市 (8KC) - 滋賀県早 市市 (8KC) - 宮城県山台市 夕賀城市 市 一名手県仙台市 宮城県石巻市/女川市 京城県石巻市/女川市 大分県別府市 (APU) 京都市 (8KC) - 滋賀県早 和アレ/大分県別府駅 福島県、岩手県、高城県 瀬瀬所/福島大子遊難所
2011 F 5 8 1 2011 F 4 8 8 1 2011 F 4 8 1 2011 F 3 8 1 2011 7	28 28 27 26-27 22 21 20 18 5 5 4 ~ 1 2 1 1 31 31 30 28 27 24 23 22 18		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージボスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館中での情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 火学センター/災害復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等 を訪問 立命館大学が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙台三陸沖視察 教職員3名 第2回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 歴史都市防災センターが、防災缶(避難生活支援キット)2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500個、宮城県女川市へ500個を配送。 災害復興支援空の設置、取組み方針について決定。 第13回 緊急対策連絡調整会議の実施 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティアの心構えや注意事項をウェブに公開 第12回 緊急対策連絡調整会議 東日本大震災支援学生団体APP-NESTがチャリティコンサート・Quake Relief Concert (地震救済コンサート)を開催 第1回東日本大震災支援学生団体APP-NESTがチャリティイベントを開催 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方、文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方、文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、原以本により東日本大震災支援学生団体APP-NESTがチャリティイベントを開催 歴史都市防災センターが、原以本・展災による東北地方、文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、防災缶、背のUSAI」(滋難生活支援キット)3,000個条送(第1回)福島県内避難所に1,600個、若手県・宮城県内避難所に1,200個、福島大学避難所に200個を送付。東日本大震災に関わる教験員からの意見・提言募集開始(〜4/7) 第10回 緊急対策連絡調整会議の実施 東日本大震災関連特別対立ジェクトの設置。立命館としての復興・再建への支援活動の考え方等の整理・具体化に向けた検討を、R2020~反映。 第19回 緊急対策連絡調整会議の実施 第19回 緊急対策連絡調整会議の実施 第19回 緊急対策連絡調整会議を実施 デ治中高生徒会・5日、コース生徒・卒業生が募金活動を実施	立命館小平校 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 李校法人立命館 APU 立命館大学 学校法人立命館 本PU 立命館大学 学校法人立命館 2 学校法人立命館 中校法人立命館 文章校法人立命館 文章校法人立命館 中校法人立命館 学校法人立命館 文章校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立今	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 サービスラーニングセンター 東日本大震災限益特別検討プロジェクト 歴史都市防災センター 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター 総務課 東日本大震災支援学生団体APUNEST 東日本大震災支援学生団体APUNEST 歴史都市防災センター 歴史都市防災センター 歴史都市防災センター 総合企画課 総務課 常任理事会 総務課 サービスラーニングセンター 総務課 サービスラーニングセンター	京都市(北大路) 密城県 石巻市 (水笠) · 滋賀県早 淳市 (8KC) - 滋賀県早 淳市 (8KC) - 滋賀県早 市市 (8KC) - 宮城県山台市 夕賀城市 市 一名手県仙台市 宮城県石巻市/女川市 京城県石巻市/女川市 大分県別府市 (APU) 京都市 (8KC) - 滋賀県早 和アレ/大分県別府駅 福島県、岩手県、高城県 瀬瀬所/福島大子遊難所
2011 F 5 7 2011 F 4 7 7 2011 F 3 3 2011 F 3 3 3 2011 F 3 3 3 3 3 3 3 3 3	28 28 27 26-27 22 21 20 18 15 14 11 9 8 5 4~ 1-2 1 1 31 31 30 28 27 24 23 22 18		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージポスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館+Pでの情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 災力・受害復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等 を訪問 立命館大学が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙台三陸沖視察、教職員2名 第2回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 歴史都市防災センターが、防災在「避難生活支援キット)2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500個、宮城県女川市へ500個を配送。 災害復興支援室の設置、取組み方針について決定。 第13回 緊急対策連絡調整会議の実施 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティアの心構えや注意事項をウェブに公開 第12回 緊急対策連絡調整会議 東日本大震災支援学生団体APU-NESTがチャリティコンサート 'Quake Relief Concert (地震教済コンサート) 'を開催 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 第11回 緊急対策連絡調整会議の開催 生協食堂で「東北地方太平洋沖地震支援募金メニュー」の提供(~4/23)「ささみチーズフライ」と「ハンパーグ」にの10年主集せ 東日本大震災支援学生団体APU-NESTがチャリティイベントを開催 歴史都市防災センターが、原日本大震災による東北地方 文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、防災年160以系は「後継生活支援キット)3,000個発送(第1回) 組島県内避難所に1,600個、岩手県・宮城県内避難所に1,200個、岩島大学避難所に2,00個を送付。東日本大震災に関わる教験員からの意見・提言募集開始(~4/7) 第10回 緊急対策連絡調整会議を実施 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動に関わる教学上の取り扱いについての案内を掲載 緊急対策連絡調整会議を実施 第1回 緊急対策連絡調整会議を実施 第1回 緊急対策連絡調整会議を実施	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 APU 学校法人立命館 立命館大学 本PU 立命館大学 学校法人立命館 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター「決害復興支援室 リービスラーニングセンター 入学センター「決害復興支援室 リービスラーニングセンター 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 歴史都市防災センター 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サビスラーニングセンター 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 地務課 立命館大学生活協同組合 東日本大震災更速学生団体APUNEST 歴史都市防災センター 歴史都市防災センター 歴史都市防災センター 総合企画課 総務課 常任理事会 総務課 サービスラーニングセンター 総務課	京都市(北大路) 宮城県 石巻市 (在巻市) 宮城県中 津市 (BNC) - 滋賀県早 津市 (BNC) - 滋賀県早 市 (BNC) - 滋賀県早 市 (BNC) - 滋賀県平 市 (BNC) - 滋賀県市 (APU) 京都市 (APU) 京都市 (APU) 京都市 (BNC) - 滋賀県早 東市 (BNC) - 滋賀県早 東市 (BNC) - 滋賀県早 東市 (BNC) - 滋賀県早 東市 (BNC) - 滋賀県早
2011 F 5 7 2011 F 4 7 2011 F 3 3 3 2011 F 3 3 3 3 3 3 3 3 3	28 28 27 26-27 27 29 18 15 16 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージボスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館中での情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 人学センターグ、実復興支援室教験員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等 を訪問 入学センターグ、関連連特別検討プロジェクト打合せ 歴史都市防災センターが、防災任 (避難生活支援キット) 2,000個発送 (第2回)。宮城県石巻市へ1,500個、宮城県女川市へ500個を配送 災害復興支援室の設園、取組み方針について決定。 第13回 緊急対策連絡調整会議の実施 第10回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティアの心構えや注意事項をウェブに公開 第12回 緊急対策連絡調整会議 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティアの心構えや注意事項をウェブに公開 第12回 緊急対策連絡調整会議 東日本大震災関連特別検討プロジェクト ジを開催 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 対・を開催 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 対・を開催 歴史都市防災センターが、防災年 (1804SAI) (経難生活支援キット) 3,000個条送 第1回) 歴史都市防災センターが、防災年 (1804SAI) (経難生活支援キット) 3,000個条送 第1回) 歴史都市防災センターが、防災年 (1804SAI) (経難生活支援キット) 3,000個条送 第1回) 歴史都市防災センターが、原災による東北地方 文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方 文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東地方 文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東地方 文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、東日本大震災に関わる教験員からの意見 進言募集開始 (~477) 第10回 緊急対策連絡調整会法の実施 実高対策連絡調整会法の実施 第2回 緊急対策連絡調整会法の実施 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動に関わる教学上の取り扱いについての案内 を掲載 第86回 緊急対策連絡調整会法の実施 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、街頭募金を行う場合の注意事項を公開 第66回 緊急対策連絡調整会法の実施	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立今館 学校法人立个館 学校法人立个部 名PU 立命館大学 学校法人立个学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 学校会法人立命館 立命館 学校会法人立命館 学校会法人立命館 学校会法人立命館 学校会法人立命館 学校会法人立命館 学校会法人立命館 学校会法人立命館	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 リービスラーニングセンター 入学センター「大き復興支援室 リービスラーニングセンター 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 歴史都市防災センター 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト ・	京都市(北大路) 宮城県 石巻市 (在巻市) 宮城県中 津市 (BNC) - 滋賀県早 津市 (BNC) - 滋賀県早 市 (BNC) - 滋賀県早 市 (BNC) - 滋賀県平 市 (BNC) - 滋賀県市 (APU) 京都市 (APU) 京都市 (APU) 京都市 (BNC) - 滋賀県早 東市 (BNC) - 滋賀県早 東市 (BNC) - 滋賀県早 東市 (BNC) - 滋賀県早 東市 (BNC) - 滋賀県早
2011 F 5 7 1 2011 F 4 7 1 2011 F 4 7 7 7 7 7 7 7 7 7	28 28 27 26-27 22 21 20 18 15 14 11 9 8 5 4~ 1-2 1 1 31 30 28 27 24 23 22 18 18 17 16		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージボスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館中での情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 入学センターグ、実復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等 を訪問 立命館大学が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙 吉三陸沖視察 教職員3名 第2回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 歴史都市防災とソターが、防災任 (避難生活支援キット) 2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500個、宮城県女川市へ500個を配送。 災害復興支援を助設置、取組み方針について決定。 第13回 緊急対策連絡調整会議の実施 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティアの心構えや注意事項をウェブに公開 第13回 緊急対策連絡調整会議 東日本大震災関連特別検討プロジェクト ジを開催 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 対合地 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 対合地 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 第11回 緊急対策連絡調整会議の開催 生協会堂で「東北地方太平洋沖地震支援募金メニュー」の提供(~4/23)「ささみチーズフライ」と「ハンパーグ」に10円を上集せ 東日本大震災支援学生団体APU-NESTがチャリティイベントを開催 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方 文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方 文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北地方 文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、東日本大震災による東北対方 区内の復興・再建への支援活動の考え方等の整理上本大震災関連特別検討プロジェクトの設置。立命館としての復興・再建への支援活動の考え方等の整理上本大震災関連特別検討プロジェクトの設置。立命館としての復興・再建への支援活動の考え方等の整理・具体化に向けた検討を、R2020へ反映。 第9回 緊急対策連絡調整会議の実施 第1回 緊急対策連絡調整会議の実施 第1回 緊急対策連絡調整会議の実施 第1回 緊急対策連絡調整会議の実施 第1回 緊急対策連絡調整会議の実施	立命館小字校 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命の館 立命館大学 学校法人立命の館 立命館大学 学校法人立命の館 本 が 本 の の が の が の の の の の の の の の の の の	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター「大き 庭興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター「大き 庭興支援室 サービスラーニングセンター 東日本大震災販差特別検討プロジェクト 歴史都市防災センター 総務課 東日本大震災販差特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター 総務課 東日本大震災販差特別検討プロジェクト 財務課 立命館大学生活協同組合 東日本大震災更差等生団体APUNEST 歴史都市防災センター 総務課 常任理事会 総務課 常任理事会 総務課 サービスラーニングセンター 総務課 常任理事会 総務課 サービスラーニングセンター 総務課	京都市(北大路) 宮城県 石巻市 (在巻市) 宮城県中 津市 (BNC) - 滋賀県早 津市 (BNC) - 滋賀県早 市 (BNC) - 滋賀県早 市 (BNC) - 滋賀県平 市 (BNC) - 滋賀県市 (APU) 京都市 (APU) 京都市 (APU) 京都市 (BNC) - 滋賀県早 東市 (BNC) - 滋賀県早 東市 (BNC) - 滋賀県早 東市 (BNC) - 滋賀県早 東市 (BNC) - 滋賀県早
2011 # 5	28 28 27 26-27 29 21 20 18 11 11 9 8 5 4~ 1-2 1 1 31 30 28 27 24 23 22 18 18 17 16 15		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージボスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館中での情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 及学センターグ、野復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等 を訪問 立命館大学が包括的協力協定を結ぶ山形大学を訪問、今後の連携について懇談を実施。あわせて石巻・仙台三陸沖視察・教職員3名 第2回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 歴史都市防災とソ奥一郎、防災任 「避難生活支援キット」2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500個、宮城県女川市へ500個を配送。 災害復興支援空砂設置、取組み方針について決定。 第13回 緊急対策連絡調整会議の実施 第11回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティアの心構えや注意事項をウェブに公開 第12回 緊急対策連絡調整会議 東日本大震災関連特別検討プロジェクト ジ・管開催 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト ジ・管開館 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 対ト・使開催 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 第11回 緊急対策連絡調整会議の開催 生協食堂で「東北地方大平洋沖地震支援募金メニュー」の提供(~4/23)「ささみチーズフライ」と「ハーバーグ」に10円を上集せ 東日本大震災関連特別検討プロジェクトがチャリティイベントを開催 歴史都市防災センターが、原2日本大震災による東北地方、文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、原2日本大震災による東北地方、文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、防災年、「宮城県内避難所に1,200個、福島大学避難所に200個を送付。東日本大震災に関わる教職員からの意見・提言募集開始(~447) 第10回 緊急対策連絡調整会議の実施 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動に関わる教学上の取り扱いについての案内 を掲載 東日本大震災思神時別検討プロジェクトの設置。立命館としての復興・再建への支援活動の考え方等の整理・具体化に向けた検討を、R2020へ反映。 第5回 緊急対策連絡調整会議の実施 第5回 緊急対策連絡調整会議の実施 第5回 緊急対策連絡調整会議の実施 第5回 緊急対策連絡調整会議の実施 第5回 緊急対策連絡調整会議の実施 第5回 緊急対策連絡調整会議の実施	立命館小字校 立命館大学 学校法人立命館館 立命館大学 学校法人立命館館 立命館大学 学校法人立命館館 立命館大学 学校法人立命館館 学校法人立命館館 本 学校法人立命館館 本 学校法人立命館館 本 学校法人立命館 本 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 サービスラーニングセンター 大学センター/災害復興支援室 サービスラーニングセンター 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 歴史都市防災センター 第6務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター 総務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 対応務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 対応務課 東日本大震災関連特別検討プロジェクト 総務課 立命館大学生活協同組合 東日本大震災更速学生団体APUNEST 歴史都市防災センター 歴史都市防災センター 歴史都市防災センター 総合企画課 対応務課 サービスラーニングセンター 総務課 サービスラーニングセンター 総務課 対・ビスラーニングセンター 総務課 対・ビスラーニングセンター 総務課 と、表務課 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	京都市(北大路) 宮城県 石巻市 (安笠) - 滋賀県県 津市 (BKC) - 滋賀県県 津市 (BKC) - 滋賀県県 市 (BKC) - 滋賀県市 市 / 吉手県仙台市 宮城県石巻市/女川市 宮城県石巻市/女川市 大分県別府市 (APU) 京都市 (安笠) - 滋賀県平 津市 (BKC)
2011 # 4	28 28 27 26-27 29 21 20 18 11 11 9 8 5 4~ 1-2 1 1 1 31 30 28 27 24 23 22 18 18 18 18 18 17 16 15		立命館小学校児童が石巻市の住吉小学校への励ましのメッセージボスターを作成し、児童間の交流を開始 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動中の保健・衛生についての注意を公開 災害復興支援室が立命館中での情報提供・交流サイト『東日本大震災 私たちにできること』を開設 震災支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 爰学と支援活動報告会「自分たちにできる支援を考える」を開催 と学センターグ、実復興支援室教職員3名が宮城県教育委員会、仙台育英学園高校、秀光中等教育学校等を訪問 メデヤンターが、原次日・経難生活支援キット)2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500個、宮城県以川市へ500個を配送。 第2回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 歴史都市防災センラーが、防災缶・経難生活支援キット)2,000個発送(第2回)。宮城県石巻市へ1,500個、宮城県支川市へ500個を配送。 災害復興支援での設置、取組み方針について決定。 第13回 緊急対策連絡調整会議の実施 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティアの心構えや注意事項をウェブに公開 第12回 緊急対策連絡調整会議 東日本大震災支援学生団体APPLNESTがチャリティコンサートで収ake Relief Concert (地震救済コンサート)・を開催 第1回東日本大震災関連特別検討プロジェクト打合せ 第11回 緊急対策連絡調整会議の開催 生協食堂で「東北地方太平洋沖地震支援募金メニュー」の提供(~4/23)「ささみチーズフライ」と「ハンパーグ」にの団を上集せ 東日本大震災に関やの関係と議の実施 歴史都市防災センターが、原日本大震災による東北地方、文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、原日本本大震災による東北地方、文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、原日本大震災による東北地方、文化財被災地図を公開 歴史都市防災センターが、防災缶・宮城県内選難所に1,200個、福島大学避難所に200個を送付。 東日本大震災に関わる教職員からの意見・理言募集開始(~4/7) 第10回 緊急対策連絡調整会議の実施 実自の緊急対策連絡調整会議の実施 災害復興支援活動を予定する在学生に対し、ボランティア活動に関わる教学上の取り扱いについての案内を掲載、緊急対策連絡調整会議を実施 デ治中高生徒会・5日、コース生作・卒業生が募金活動を実施 第7回 緊急対策連絡調整会議の実施 第5回 緊急対策連絡調整会議の実施 第5回 緊急対策連絡調整会議の実施 第5回 緊急対策連絡調整会議の実施 第5回 緊急対策連絡調整会議の実施 第5回 緊急対策連絡調整会議の実施 第5回 緊急対策連絡調整会議の実施	立命館小学校 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 本PU 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館 立命館大学 学校法人立命館館 立命館大学 学校法人立命館館 立命館大学 学校法人立命館館 立命館大学 学校法人立命館館 立の館天学 学校法人立命館館 立の館天学 学校法人立命館館 立の館天学 学校法人立命館館 立の音	サービスラーニングセンター 災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 サービスラーニングセンター 入学センター/災害復興支援室 サービスラーニングセンター 東日本大震災災害特別検討プロジェクト 歴史都市防災センター 常任理事会 総務課 東日本大震災災害特別検討プロジェクト サービスラーニングセンター 総務課 東日本大震災災害特別検討プロジェクト 戦務課 東日本大震災災害特別検討プロジェクト 戦務課 立命館大学活活協同組合 東日本大震災災援学生団体APUNEST 歴史都市防災センター 歴史都市防災センター 歴史都市防災センター 総務課 常任理事会 総務課 サービスラーニングセンター 総務課 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	京都市(北大銀)、宮姨県 石巻市 「

東日本大震災の復興支援に関する 立命館の主な取り組みマップ(12月9日版)

最新の情報はウェブサイトにて公開中です。 http://www.ritsumei.ac.jp/rs/20110311/

- BAY-TUBER CHESSION
- · THE THE REPORT WHEN THE POTTER
- O THE WORK PRODUCTION OF THE PROPERTY OF THE
- O THETHE WISHERSON
- · Inchian mercent

1、幡平

花巻

の北上

奥州

関

石市

岩手県

SHIPS FY THE MARKS

青森県における取り組み

表式使用家庭企业707~3 (付本料子粉绘 企業人50/年 研究60

20元の市で富力を利力した。日本の市内の人力を売りを整

岩手県における取り組み

土地の様を排いた近代の東京による展別地の政策と共憲政治 (2所する研究:(株式の内内)重要PO 図古経治研究機関

会手権官会のも対象とする支援が、職業場における基金協業 からの情報と前途的機能が、から研究(中央事務を 性上学的 と、ロチェルの表示を他に対する。日本では、1000年の場合

哲子連貫古市を対象とする生活性と豪東地における基本領面 からの提供上数値の地域で30の研究(中島等的性、建工学研 TOKE)

a promotorwise at lither new

展現実会所の保険プロジェクト(学主音が)運転性 建工学(E) ・しば回りての特別を当場り表して、特別を終め、実力であり、 ・たい時の なじめ、大きな者、後さのである。まりを自然に同じて 中に対象をおり、体験、アンジャを用る。

教子集しの例へのポタンティア系像

(中) (中央公共市会議、20) (東京等 (120年) (東京) (東京) (12年) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)

東日本の様 本状を制度・ワーフショックの特殊・セチ県連野 市 (支援) (株)学研究(3)

地域活性化ポッ・ティアドP(NOO+R-横貫・呼びウロジョウ ト) (山口洋真複雑語 サービスラーニングセンター)

(現代の発生の発生の関係できます) は実践の発生でもの 官予得立ち、ユーガン(ビルス) わておらい (2017) 重株。 官予得別は 松川田町中田はに望るたって起来を、最初集队力 で同様でたがでしまっ

用・のすGNGAHET)この連携

大脳連布計算委員会からむ信頼に基づく、大脳連布会中学的3 行に対するスポーツ 健康能の実施の実施にスポーツ健康科学

OF PARKETON AND THE PARK THE PARK THE PARKET
日本プロ野母選手会「ヤースポールキャラ・じゃけ 転車 が確大

THE STATE OF THE PARTY OF THE P 日本プロ野甘油手会パイースポールキャラパンの技術製在が確

GS 日本内に表明を集中をたりはおしますが、マネーをはしまっていませます。これにより、します。しままれており、これはようなはず、これはず、上面は本土のます。

哲于美统宪会与治学相信权宪法(特殊。)的第一次指挥

研究物デジタルフェニックスプロジェクト(長野正海町住 生水料

確況デジタルデータ連合と歴史資料報度データベー2 構築の生 様プロジェクト(第十三級物理 産業社会学報)

西日本における取り組み

東京医療およびその保証・適用過程に関する民業を含す可能 役の内閣県産教技 力学部

THE COURTER WERTER CONTOUR CONTOUR SERVICE OF CHARGE

MANUTATION RECORDING AND SENSE SHIPLE

Charles the little role of 地域の交通を支入を確か、単級による支出防止対策に関する様

NEWSCHOOL SELVED

情報の単れよび多位的対象に対一行人の対対

TO STANSFORM SYMMOLOGICAL 表、古の高生先った地川を中市・出地和大林(中日春場和林 情報理工学部)

SORVEN CONTRACTOR STOLEN AND ADDRESS OF THE PARTY OF THE

表示企動 法 经二种子 64天 (大组成为64 金融 法 经 9- (\$P030H)

大震災之稅齡、利助の個別額に関する研究(軍本十至子執信

stonanoni svita, pagnesishtos it (機能化度の宇宙大陸プロジェクト(総件的応援物技 初発料

THE RESERVE OF THE PROPERTY OF THE PARTY OF

子が再生と土縄電池を用いても数別は無のため 一般果の研究(中部)子便物理 (場所は気料学部) 的过去分

独立権利引用度を活用。人電力終減等(保田技工教授 アンフ 太平洋学校)

Contamination Prevention integrated in Disaster Recovery Plan by Chemical Indiators. Legistra from the Creat East Japan Earthquare March 2011(MAHCH Record: アレア大中洋学園

山形県における取り組み



次機県でおける取り組み

気仙溶

間点のおおけまり

¥日本応接 家族連続使 ワックショッリスマス pt わき M種

100-104 単独系統的の関係では、例ののフーフ・ロン開催では ま物をおかったった開催では、単純系統的ではイビスを持ち回転点が

OF EXCEPTION AND STREET, TO BE TO COME.



多方 本松 会津若松 田村

福島県における取り組み

医山

新学 海北大の連邦に基づかラウマのありを(昨日主人新年

市別でおける確認様本格的とその応用く土間書写を物理様 OBLIGORATE SPREAMORE STORY

教育とは私との連携で基づいクラマのあり方は別日正人教徒 産業行会学部)

a b Cheft e liberaries all

はある位置の一件を持つ大規

19-22 自分的では、イナイト・ロンフ、発表的に対する。 19-20日より、グロンフィーの影響

LEME Ting: RESTRUCTOR OF THE PERSON NAMED IN

を登録実施の事力をパファムの機能に関する研究の 発音 近年科学的

ORMAN SOURCE CORRESPONDED AND STREET

組入ます原物は一選手ありび大宝

日本大型球隊手会パイースポールクリスマスは わき M電気 間

ボランティアパス(我協会着うしたのしませ作)

B-) 事件(文明成大学3-) (D)

中心部ので記された。本人で支え、中国関係的企業とで、東京が成立 でした。前面は本化でくる場合を記される。

ないで含む組み合わせ新型力を受けるに創せた耐貨株金と 合物の20個金円計の建業が2000年2分前後 建工学部

· 公の長年失--た城川省の市· 公世紀大師(神谷書籍物館 情報理工学部)

CONTRACTOR STATE IN CONTRACTOR 東北地方大平洋洋地南による東南城市成党城市に関する地域 開業的よび森地が1171年の城市(第18年十七年)

电影机艺术执口电影工艺技术电影 費用による砂糖味噌は、気管剤によるアスペストの薬物との他

解研究の存储之物性 数例科学的 731-03 名称 全部内外、公内内部のは専門企業を変すセンターとの表 見工者とフリング、公司な工業所に対応置す場合をはラーマを開くこ A.B. アンジング・公司を正規に対応置す場合をしまって持ちゃくの方面

様々な記録のイ本様子よってファイト及びままればも復興がイ 本様子エンドファイトに見ばす影響(森崎久雄智彦 生命杯学 部)

AN WEST AND DESIGNATION OF THE PARTY OF THE

Deckeyの開発の企業を確定を通じませる原理を含めませる ためカフレールフークの構築の野性関係を大学的 いのましたでありませました。いだすがあるまたで

立命館災害復興支援室 2012年3月 発行



〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1 学校法人立命館 総合企画部 総合企画課 TEL 075-813-8130 FAX 075-813-8132 E-mail 311fukko@st.ritsumei.ac.jp URL http://www.ritsumei.ac.jp/rs/20110311/